

やさしい街「ひろさき」づくり計画

～誰もが快適で、安全・安心に暮らせる街～

(資 料 編)

平成26年3月

弘前市

目 次

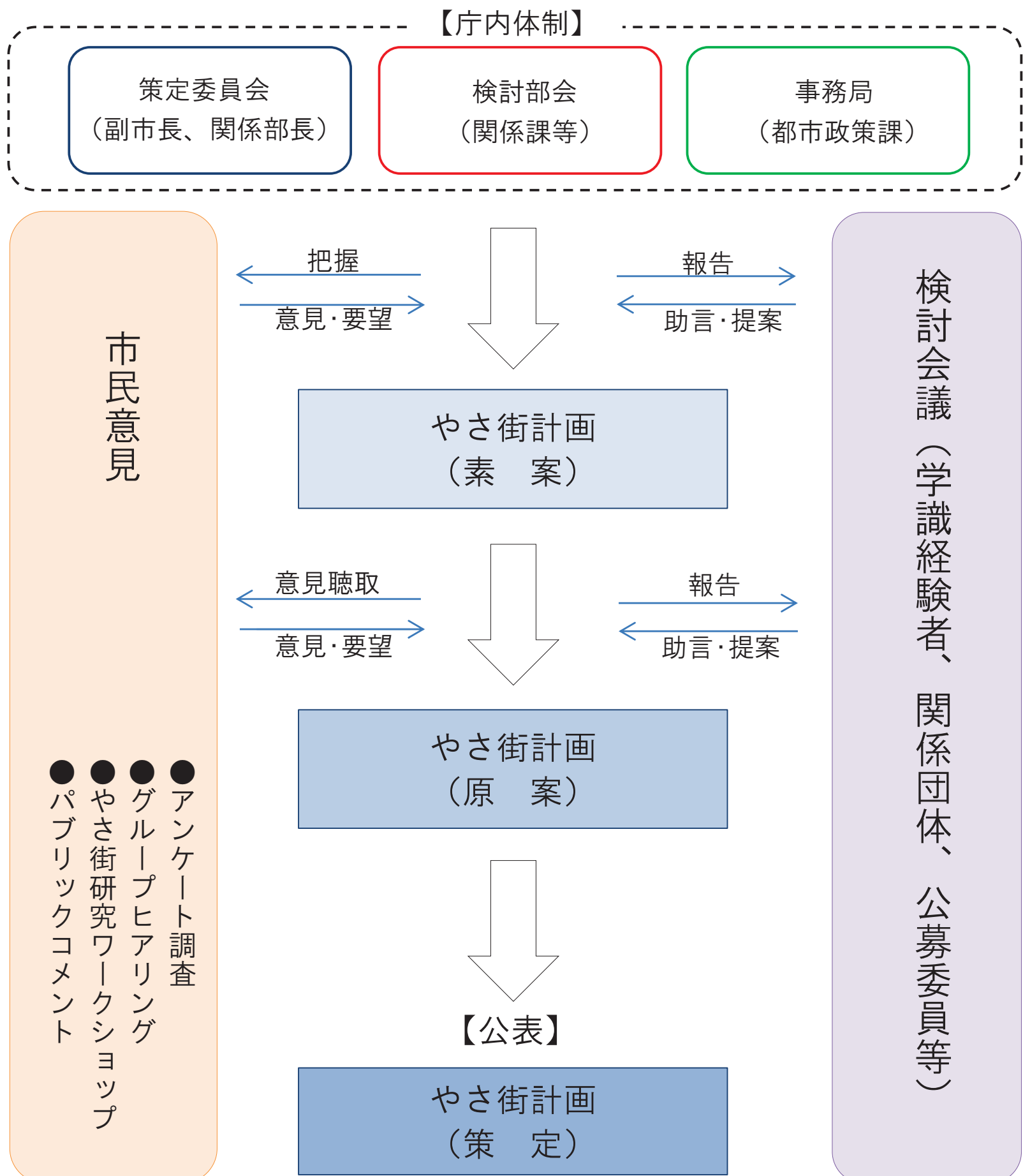
1. 計画の策定体制	1
(1) やさしい街「ひろさき」づくり計画策定委員会設置要綱	
(2) やさしい街「ひろさき」づくり計画検討会議設置要綱	
2. 市民等の意見	6
(1) 市民アンケート	6
(2) 事業者アンケート	79
(3) グループヒアリング	86
(4) やさしい街研究ワークショップ	90
(5) パブリックコメント	103
3. 市の主な取り組み（施策・事業一覧）	105

【資料編】

1. 計画の策定体制

計画策定にあたっては、「策定委員会（検討部会）」において案の策定を行い、学識経験者や公募委員などで構成される「検討会議」からの助言・提案を踏まえ、策定委員会において素案・原案の取りまとめを行いました。

また、案の策定段階から幅広く市民の意見を反映させるため、アンケート調査のほか、グループヒアリング、ワークショップなどの取り組みを実施し、計画づくりに反映しました。



やさしい街「ひろさき」づくり計画策定委員会設置要綱

（設置）

第1条 やさしい街「ひろさき」づくり計画（以下「計画」）の策定にあたって、作業の円滑な推進と実効性を確保するため、やさしい街「ひろさき」づくり計画策定委員会（以下「委員会」）を設置する。

（所掌事務）

第2条 会議は、計画の策定に係る必要事項について検討する。

（組織）

第3条 委員会は、委員長、副委員長及び委員をもって組織する。

2 委員長には副市長を、副委員長には都市環境部長の職にある者をもって充てる。

3 委員は、別表第1に掲げる職にある者をもって充てる。

（会議）

第4条 策定委員会は、委員長が招集し、その議長となる。

2 委員長は、必要があると認めるときは、策定委員会に委員以外の職員の出席を求め、その説明又は意見を聴くことができる。

（検討部会）

第5条 計画内容を検討するため、やさしい街「ひろさき」づくり計画検討部会（以下「検討部会」という。）を置く。

2 検討部会は、関係課及び関係団体等と調整を図りながら、計画策定の実質的な作業を行う。

3 検討部会は、部会長、副部会長及び部会員をもって組織する。

4 部会長は都市環境部都市政策課長の職にある者を、副部会長は部会長の指名した者とする。

5 部会員は、別表第2に掲げる課の職員をもって構成する。

6 検討部会の会議は、部会長が招集し、その議長となる。

7 部会長は、必要があると認めるときは、検討部会に部会員以外の職員の出席を求め、その説明又は意見を聴くことができる。

8 部会長は、検討部会の会議の経過及び結果について、委員長に報告しなければならない。

（庶務）

第6条 策定委員会及び検討部会の庶務は、都市環境部都市政策課が所管する。

（補足）

第7条 この要綱に定めるもののほか、必要な事項は別に定める。

附 則
この要綱は、平成23年 6月 6日から施行する。

附 則
この要綱は、平成25年 6月20日から施行する。

別表第1（第3条関係）

経営戦略部長
財務部長
市民文化スポーツ部長
健康福祉部長
建設部長
教育委員会教育部長

別表第2（第5条関係）

経営戦略部	人材育成課
	広聴広報課
	防災安全課
財務部	財産管理課
市民文化スポーツ部	市民協働政策課
健康福祉部	福祉政策課
	子育て支援課
建設部	建設政策課
	道路維持課
都市環境部	公園緑地課
教育委員会	学校企画課
	学務健康課

やさしい街「ひろさき」づくり計画検討会議設置要綱

(設置)

第1条 やさしい街「ひろさき」づくり計画（以下「計画」）の策定に関し、市民の多様な意見を取り入れるために、やさしい街「ひろさき」づくり計画検討会議（以下「会議」）を設置する。

(所掌事務)

第2条 会議は、計画を作成するうえで、必要な助言、提案を行う。

(組織)

第3条 会議は、10人の委員をもって組織する。

2 前項の委員は、市長が選任する。

3 委員の任期は、計画の策定までとする。

4 委員が欠けたときは、補充できるものとし、その任期は前任者の残任期間とする。

(会長)

第4条 会議に会長を置き、会長は委員の互選により定める。

2 会長は、会議の議長となり、会務を総理する。

3 会長に事故があるとき、又は会長が欠けたときは、あらかじめ会長の指定する委員がその職務を代理する。

(会議)

第5条 会議は、会長が必要に応じて招集する。

2 会長は、必要があると認めるときは、会議に委員以外の者の出席を求め、その意見を求めることができる。

(庶務)

第6条 会議の庶務は、都市環境部都市政策課において処理する。

(その他)

第7条 この要綱に定めるもののほか、必要な事項は別に定める。

附 則

(施行期日)

1 この要綱は、平成23年 6月 6日から施行する。

(会議の招集)

2 第5条第1項の規定にかかわらず、初めて開催される会議の招集は、市長が行う。

附 則

この要綱は、平成25年 6月20日から施行する。

やさしい街「ひろさき」づくり計画検討会議委員名簿

所 属	氏 名	備 考
弘前大学大学院 地域社会研究科 教授	檜 楨 貢	まちづくり・市民活動
岩手大学 工学部 社会環境工学科 教授	南 正 昭	都市計画・交通計画 ・社会基盤計画
弘前市身体障害者福祉連合会 会長	山 内 清 一	障害者福祉
ふれ～ふれ～ファミリー 代表	一 條 敦 子	子育て支援・まち歩き
弘前市在住外国人（翻訳家）	アニー・アップル・ マッシュューズ	異文化理解
公募委員	大 野 悠 基	大学生
公募委員	金 澤 洋 子	主 婦
青森県 中南地域県民局 地域整備部長	木 浪 英 喜 (H23.8.22～) 佐々木 孝 昌 (H25.4.22～)	県土整備
青森県 総務部 防災消防課長	松 岡 良 平 (H23.8.22～) 古 川 隆 治 (H25.4.22～)	防 災
青森県警 弘前警察署長	寺 田 謙 一 (H23.8.22～) 一 戸 達 (H25.4.22～)	市民生活・防犯

2. 市民等の意見

(1) 市民アンケート

① 調査概要

調査期間	平成23年11月14日から11月28日まで
調査対象者と抽出方法	市民16～74歳の男女・無作為抽出
調査方法	郵便による配布・回収
配布・回収状況	配布：2,000票／うち宛先不明22票のため実際は1,978票 (弘前地区1,500票、岩木地区300票、相馬地区200票) 回収：603人(うち白票1) 回収率：30.5%(但し、集計は白票を除く602人で実施)

※クロス集計は、年齢及び住所を回答している者を対象としていることから、単純集計の回答者数とは合わない。
(年齢回答者数：599人、住所回答者数：587人)
※グラフ内の「n」は、標本数(サンプル数)を表します。

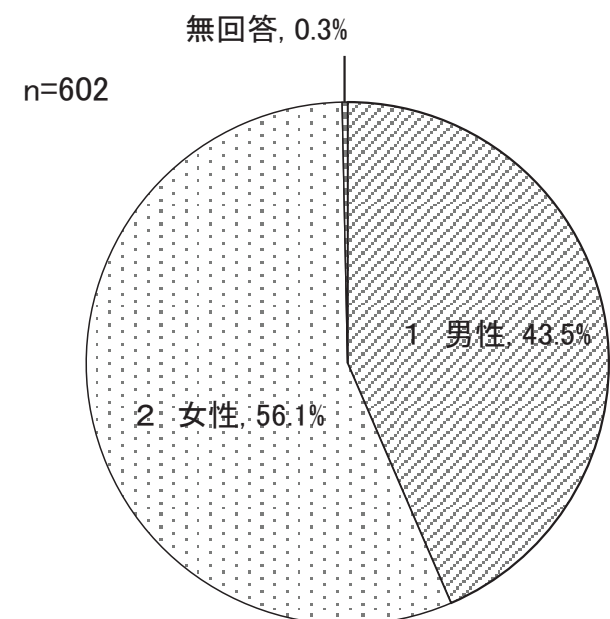
② 調査結果

Q1 あなたご自身についてお聞きします

1) 性別

回答者の性別の割合は、男性43.5%、女性56.1%となっています。

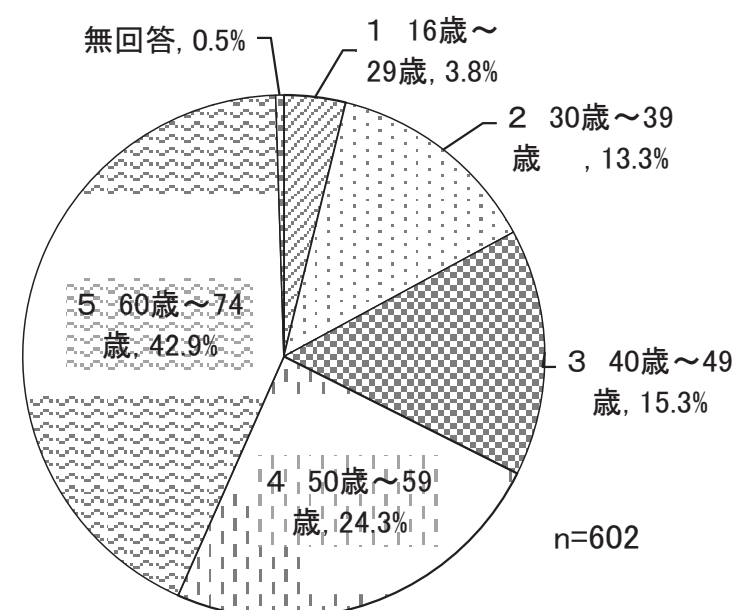
Q1-1 性別をお答えください。



2) 年齢

回答者の年齢の割合は、60～74歳が42.9%と最も高く、次いで50歳代が24.3%、40歳代が15.3%となっています。

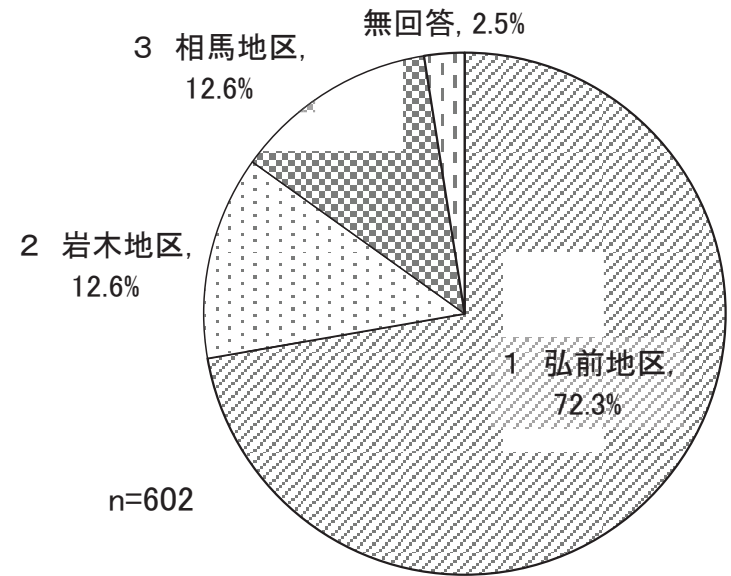
Q1-2 年齢をお答えください。



3) 地区

回答者の居住地区の割合は、弘前地区が72.3%、岩木地区が12.6%、相馬地区が12.6%です。

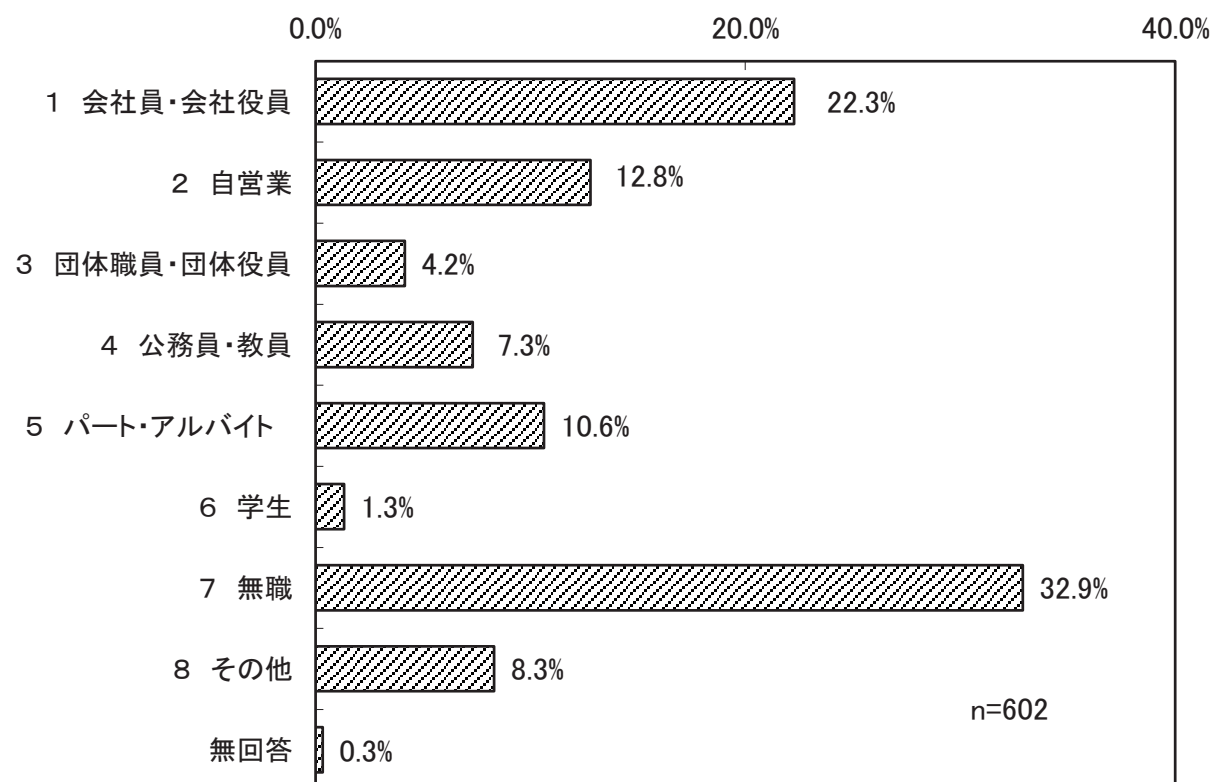
Q1-3 住所をお答えください。



4) 職業

回答者の職業の割合は、無職が32.9%と最も高く、次いで会社員・会社役員が22.3%、自営業12.8%となっています。

Q1-4 職業をお答えください。(あてはまるもの一つに○)



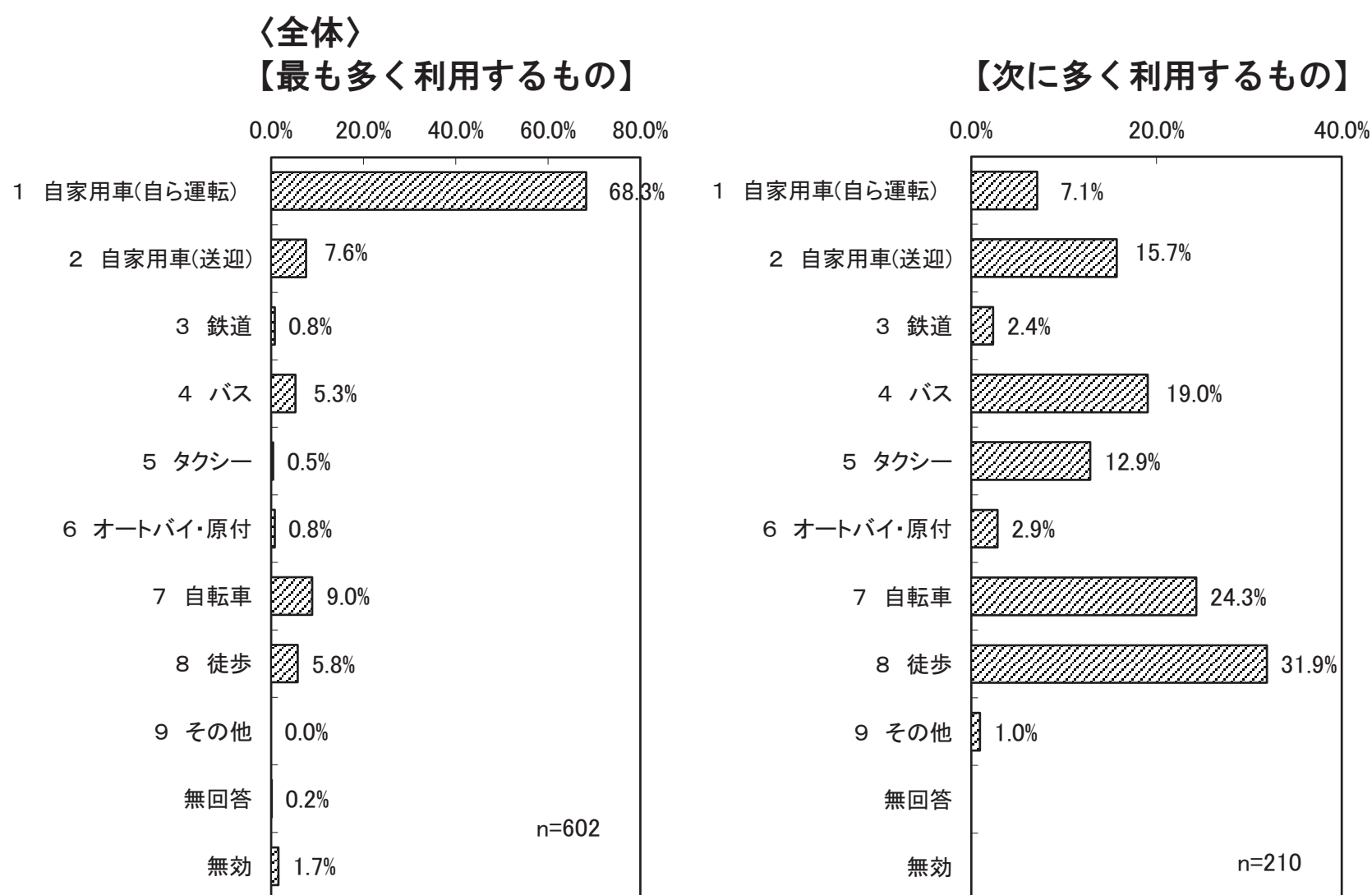
5) 移動手段

通勤通学等の移動手段のうち最も多く利用するものは、自家用車で全体の7割近くを占めています。複数利用する場合に、次に多く利用するものとしては、徒歩が31.9%と最も高い割合で、次いで自転車が24.3%、バスが19.0%となっています。

年齢別に最も多く利用する移動手段を見てみると、30～74歳は自家用車（自ら運転）が最も高い割合で、なかでも30～50歳代は8割前後を占めています。16～29歳は自転車と自家用車（自ら運転）がほぼ2分しています。また、60～74歳は、自家用車（送迎）やバスが他の年代と比較して高い割合になっています。

市街化区域内外別には、いずれも“自家用車（自ら運転）”が最も高い割合ですが、2位以降をみてみると市街化区域で“自転車”、“徒歩”が、また市街化調整区域で“自家用車（送迎）”、“バス”が上位を占めています。

Q1-5 通勤通学や通院、買い物等の際、定期的に利用する移動手段をお答えください。（複数の移動手段を利用する場合は、最も多く利用するものに◎、その次に利用するものに○をつけてください。）



〈年齢別〉
【最も多く利用するもの】

上段: 回答者数、下段: 割合

	1 16歳~29歳	2 30歳~39歳	3 40歳~49歳	4 50歳~59歳	5 60歳~74歳
1 自家用車(自ら運転)	9 39.1%	70 87.5%	76 82.6%	113 77.4%	141 54.7%
2 自家用車(送迎)	1 4.3%	2 2.5%	1 1.1%	8 5.5%	33 12.8%
3 鉄道	1 4.3%	0 0.0%	2 2.2%	2 1.4%	0 0.0%
4 バス	0 0.0%	2 2.5%	1 1.1%	4 2.7%	25 9.7%
5 タクシー	0 0.0%	1 1.3%	0 0.0%	1 0.7%	1 0.4%
6 オートバイ・原付	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 0.7%	4 1.6%
7 自転車	10 43.5%	2 2.5%	4 4.3%	10 6.8%	28 10.9%
8 徒歩	1 4.3%	2 2.5%	7 7.6%	6 4.1%	19 7.4%
9 その他	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
無回答・無効	1 4.3%	1 1.3%	1 1.1%	1 0.7%	7 2.7%
合計	23 100%	80 100%	92 100%	146 100%	258 100%

黒塗・白文字:1位、グレー塗・黒文字:2位、ドット・黒文字:3位

【次に多く利用するもの】

上段: 回答者数、下段: 割合

	1 16歳~29歳	2 30歳~39歳	3 40歳~49歳	4 50歳~59歳	5 60歳~74歳
1 自家用車(自ら運転)	1 7.7%	1 6.3%	3 12.0%	2 4.4%	8 7.3%
2 自家用車(送迎)	2 15.4%	1 6.3%	3 12.0%	8 17.8%	19 17.3%
3 鉄道	1 7.7%	0 0.0%	0 0.0%	2 4.4%	2 1.8%
4 バス	2 15.4%	2 12.5%	4 16.0%	13 28.9%	19 17.3%
5 タクシー	0 0.0%	3 18.8%	1 4.0%	3 6.7%	19 17.3%
6 オートバイ・原付	0 0.0%	1 6.3%	1 4.0%	0 0.0%	4 3.6%
7 自転車	2 15.4%	5 31.3%	10 40.0%	9 20.0%	25 22.7%
8 徒歩	7 53.8%	4 25.0%	6 24.0%	15 33.3%	35 31.8%
9 その他	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 1.8%
回答者数	13	16	25	45	110

黒塗・白文字:1位、グレー塗・黒文字:2位、ドット・黒文字:3位

〈市街化区域内外別〉
【最も多く利用するもの】

上段: 回答者数、下段: 割合

	市街化区域内	市街化区域外
1 自家用車(自ら運転)	245 65.3%	159 75.0%
2 自家用車(送迎)	23 6.1%	22 10.4%
3 鉄道	3 0.8%	1 0.5%
4 バス	21 5.6%	11 5.2%
5 タクシー	3 0.8%	0 0.0%
6 オートバイ・原付	3 0.8%	2 0.9%
7 自転車	43 11.5%	9 4.2%
8 徒歩	28 7.5%	5 2.4%
9 その他	0 0.0%	0 0.0%
無回答・無効	6 1.6%	3 1.4%
合計	375 100%	212 100%

黒塗・白文字:1位、グレー塗・黒文字:2位、ドット・黒文字:3位

【次に多く利用するもの】

上段: 回答者数、下段: 割合

	市街化区域内	市街化区域外
1 自家用車(自ら運転)	12 7.8%	3 5.6%
2 自家用車(送迎)	20 13.1%	12 22.2%
3 鉄道	3 2.0%	2 3.7%
4 バス	25 16.3%	13 24.1%
5 タクシー	21 13.7%	6 11.1%
6 オートバイ・原付	3 2.0%	3 5.6%
7 自転車	40 26.1%	11 20.4%
8 徒歩	55 35.9%	11 20.4%
9 その他	1 0.7%	1 1.9%
回答者数	153	54

黒塗・白文字:1位、グレー塗・黒文字:2位、ドット・黒文字:3位

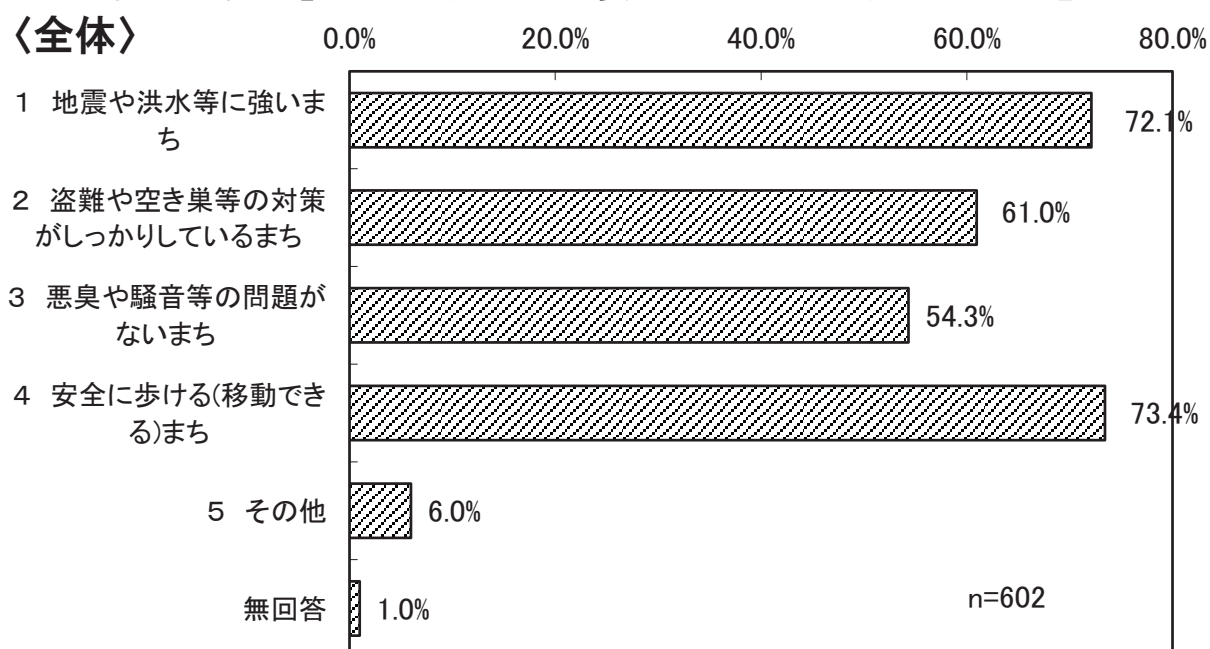
Q2 安全・安心についてお聞きします

1) 「まちの安全・安心」という点で重要なこと

「まちの安全・安心」という点で重要なことは、“安全に歩けるまち”が73.4%、僅差で“地震や洪水等に強いまち”が72.1%となり各々7割以上の高い割合を占めています。この他、“盗難や空き巣等の対策がしっかりしているまち”が61.0%、“悪臭や騒音等の問題がないまち”が54.3%となっています。

年齢別には、ほとんどの年代で“地震や洪水等に強いまち”“安全に歩けるまち”が上位2項目を占め、その割合もほとんど差がありません。市街化区域内外別にも同様な傾向が見られます。

Q2-1 「まちの安全・安心」という点で、重要だと思うものすべてに○をつけてください。



〈年齢別〉

上段: 回答者数、下段: 割合

	1 16歳～29歳	2 30歳～39歳	3 40歳～49歳	4 50歳～59歳	5 60歳～74歳
1 地震や洪水等に強いまち	12 52.2%	60 75.0%	67 72.8%	109 74.7%	183 70.9%
2 盗難や空き巣等の対策がしっかりしているまち	14 60.9%	54 67.5%	53 57.6%	82 56.2%	162 62.8%
3 悪臭や騒音等の問題がないまち	8 34.8%	45 56.3%	53 57.6%	76 52.1%	143 55.4%
4 安全に歩ける(移動できる)まち	17 73.9%	56 70.0%	71 77.2%	105 71.9%	191 74.0%
5 その他	4 17.4%	3 3.8%	5 5.4%	9 6.2%	12 4.7%
無回答・無効	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 2.1%	3 1.2%
回答者数	23	80	92	146	258

黒塗・白文字: 1位、グレー塗・黒文字: 2位、ドット・黒文字: 3位

〈市街化区域内外別〉

上段: 回答者数、下段: 割合

	市街化区域内	市街化区域外
1 地震や洪水等に強いまち	268 71.5%	155 73.1%
2 盗難や空き巣等の対策がしっかりしているまち	224 59.7%	132 62.3%
3 悪臭や騒音等の問題がないまち	202 53.9%	121 57.1%
4 安全に歩ける(移動できる)まち	283 75.5%	150 70.8%
5 その他	29 7.7%	7 3.3%
無回答・無効	3 0.8%	3 1.4%
回答者数	375	212

黒塗・白文字: 1位、グレー塗・黒文字: 2位、ドット・黒文字: 3位

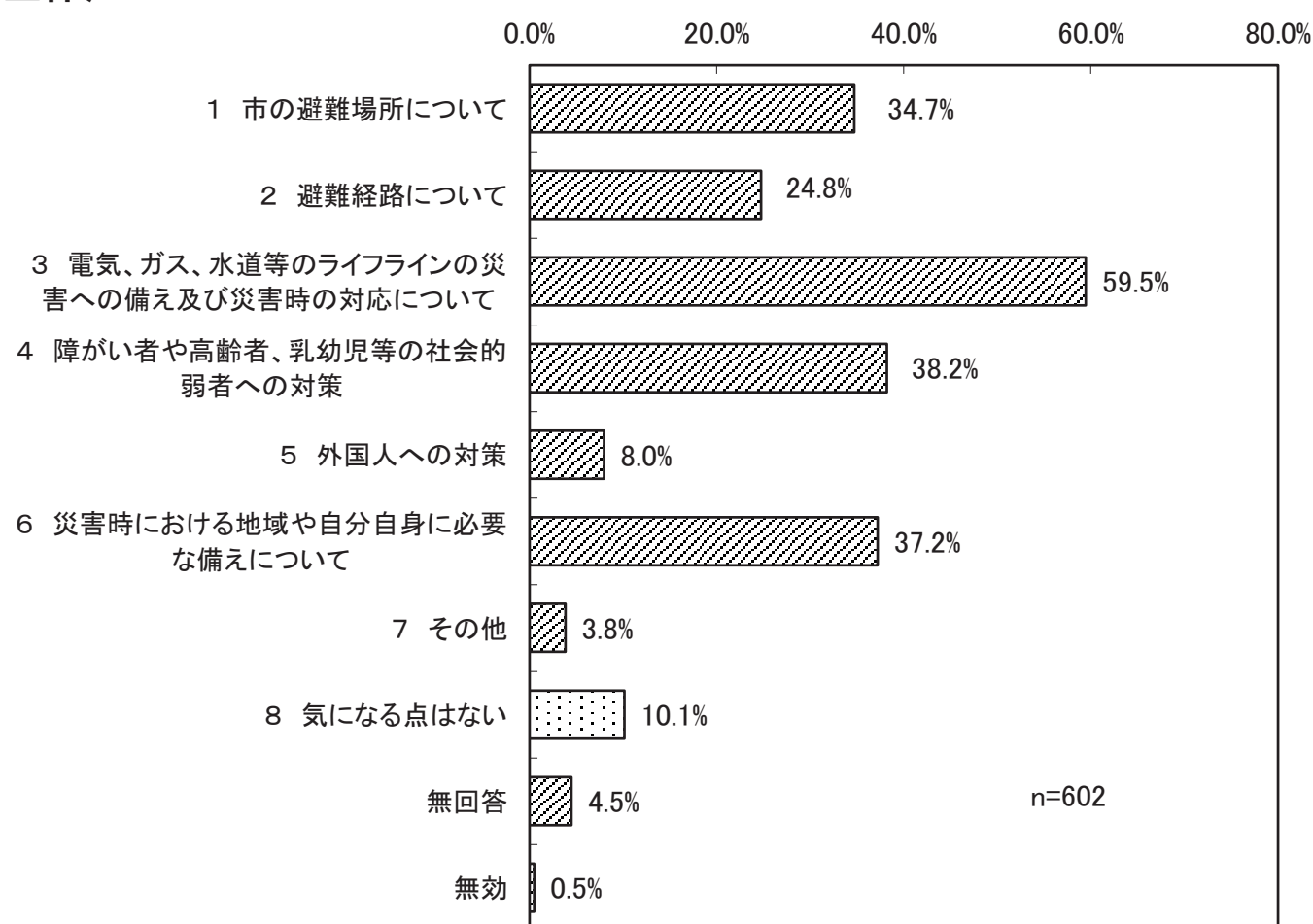
2) 防災について気になる点

防災について気になる点は、“ライフラインの災害への備え及対応”が6割近くを占め、他の項目と比較しても高い割合になっています。その他、“社会的弱者への対策”、“災害時における地域等の備え”の順に4割近い割合になっています。一方で、“気になる点はない”としている人は1割にとどまっています。

年齢別でみると、全ての年代で“ライフラインの災害への備え及び対応”が最も多くなっています。市街化区域内外別でも同様です。

Q2-2 防災について気になる点は何ですか。あてはまるものすべてに○をつけ、具体的な内容(場所等)があればお書きください。

〈全体〉



〈年齢別〉

上段: 回答者数、下段: 割合

	1 16歳～29歳	2 30歳～39歳	3 40歳～49歳	4 50歳～59歳	5 60歳～74歳
1 市の避難場所について	7 30.4%	24 30.0%	33 35.9%	52 35.6%	92 35.7%
2 避難経路について	7 30.4%	17 21.3%	22 23.9%	38 26.0%	64 24.8%
3 電気、ガス、水道等のライフラインの災害への備え及び災害時の対応について	10 43.5%	55 68.8%	59 64.1%	85 58.2%	148 57.4%
4 障がい者や高齢者、乳幼児等の社会的弱者への対策	8 34.8%	30 37.5%	33 35.9%	51 34.9%	108 41.9%
5 外国人への対策	5 21.7%	4 5.0%	7 7.6%	5 3.4%	27 10.5%
6 災害時における地域や自分自身に必要な備えについて	4 17.4%	26 32.5%	32 34.8%	59 40.4%	103 39.9%
7 その他	2 8.7%	5 6.3%	0 0.0%	5 3.4%	11 4.3%
8 気になる点はない	4 17.4%	9 11.3%	8 8.7%	11 7.5%	29 11.2%
無回答・無効	1 4.3%	1 1.3%	6 6.5%	4 2.7%	17 6.6%
回答者数	23	80	92	146	258

黒塗・白文字: 1位、グレー塗・黒文字: 2位、ドット・黒文字: 3位

〈市街化区域内外別〉

上段: 回答者数、下段: 割合

	市街化区域内	市街化区域外
1 市の避難場所について	126 33.6%	77 36.3%
2 避難経路について	88 23.5%	57 26.9%
3 電気、ガス、水道等のライフラインの災害への備え及び災害時の対応について	227 60.5%	123 58.0%
4 障がい者や高齢者、乳幼児等の社会的弱者への対策	146 38.9%	78 36.8%
5 外国人への対策	33 8.8%	13 6.1%
6 災害時における地域や自分自身に必要な備えについて	148 39.5%	74 34.9%
7 その他	17 4.5%	6 2.8%
8 気になる点はない	36 9.6%	24 11.3%
無回答・無効	13 3.5%	15 7.1%
回答者数	375	212

黒塗・白文字: 1位、グレー塗・黒文字: 2位、ドット・黒文字: 3位

3) 防犯について気になる点

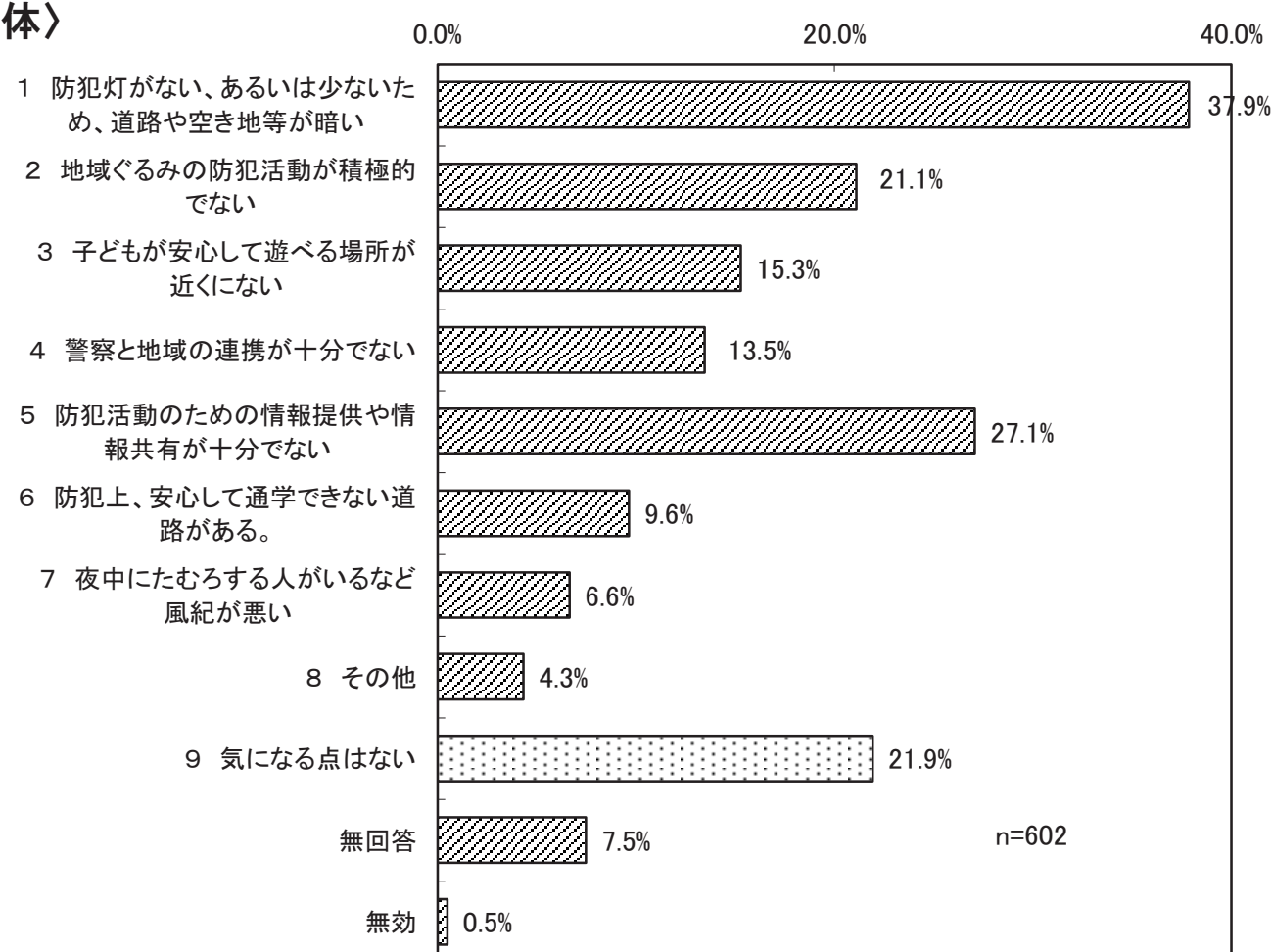
防犯について気になる点は、“防犯灯がない、あるいは少ないため暗い”が37.9%と最も高い割合になっています。次いで、“防犯活動のための情報提供等が十分ではない”が27.1%、“地域ぐるみの防犯活動が積極的ではない”が21.1%となっています。一方、“気になる点はない”と回答している人は、21.9%となっています。

年齢別にみると、全ての年代で“防犯灯がない、あるいは少ないため暗い”が最も高い割合で、年代が下がる程その割合が高くなる傾向にあります。

また、市街化区域内外別でみてみると、区域外で“子どもが安心して遊べる場所が近くにない”が比較的高い割合になっています。

Q2-3 あなたが防犯について気になる点は何ですか。あてはまるものすべてに○をつけ、具体的な内容(場所等)があればお書きください。

〈全体〉



〈年齢別〉

上段：回答者数、下段：割合

	1 16歳～29歳	2 30歳～39歳	3 40歳～49歳	4 50歳～59歳	5 60歳～74歳
1 防犯灯がない、あるいは少ないため、道路や空き地等が暗い	14 60.9%	41 51.3%	31 33.7%	58 39.7%	82 31.8%
2 地域ぐるみの防犯活動が積極的でない	1 4.3%	14 17.5%	11 12.0%	31 21.2%	70 27.1%
3 子どもが安心して遊べる場所が近くにない	2 8.7%	15 18.8%	18 19.6%	19 13.0%	38 14.7%
4 警察と地域の連携が十分でない	1 4.3%	12 15.0%	14 15.2%	16 11.0%	38 14.7%
5 防犯活動のための情報提供や情報共有が十分でない	3 13.0%	27 33.8%	19 20.7%	48 32.9%	66 25.6%
6 防犯上、安心して通学できない道路がある。	3 13.0%	14 17.5%	12 13.0%	12 8.2%	17 6.6%
7 夜中にたむろする人がいるなど風紀が悪い	1 4.3%	8 10.0%	13 14.1%	7 4.8%	11 4.3%
8 その他	3 13.0%	2 2.5%	4 4.3%	9 6.2%	8 3.1%
9 気になる点はない	3 13.0%	15 18.8%	19 20.7%	27 18.5%	67 26.0%
無回答・無効	0 0.0%	3 3.8%	7 7.6%	9 6.2%	29 11.2%
回答者数	23	80	92	146	258

黒塗・白文字：1位、グレー塗・黒文字：2位、ドット・黒文字：3位

〈市街化区域内外別〉

上段：回答者数、下段：割合

	市街化区域内	市街化区域外
1 防犯灯がない、あるいは少ないため、道路や空き地等が暗い	141 37.6%	84 39.6%
2 地域ぐるみの防犯活動が積極的でない	84 22.4%	42 19.8%
3 子どもが安心して遊べる場所が近くにない	45 12.0%	45 21.2%
4 警察と地域の連携が十分でない	55 14.7%	23 10.8%
5 防犯活動のための情報提供や情報共有が十分でない	113 30.1%	47 22.2%
6 防犯上、安心して通学できない道路がある	36 9.6%	20 9.4%
7 夜中にたむろする人がいるなど風紀が悪い	28 7.5%	10 4.7%
8 その他	16 4.3%	10 4.7%
9 気になる点はない	89 23.7%	38 17.9%
無回答・無効	21 5.6%	26 12.3%
回答者数	375	212

黒塗・白文字：1位、グレー塗・黒文字：2位、ドット・黒文字：3位

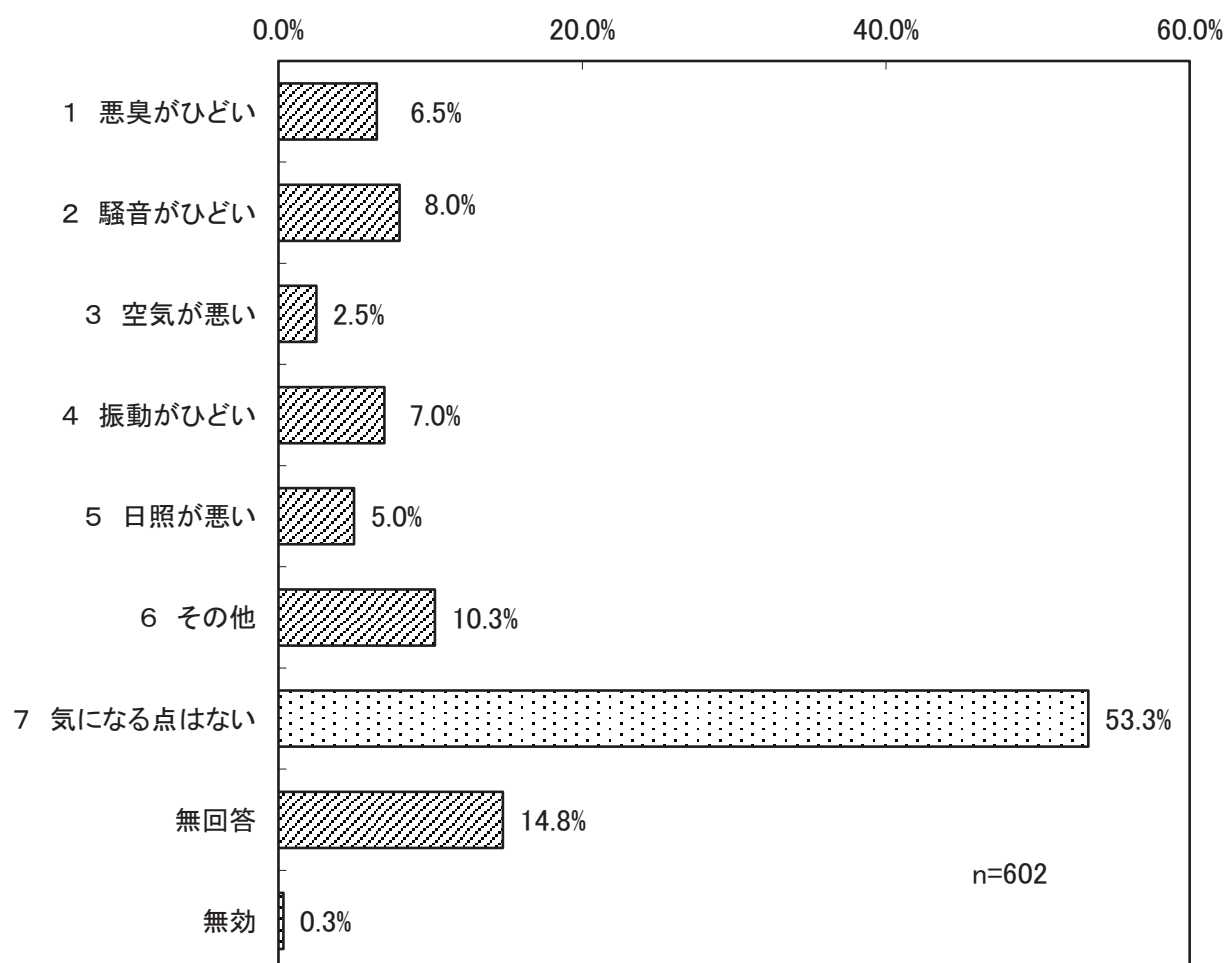
4) 生活環境について気になる点

生活環境については、“気になる点はない”と回答している人が5割以上と高い割合になっています。一方、気になる点については、どの項目も6%前後で、回答割合に大きな差はありません。

年齢別及び市街化区域内外別に見てみると、いずれも“気になる点はない”が最も高い割合になっています。

Q2-4 生活環境について気になる点は何ですか。あてはまるものすべてに○をつけ、具体的な内容(場所等)があればお書きください。

〈全体〉



〈年齢別〉

上段: 回答者数、下段: 割合

	1 16歳～29歳	2 30歳～39歳	3 40歳～49歳	4 50歳～59歳	5 60歳～74歳
1 悪臭がひどい	2 8.7%	5 6.3%	4 4.3%	11 7.5%	17 6.6%
2 騒音がひどい	2 8.7%	10 12.5%	10 10.9%	9 6.2%	16 6.2%
3 空気が悪い	0 0.0%	5 6.3%	2 2.2%	2 1.4%	6 2.3%
4 振動がひどい	3 13.0%	4 5.0%	8 8.7%	2 1.4%	24 9.3%
5 日照が悪い	1 4.3%	3 3.8%	4 4.3%	7 4.8%	15 5.8%
6 その他	2 8.7%	9 11.3%	6 6.5%	28 19.2%	17 6.6%
7 気になる点はない	12 52.2%	45 56.3%	50 54.3%	76 52.1%	138 53.5%
無回答・無効	3 13.0%	10 12.5%	15 16.3%	16 11.0%	45 17.4%
回答者数	23	80	92	146	258

黒塗・白文字: 1位、グレー塗・黒文字: 2位、ドット・黒文字: 3位

〈市街化区域内外別〉

上段：回答者数、下段：割合

	市街化区域内	市街化区域外
1 悪臭がひどい	22 5.9%	15 7.1%
2 騒音がひどい	30 8.0%	16 7.5%
3 空気が悪い	8 2.1%	7 3.3%
4 振動がひどい	27 7.2%	14 6.6%
5 日照が悪い	20 5.3%	10 4.7%
6 その他	50 13.3%	12 5.7%
7 気になる点はない	200 53.3%	111 52.4%
無回答・無効	46 12.3%	43 20.3%
回答者数	375	212

黒塗・白文字：1位、グレー塗・黒文字：2位、ドット・黒文字：3位

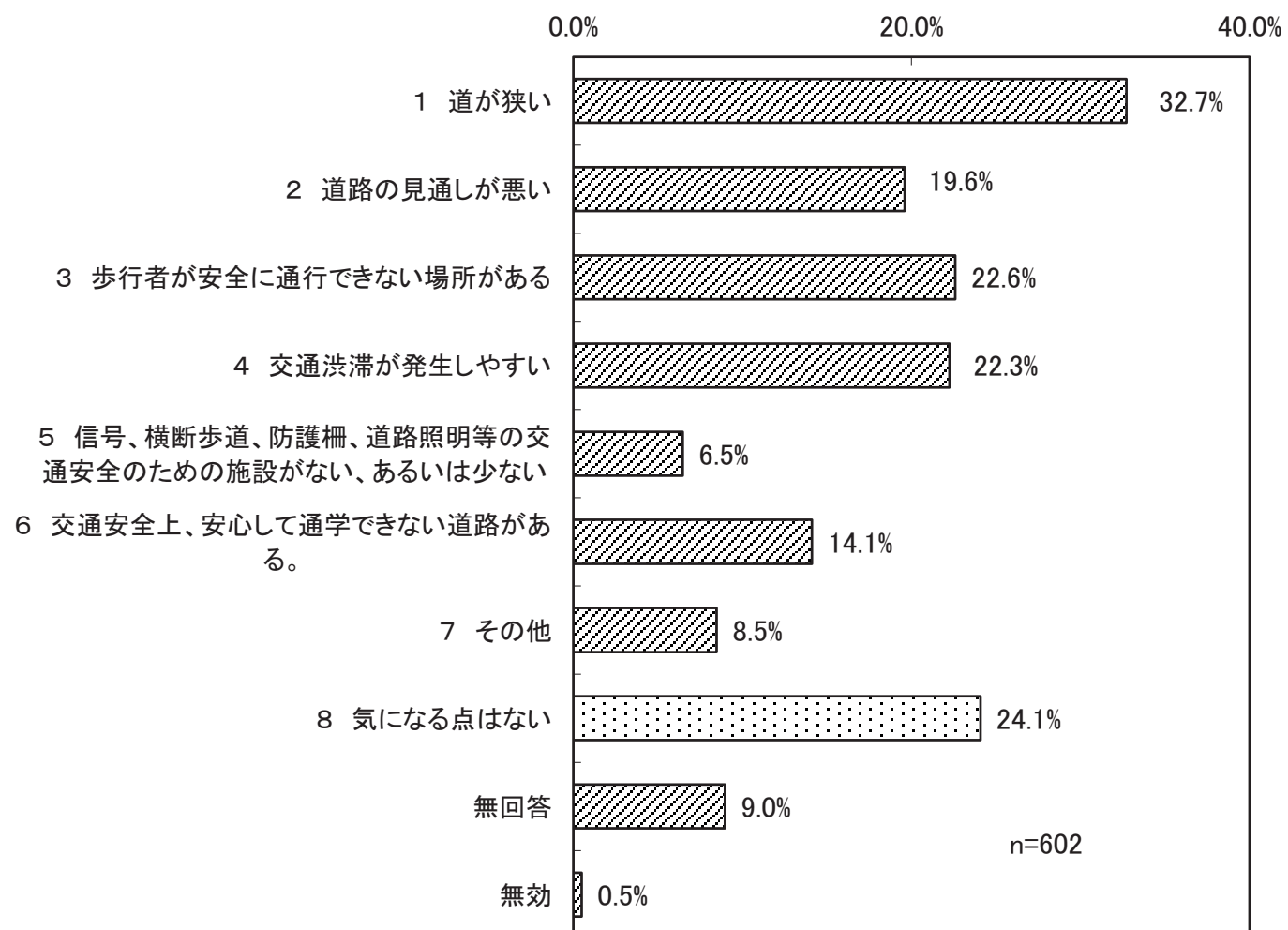
5) まちの安全な移動について気になる点

まちの安全な移動について気になる点は、“道が狭い”が32.7%と最も高くなっています。次いで、“歩行者が安全に通行できない場所がある”が22.6%、“交通渋滞が発生しやすい”が22.3%となっています。一方、“気になる点はない”と回答している人は、24.1%です。

“道路が狭い”については、年齢別、市街化区域内外別にみても最も高い割合になっています。また、市街化区域内より区域外の方が“気になる点はない”として回答している人が多い傾向にあります。

Q2-5 まちの安全な移動について気になる点は何ですか。あてはまるものすべてに○をつけ、具体的な内容(場所等)があればお書きください。

〈全体〉



〈年齢別〉

上段:回答者数、下段:割合

	1 16歳～29歳	2 30歳～39歳	3 40歳～49歳	4 50歳～59歳	5 60歳～74歳
1 道が狭い	13 56.5%	27 33.8%	31 33.7%	46 31.5%	79 30.6%
2 道路の見通しが悪い	4 17.4%	18 22.5%	15 16.3%	37 25.3%	43 16.7%
3 歩行者が安全に通行できない場所がある	5 21.7%	20 25.0%	27 29.3%	31 21.2%	51 19.8%
4 交通渋滞が発生しやすい	7 30.4%	23 28.8%	21 22.8%	38 26.0%	44 17.1%
5 信号、横断歩道、防護柵、道路照明等の交通安全のための施設がない、あるいは少ない	2 8.7%	2 2.5%	3 3.3%	7 4.8%	25 9.7%
6 交通安全上、安心して通学できない道路がある	3 13.0%	15 18.8%	19 20.7%	17 11.6%	31 12.0%
7 その他	5 21.7%	5 6.3%	12 13.0%	12 8.2%	16 6.2%
8 気になる点はない	3 13.0%	16 20.0%	24 26.1%	34 23.3%	68 26.4%
無回答・無効	0 0.0%	7 8.8%	5 5.4%	12 8.2%	33 12.8%
回答者数	23	80	92	146	258

黒塗・白文字:1位、グレー塗・黒文字:2位、ドット・黒文字:3位

〈市街化区域内外別〉

上段:回答者数、下段:割合

	市街化区域内	市街化区域外
1 道が狭い	127 33.9%	65 30.7%
2 道路の見通しが悪い	77 20.5%	39 18.4%
3 歩行者が安全に通行できない場所がある	94 25.1%	40 18.9%
4 交通渋滞が発生しやすい	91 24.3%	41 19.3%
5 信号、横断歩道、防護柵、道路照明等の交通安全のための施設がない、あるいは少ない	22 5.9%	16 7.5%
6 交通安全上、安心して通学できない道路がある	54 14.4%	28 13.2%
7 その他	36 9.6%	14 6.6%
8 気になる点はない	83 22.1%	58 27.4%
無回答・無効	30 8.0%	26 12.3%
回答者数	375	212

黒塗・白文字:1位、グレー塗・黒文字:2位、ドット・黒文字:3位

Q3 円滑な移動についてお聞きします

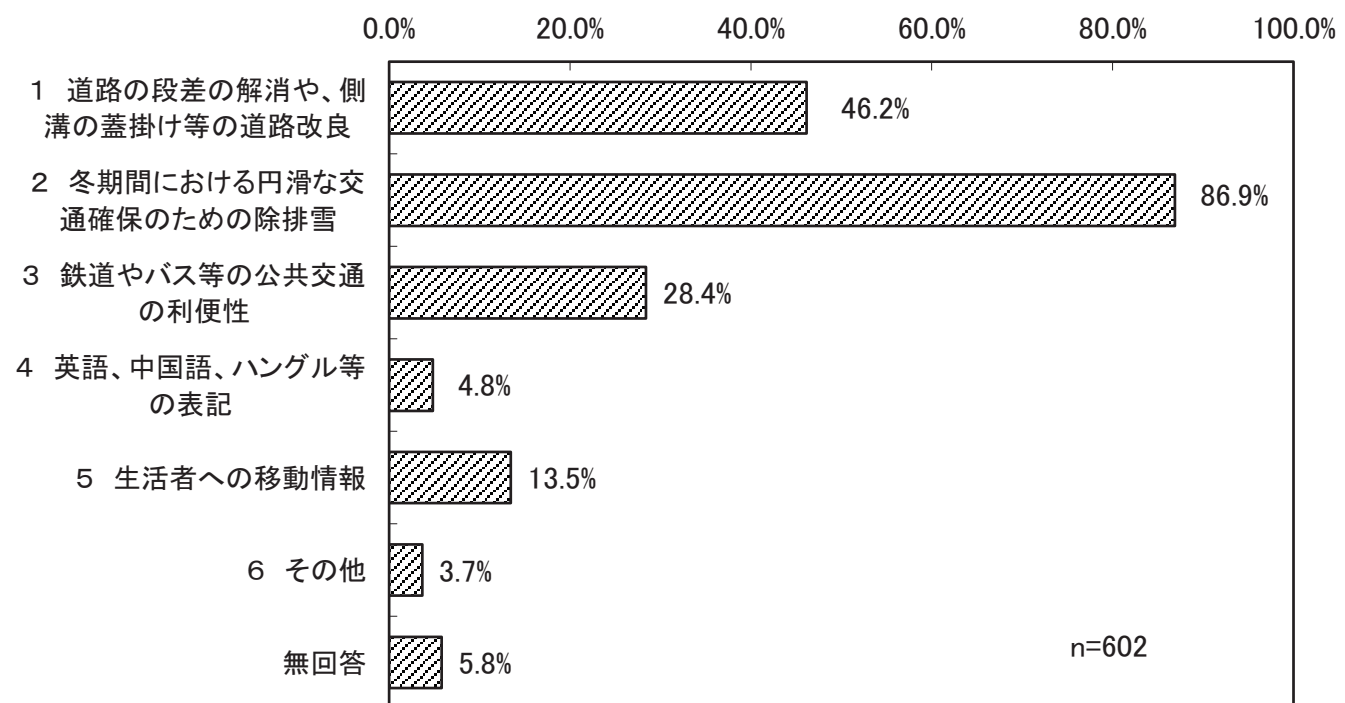
1) 「まちの円滑な移動」という点で重要なこと

「まちの円滑な移動」という点で重要なことは、“冬期間における除排雪”が9割近くとなり高い割合を占めています。次いで“道路改良”が46.2%、“公共交通の利便性”が28.4%となっています。

年齢別、市街化区域内外別にみても全体と同様の傾向がみられます。

Q3-1 「まちの円滑(えんかつ)な移動」という点で、重要だと思うものすべてに○をつけてください。

〈全体〉



〈年齢別〉

上段:回答者数、下段:割合

	1 16歳～29歳	2 30歳～39歳	3 40歳～49歳	4 50歳～59歳	5 60歳～74歳
1 道路の段差の解消や、側溝の蓋掛け等の道路改良	10 43.5%	35 43.8%	40 43.5%	78 53.4%	113 43.8%
2 冬期間における円滑な交通確保のための除排雪	18 78.3%	75 93.8%	83 90.2%	132 90.4%	213 82.6%
3 鉄道やバス等の公共交通の利便性	11 47.8%	27 33.8%	24 26.1%	47 32.2%	61 23.6%
4 英語、中国語、ハングル等の表記	3 13.0%	1 1.3%	3 3.3%	6 4.1%	15 5.8%
5 生活者への移動情報	3 13.0%	11 13.8%	11 12.0%	21 14.4%	33 12.8%
6 その他	2 8.7%	1 1.3%	5 5.4%	7 4.8%	6 2.3%
無回答・無効	2 8.7%	3 3.8%	2 2.2%	4 2.7%	24 9.3%
回答者数	23	80	92	146	258

黒塗・白文字:1位、グレー塗・黒文字:2位、ドット・黒文字:3位

〈市街化区域内外別〉

上段:回答者数、下段:割合

	市街化区域内	市街化区域外
1 道路の段差の解消や、側溝の蓋掛け等の道路改良	174 46.4%	96 45.3%
2 冬期間における円滑な交通確保のための除排雪	333 88.8%	177 83.5%
3 鉄道やバス等の公共交通の利便性	117 31.2%	49 23.1%
4 英語、中国語、ハングル等の表記	23 6.1%	5 2.4%
5 生活者への移動情報	55 14.7%	24 11.3%
6 その他	15 4.0%	7 3.3%
無回答・無効	12 3.2%	22 10.4%
回答者数	375	212

黒塗・白文字:1位、グレー塗・黒文字:2位、ドット・黒文字:3位

2) まちを移動していて危険や不便だと思う点

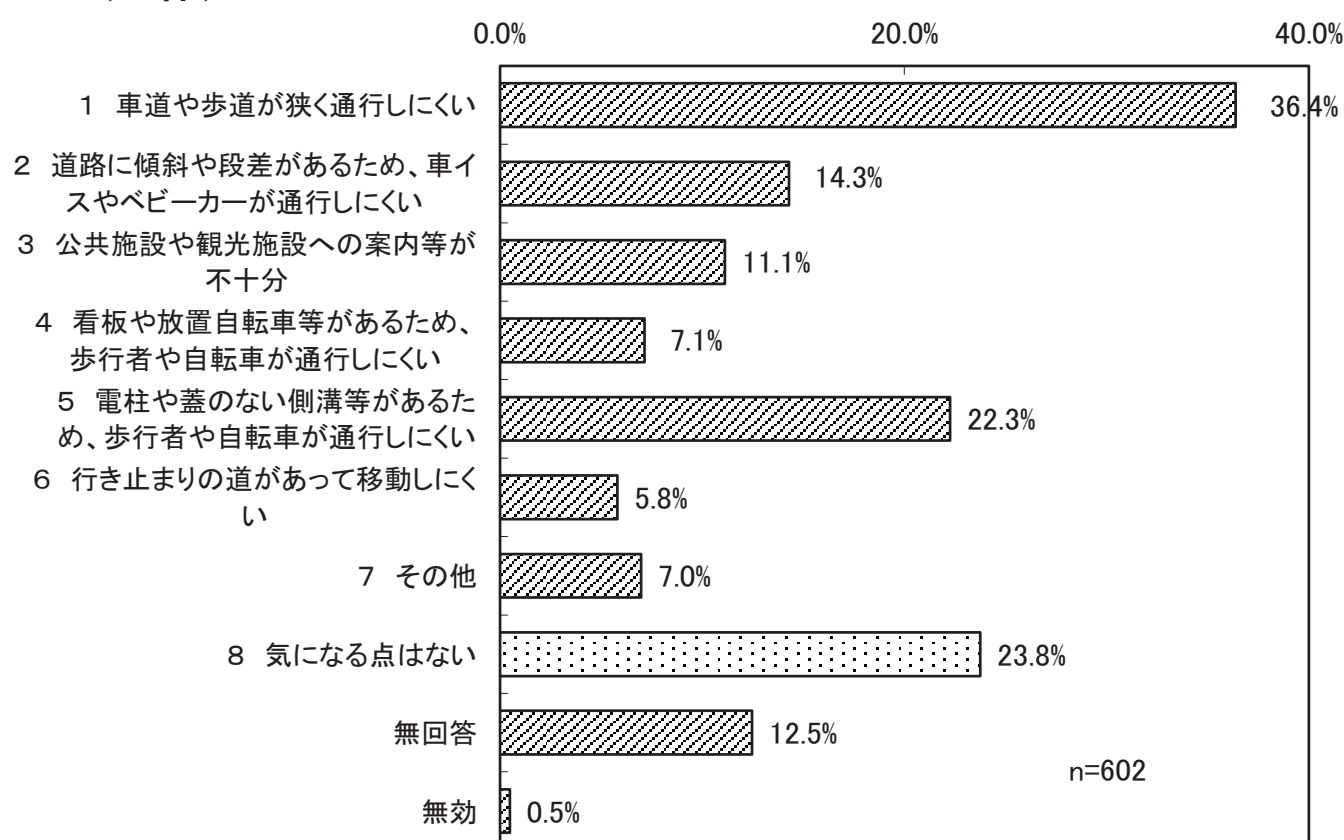
まちを移動していて危険や不便だと思う点は、“車道や歩道が狭く通行しにくい”が36.4%と最も高く、次いで“電柱等があるため歩行者等が通行しにくい”が22.3%となっています。一方、“気になる点はない”と回答している人は、23.8%です。

年齢別、市街化区域内外別では、いずれも“車道や歩道が狭く通行しにくい”が最も高い割合です。

その他の項目については、“気になる点はない”について年代が上がるほど比較的高い割合になる傾向にあり、また、市街化区域内外別では区域外の人の方が高い割合になっています。

Q3-2 普段まちを移動していて、危険だと思う点や不便だと思う点はどこですか。あてはまるものすべてに○をつけ、具体的な場所があればお書きください。

〈全体〉



〈年齢別〉

	上段: 回答者数、下段: 割合				
	1 16歳～29歳	2 30歳～39歳	3 40歳～49歳	4 50歳～59歳	5 60歳～74歳
1 車道や歩道が狭く通行しにくい	16 69.6%	35 43.8%	31 33.7%	49 33.6%	86 33.3%
2 道路に傾斜や段差があるため、車イスやベビーカーが通行しにくい	6 26.1%	14 17.5%	10 10.9%	23 15.8%	33 12.8%
3 公共施設や観光施設への案内等が不十分	5 21.7%	7 8.8%	12 13.0%	16 11.0%	26 10.1%
4 看板や放置自転車等があるため、歩行者や自転車が通行しにくい	2 8.7%	4 5.0%	8 8.7%	9 6.2%	19 7.4%
5 電柱や蓋のない側溝等があるため、歩行者や自転車が通行しにくい	5 21.7%	12 15.0%	21 22.8%	37 25.3%	57 22.1%
6 行き止まりの道があって移動しにくい	1 4.3%	5 6.3%	5 5.4%	9 6.2%	15 5.8%
7 その他	1 4.3%	5 6.3%	10 10.9%	12 8.2%	13 5.0%
8 気になる点はない	4 17.4%	15 18.8%	24 26.1%	33 22.6%	67 26.0%
無回答・無効	1 4.3%	8 10.0%	9 9.8%	16 11.0%	44 17.1%
回答者数	23	80	92	146	258

黒塗・白文字: 1位、グレー塗・黒文字: 2位、ドット・黒文字: 3位

〈市街化区域内外別〉

	上段: 回答者数、下段: 割合	
	市街化区域内	市街化区域外
1 車道や歩道が狭く通行しにくい	149 39.7%	64 30.2%
2 道路に傾斜や段差があるため、車イスやベビーカーが通行しにくい	67 17.9%	16 7.5%
3 公共施設や観光施設への案内等が不十分	42 11.2%	24 11.3%
4 看板や放置自転車等があるため、歩行者や自転車が通行しにくい	33 8.8%	8 3.8%
5 電柱や蓋のない側溝等があるため、歩行者や自転車が通行しにくい	78 20.8%	52 24.5%
6 行き止まりの道があって移動しにくい	25 6.7%	10 4.7%
7 その他	30 8.0%	11 5.2%
8 気になる点はない	75 20.0%	63 29.7%
無回答・無効	38 10.1%	39 18.4%
回答者数	375	212

黒塗・白文字:1位、グレー塗・黒文字:2位、ドット・黒文字:3位

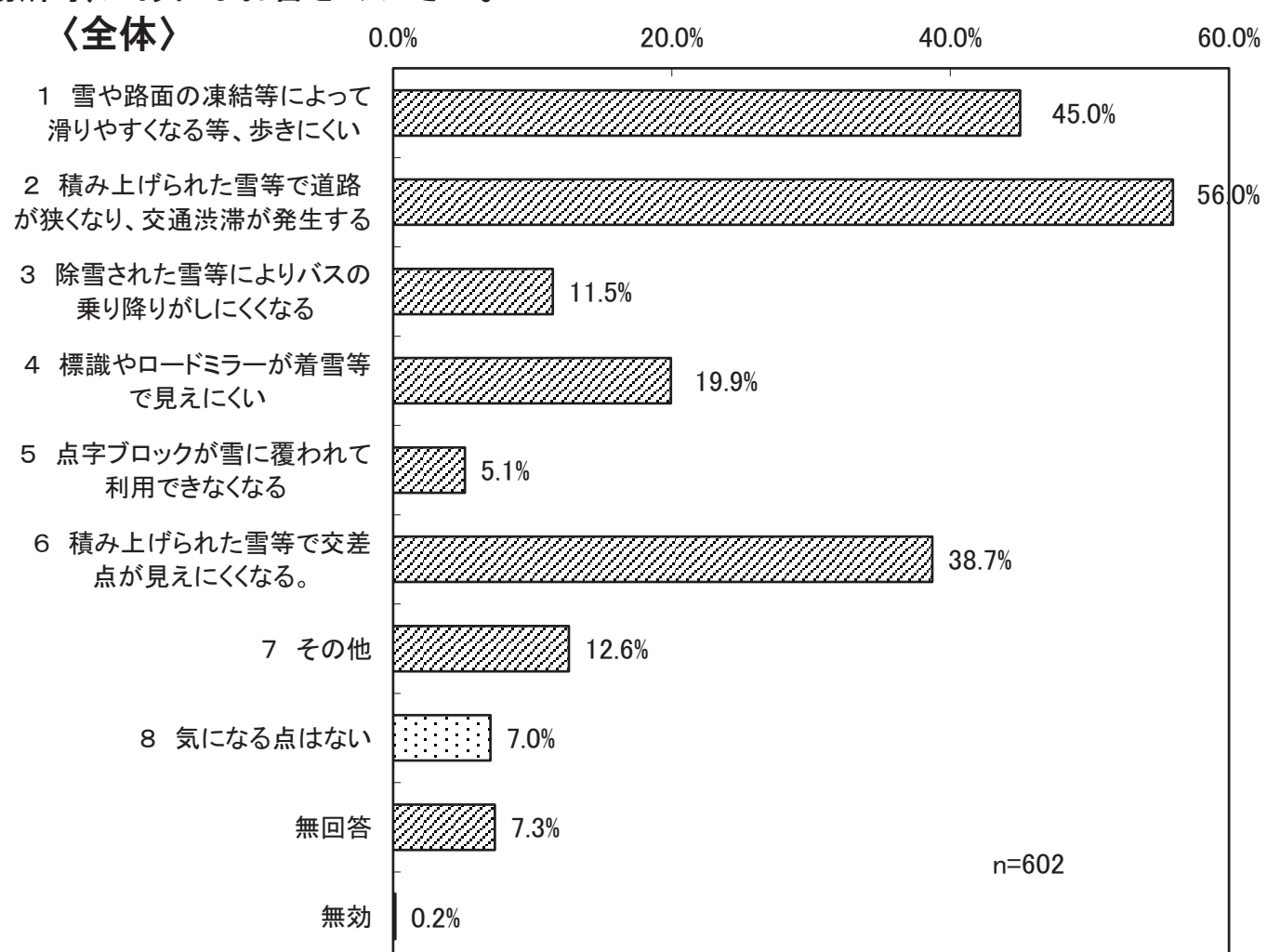
3) 冬期の通行で気になる点

冬期の通行で気になる点は、“積み上げられた雪等で交通渋滞が発生する”が56.0%と最も高く、次いで“雪等によって滑りやすくなり歩きにくい”が45.0%、“積み上げられた雪等で交差点が見えにくい”が38.7%となっています。一方、“気になる点はない”と回答している人は、7.0%と他の設問の気になる点と比較しても低い割合です。

年齢別にしてみると、いずれの年代も“積み上げられた雪等で交通渋滞が発生する”が最も高い割合になっています。その他の項目についても比較的同じような傾向にありますが、“積み上げられた雪等で交通渋滞が発生する”については40歳代でやや高い割合になっています。

市街化区域内外別では、区域内外を問わず上位項目は同様な傾向がみられます。

Q3-3 冬期間の通行で気になる点は何ですか。あてはまるものすべてに○をつけ、具体的な内容(場所等)があればお書きください。



〈年齢別〉

上段：回答者数、下段：割合

	1 16歳～29歳	2 30歳～39歳	3 40歳～49歳	4 50歳～59歳	5 60歳～74歳
1 雪や路面の凍結等によって滑りやすくなる等、歩きにくい	12 52.2%	39 48.8%	39 42.4%	67 45.9%	114 44.2%
2 積み上げられた雪等で道路が狭くなり、交通渋滞が発生する	13 56.5%	59 73.8%	55 59.8%	86 58.9%	124 48.1%
3 除雪された雪等によりバスの乗り降りがしにくくなる	3 13.0%	6 7.5%	9 9.8%	22 15.1%	29 11.2%
4 標識やロードミラーが着雪等で見えにくい	0 0.0%	15 18.8%	24 26.1%	36 24.7%	45 17.4%
5 点字ブロックが雪に覆われて利用できなくなる	2 8.7%	2 2.5%	7 7.6%	4 2.7%	16 6.2%
6 積み上げられた雪等で交差点が見えにくくなる。	6 26.1%	30 37.5%	47 51.1%	61 41.8%	89 34.5%
7 その他	3 13.0%	8 10.0%	14 15.2%	13 8.9%	36 14.0%
8 気になる点はない	4 17.4%	2 2.5%	5 5.4%	9 6.2%	22 8.5%
無回答・無効		1 1.3%	5 5.4%	8 5.5%	30 11.6%
回答者数	23	80	92	146	258

黒塗・白文字：1位、グレー塗・黒文字：2位、ドット・黒文字：3位

〈市街化区域内外別〉

上段：回答者数、下段：割合

	市街化区域内	市街化区域外
1 雪や路面の凍結等によって滑りやすくなる等、歩きにくい	176 46.9%	85 40.1%
2 積み上げられた雪等で道路が狭くなり、交通渋滞が発生する	232 61.9%	95 44.8%
3 除雪された雪等によりバスの乗り降りがしにくくなる	52 13.9%	16 7.5%
4 標識やロードミラーが着雪等で見えにくい	65 17.3%	49 23.1%
5 点字ブロックが雪に覆われて利用できなくなる	23 6.1%	6 2.8%
6 積み上げられた雪等で交差点が見えにくくなる。	150 40.0%	78 36.8%
7 その他	56 14.9%	19 9.0%
8 気になる点はない	23 6.1%	19 9.0%
無回答・無効	22 5.9%	22 10.4%
回答者数	375	212

黒塗・白文字：1位、グレー塗・黒文字：2位、ドット・黒文字：3位

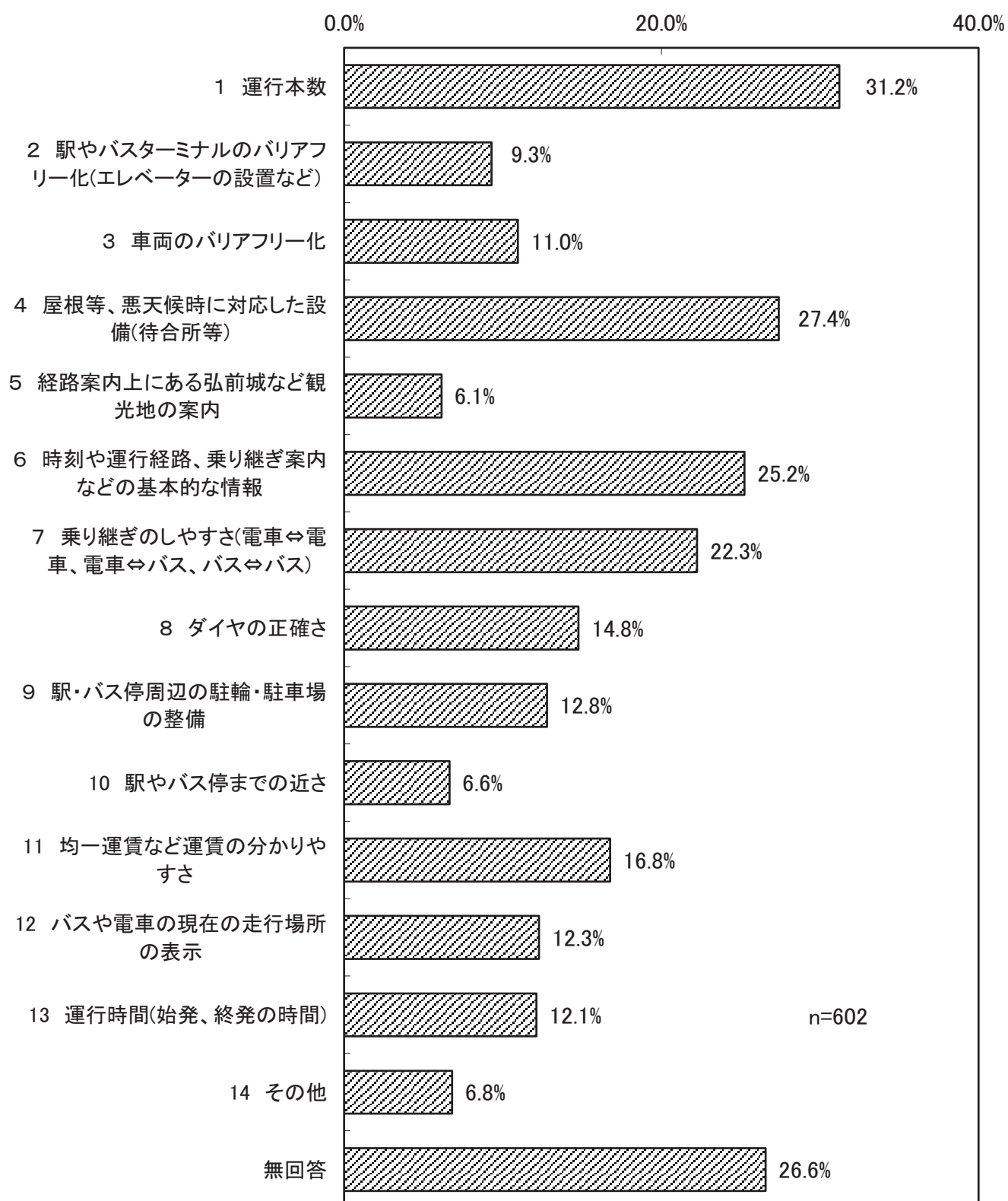
4) 公共交通の利便性について重要な点

公共交通の利便性について重要な点は、“運行本数”が31.2%と最も高い割合です。次いで“屋根等、悪天候時に対応した設備”が27.4%、“時刻等の基本的な情報”が25.2%となっています。

年齢別に最も高い割合の項目をみると、16歳～29歳は“ダイヤの正確さ”“運行時間”、30～59歳は“運行本数”、60～74歳は“悪天候時に対応した設備”となり、年代によってばらつきがみられます。

市街化区域内外別では、区域内外を問わず上位項目は同様な傾向がみられます。

Q3-4 鉄道やバス等の公共交通の利便性について重要だと思う点はどこですか。あてはまるものすべてに○をつけ、具体的な理由があればお書きください。
 〈全体〉



〈年齢別〉

上段: 回答者数、下段: 割合

	1 16歳～29歳	2 30歳～39歳	3 40歳～49歳	4 50歳～59歳	5 60歳～74歳
1 運行本数	6 26.1%	35 43.8%	37 40.2%	53 36.3%	55 21.3%
2 駅やバスターミナルのバリアフリー化 (エレベーターの設置など)	6 26.1%	7 8.8%	12 13.0%	15 10.3%	15 5.8%
3 車両のバリアフリー化	3 13.0%	6 7.5%	9 9.8%	20 13.7%	27 10.5%
4 屋根等、悪天候時に対応した設備(待 合所等)	6 26.1%	20 25.0%	32 34.8%	45 30.8%	61 23.6%
5 経路案内上にある弘前城など観光地 の案内	1 4.3%	5 6.3%	5 5.4%	8 5.5%	17 6.6%
6 時刻や運行経路、乗り継ぎ案内など の基本的な情報	6 26.1%	26 32.5%	33 35.9%	42 28.8%	44 17.1%
7 乗り継ぎのしやすさ(電車⇄電車、電 車⇄バス、バス⇄バス)	6 26.1%	25 31.3%	26 28.3%	38 26.0%	38 14.7%
8 ダイヤの正確さ	7 30.4%	13 16.3%	25 27.2%	16 11.0%	27 10.5%
9 駅・バス停周辺の駐輪・駐車場の整備	4 17.4%	13 16.3%	14 15.2%	17 11.6%	28 10.9%
10 駅やバス停までの近さ	2 8.7%	11 13.8%	7 7.6%	9 6.2%	10 3.9%
11 均一運賃など運賃の分かりやすさ	5 21.7%	12 15.0%	30 32.6%	22 15.1%	31 12.0%
12 バスや電車の現在の走行場所の表 示	3 13.0%	14 17.5%	12 13.0%	22 15.1%	22 8.5%
13 運行時間(始発、終発の時間)	7 30.4%	15 18.8%	16 17.4%	15 10.3%	19 7.4%
14 その他	0 0.0%	7 8.8%	3 3.3%	10 6.8%	19 7.4%
無回答・無効	5 21.7%	12 15.0%	12 13.0%	27 18.5%	104 40.3%
回答者数	23	80	92	146	258

黒塗・白文字: 1位、グレー塗・黒文字: 2位、ドット・黒文字: 3位

〈市街化区域内外別〉

上段: 回答者数、下段: 割合

	市街化区域内	市街化区域外
1 運行本数	124 33.1%	59 27.8%
2 駅やバスターミナルのバリアフリー化 (エレベーターの設置など)	43 11.5%	11 5.2%
3 車両のバリアフリー化	46 12.3%	17 8.0%
4 屋根等、悪天候時に対応した設備(待 合所等)	108 28.8%	53 25.0%
5 経路案内上にある弘前城など観光地 の案内	24 6.4%	12 5.7%
6 時刻や運行経路、乗り継ぎ案内などの 基本的な情報	99 26.4%	47 22.2%
7 乗り継ぎのしやすさ(電車⇄電車、電車 ⇄バス、バス⇄バス)	90 24.0%	40 18.9%
8 ダイヤの正確さ	67 17.9%	21 9.9%
9 駅・バス停周辺の駐輪・駐車場の整備	50 13.3%	26 12.3%
10 駅やバス停までの近さ	29 7.7%	11 5.2%
11 均一運賃など運賃の分かりやすさ	68 18.1%	30 14.2%
12 バスや電車の現在の走行場所の表 示	52 13.9%	21 9.9%
13 運行時間(始発、終発の時間)	50 13.3%	21 9.9%
14 その他	31 8.3%	9 4.2%
無回答・無効	85 22.7%	72 34.0%
回答者数	375	212

黒塗・白文字: 1位、グレー塗・黒文字: 2位、ドット・黒文字: 3位

Q4 施設利用時についてお聞きします

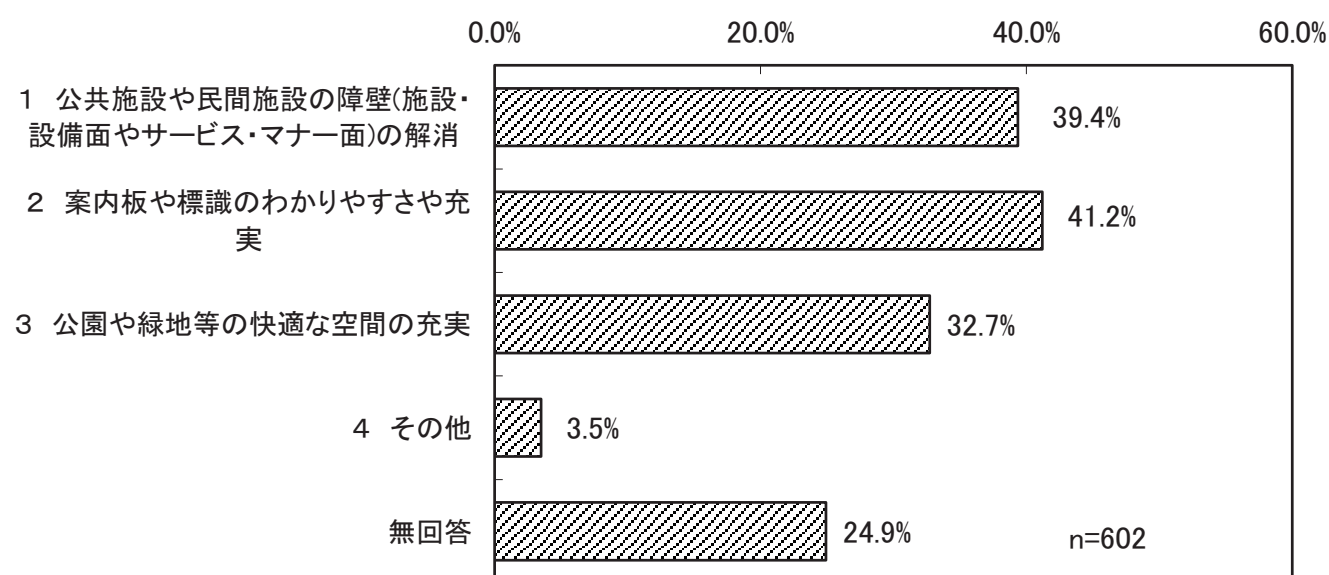
1) 「まちの快適な施設利用」という点で重要なこと

「まちの快適な施設利用」という点で重要なことは、各項目の割合が3、4割となり大きな差は見られません。

年齢別にみても、16～29歳及び30歳代は“公園や緑地等の快適な空間の充実”、40歳代は“公共施設や民間施設の障壁の解消”、50歳代以上は“案内板や標識のわかりやすさや充実”が最も高い割合になっており、年代によってばらつきがみられます。

市街化区域内外別には、区域内は“公園や緑地等の快適な空間の充実”、区域外は“案内板や標識のわかりやすさや充実”が最も高い割合になっています。

Q4-1 「まちの快適な施設利用」という点で、重要だと思うものすべてに○をつけてください。 〈全体〉



〈年齢別〉

上段: 回答者数、下段: 割合

	1 16歳～29歳	2 30歳～39歳	3 40歳～49歳	4 50歳～59歳	5 60歳～74歳
1 公共施設や民間施設の障壁(施設・設備面やサービス・マナー面)の解消	11 47.8%	28 35.0%	51 55.4%	54 37.0%	91 35.3%
2 案内板や標識のわかりやすさや充実	8 34.8%	28 35.0%	47 51.1%	67 45.9%	95 36.8%
3 公園や緑地等の快適な空間の充実	12 52.2%	38 47.5%	30 32.6%	46 31.5%	69 26.7%
4 その他	1 4.3%	4 5.0%	3 3.3%	5 3.4%	7 2.7%
無回答・無効	4 17.4%	12 15.0%	11 12.0%	30 20.5%	93 36.0%
回答者数	23	80	92	146	258

黒塗・白文字: 1位、グレー塗・黒文字: 2位

〈市街化区域内外別〉

上段: 回答者数、下段: 割合

	市街化区域内	市街化区域外
1 公共施設や民間施設の障壁(施設・設備面やサービス・マナー面)の解消	161 42.9%	69 32.5%
2 案内板や標識のわかりやすさや充実	153 40.8%	90 42.5%
3 公園や緑地等の快適な空間の充実	131 34.9%	64 30.2%
4 その他	14 3.7%	7 3.3%
無回答・無効	84 22.4%	61 28.8%
回答者数	375	212

黒塗・白文字: 1位、グレー塗・黒文字: 2位

2)不便を感じる施設

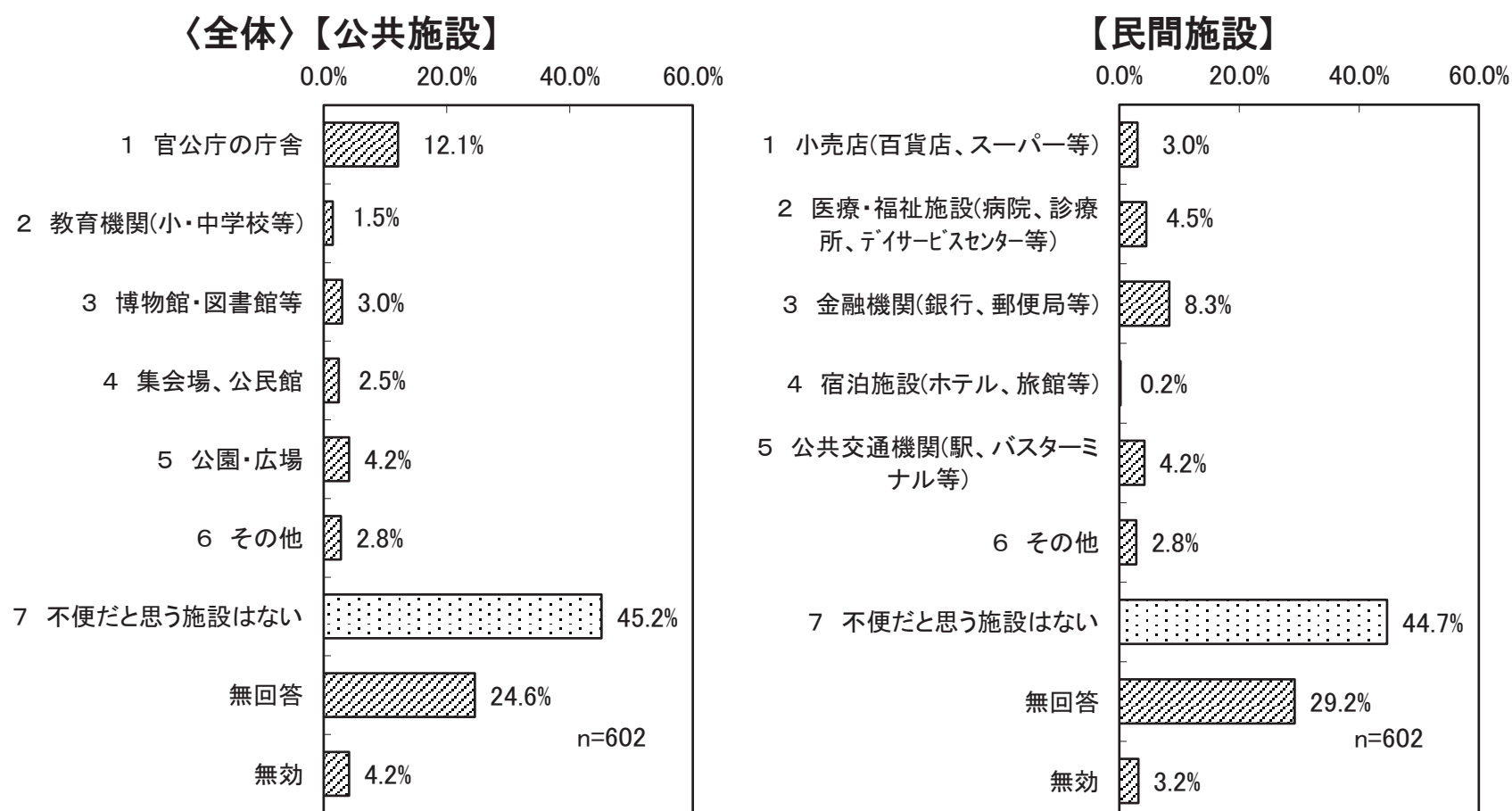
“不便だと思う施設はない”と回答している人は、公共施設、民間施設ともに4割以上を占めています。一方、不便を感じる施設は、公共施設が“官公庁の庁舎(12.1%)”、民間施設が“金融機関(8.3%)”が最も高い割合です。

年齢別にみると、いずれの年代も公共施設、民間施設ともに“不便だと思う施設はない”が最も高い割合です。2番に高い割合の施設は、公共施設においては年代によってばらつきがみられますが、民間施設は60～74歳を除く全ての年代で“公共交通機関”となっています。

市街化区域内外別では、区域内外を問わず上位項目は同様な傾向を示し、“不便だと思う施設はない”が公共施設、民間施設ともに最も高い割合です。

Q4-2 普段公共施設や民間施設を利用して、不便を感じる施設はありますか。不便だと思う施設名をお書きください。また、そのうち最も不便だと思う施設について、公共施設。民間施設から1つずつ○をつけてください。

なお、「7不便だと思う施設がない」とお答えの方はQ4-3にお進みください。



〈年齢別〉

◆公共施設

上段: 回答者数、下段: 割合

	1 16歳～29歳	2 30歳～39歳	3 40歳～49歳	4 50歳～59歳	5 60歳～74歳
1 官公庁の庁舎	1 4.3%	2 2.5%	4 4.3%	1 0.7%	5 1.9%
2 教育機関(小・中学校)	0.0%	1 1.3%	2 2.2%	2 1.4%	1 0.4%
3 博物館・図書館等	0.0%	0.0%	2 2.2%	0.0%	1 0.4%
4 集会場、公民館	0.0%	3 3.8%	1 1.1%	4 2.7%	5 1.9%
5 公園・歩行者専用道路	1 4.3%	0.0%	1 1.1%	3 2.1%	4 1.6%
6 その他	0.0%	2 2.5%	0.0%	3 2.1%	4 1.6%
7 当てはまる施設はない	13 56.5%	57 71.3%	61 66.3%	91 62.3%	128 49.6%
無回答・無効	8 34.8%	15 18.8%	21 22.8%	42 28.8%	110 42.6%
合計	23 100%	80 100%	92 100%	146 100%	258 100%

黒塗・白文字: 1位、グレー塗・黒文字: 2位

◆民間施設

上段: 回答者数、下段: 割合

	1 16歳～29歳	2 30歳～39歳	3 40歳～49歳	4 50歳～59歳	5 60歳～74歳
1 小売店(百貨店、スーパー等)	1 0.0%	1 1.3%	1 1.1%	0 0.0%	1 0.4%
2 医療・福祉施設(病院、診療所、デイサービスセンター等)	0 0.0%	0 0.0%	1 1.1%	0 0.0%	5 1.9%
3 金融機関(銀行、郵便局等)	0 0.0%	1 1.3%	0 0.0%	1 0.7%	0 0.0%
4 宿泊施設(ホテル、旅館等)	0 0.0%	0 0.0%	2 2.2%	1 0.7%	1 0.4%
5 公共交通機関(駅、バスターミナル等)	3 13.0%	4 5.0%	2 2.2%	5 3.4%	3 1.2%
6 その他	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 0.7%	2 0.8%
7 当てはまる施設はない	15 65.2%	56 70.0%	62 67.4%	84 57.5%	125 48.4%
無回答・無効	5 21.7%	18 22.5%	24 26.1%	54 37.0%	121 46.9%
合計	23 100%	80 100%	92 100%	146 100%	258 100%

黒塗・白文字: 1位、グレー塗・黒文字: 2位

〈市街化区域内外別〉

◆公共施設

上段: 回答者数、下段: 割合

	市街化区域内	市街化区域外
1 官公庁の庁舎	45 12.0%	25 11.8%
2 教育機関(小・中学校等)	5 1.3%	4 1.9%
3 博物館・図書館等	14 3.7%	4 1.9%
4 集会場、公民館	6 1.6%	9 4.2%
5 公園・広場	20 5.3%	4 1.9%
6 その他	10 2.7%	6 2.8%
7 不便だと思う施設はない	172 45.9%	96 45.3%
無回答・無効	103 27.5%	64 30.2%
合計	375 100%	212 100%

黒塗・白文字: 1位、グレー塗・黒文字: 2位

◆民間施設

上段: 回答者数、下段: 割合

	市街化区域内	市街化区域外
1 小売店(百貨店、スーパー等)	12 3.2%	6 2.8%
2 医療・福祉施設(病院、診療所、デイサービスセンター等)	16 4.3%	9 4.2%
3 金融機関(銀行、郵便局等)	34 9.1%	15 7.1%
4 宿泊施設(ホテル、旅館等)	1 0.3%	0 0.0%
5 公共交通機関(駅、バスターミナル等)	15 4.0%	9 4.2%
6 その他	14 3.7%	3 1.4%
7 不便だと思う施設はない	172 45.9%	92 43.4%
無回答・無効	111 29.6%	78 36.8%
合計	375 100%	212 100%

黒塗・白文字: 1位、グレー塗・黒文字: 2位

施設・設備面で不便だと思える点

施設・設備面で不便だと思える点は、公共施設、民間施設ともに“駐車場がない・狭い”が4割以上となり最も高い割合です。

年齢別にみても、30歳代以上は公共施設、民間施設ともに“駐車場がない・狭い”が上位となっています。

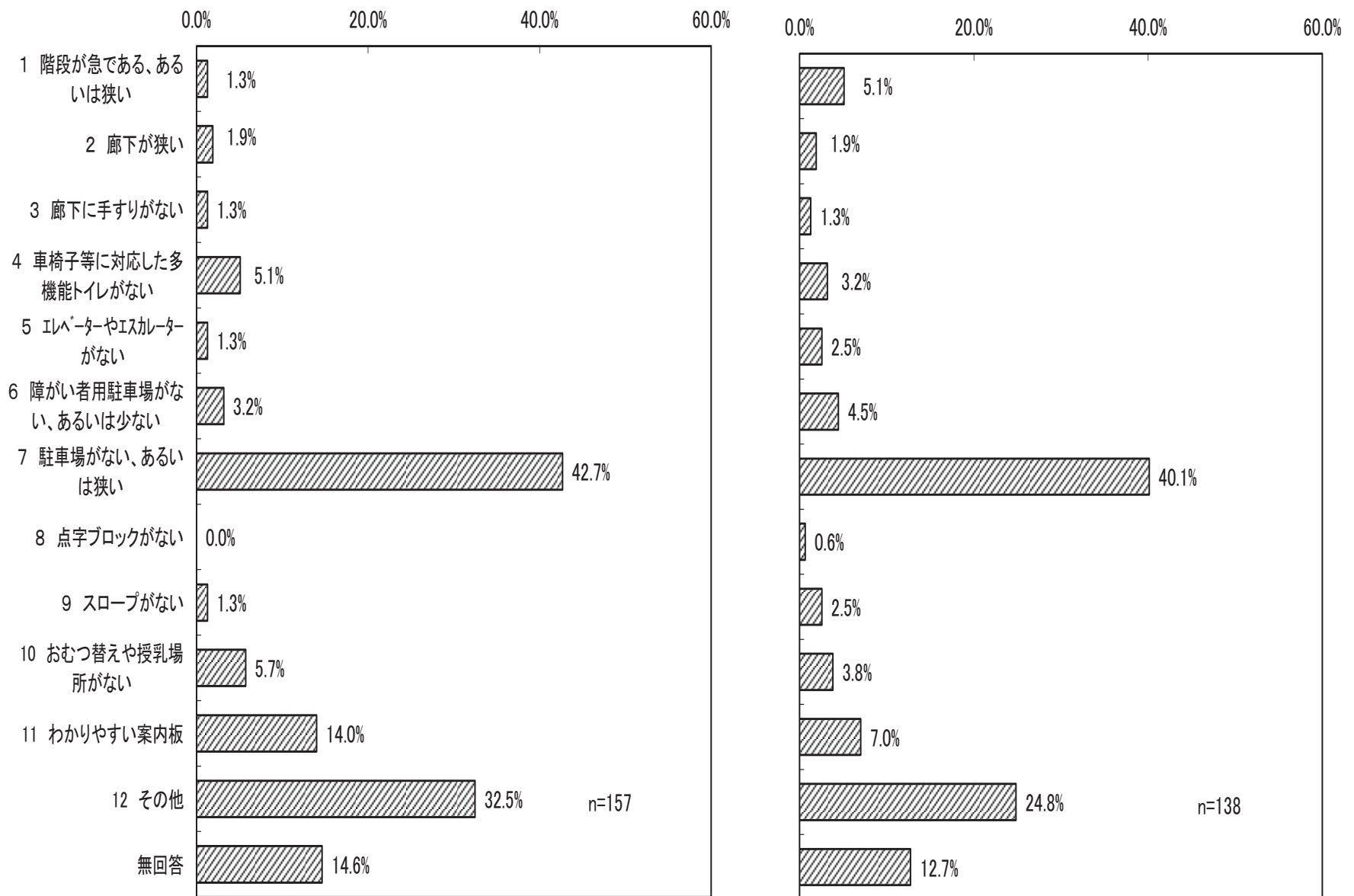
市街化区域内外別では、区域内外を問わず公共施設、民間施設ともに“駐車場がない・狭い”が最も高い割合になっています。

Q4-2 Q4-2で○をつけた施設について、施設・設備面で不便だと思える点はどこですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

〈全体〉

【公共施設】

【民間施設】



〈年齢別〉

◆公共施設

上段：回答者数、下段：割合

	1 16歳～29歳	2 30歳～39歳	3 40歳～49歳	4 50歳～59歳	5 60歳～74歳
1 階段が急である、あるいは狭い	1 12.5%	0 0.0%	0 0.0%	1 2.7%	0 0.0%
2 廊下が狭い	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 2.7%	2 4.3%
3 廊下に手すりがない	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 2.7%	1 2.2%
4 車椅子等に対応した多機能トイレがない	0 0.0%	2 6.3%	3 8.8%	2 5.4%	1 2.2%
5 エレベーターやエスカレーターがない	0 0.0%	0 0.0%	1 2.9%	0 0.0%	1 2.2%
6 障がい者用駐車場がない、あるいは少ない	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 2.7%	4 8.7%
7 駐車場がない、あるいは狭い	1 12.5%	11 34.4%	14 41.2%	15 40.5%	26 56.5%
8 点字ブロックがない	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
9 スロープがない	0 0.0%	0 0.0%	1 2.9%	1 2.7%	0 0.0%
10 おむつ替えや授乳場所がない	1 12.5%	5 15.6%	3 8.8%	0 0.0%	0 0.0%
11 わかりやすい案内板	3 37.5%	1 3.1%	5 14.7%	6 16.2%	7 15.2%
12 その他	2 25.0%	13 40.6%	14 41.2%	11 29.7%	11 23.9%
無回答・無効	3 37.5%	4 12.5%	3 8.8%	7 18.9%	6 13.0%
回答者数	8	32	34	37	46

黒塗・白文字：1位、グレー塗・黒文字：2位

◆民間施設

上段：回答者数、下段：割合

	1 16歳～29歳	2 30歳～39歳	3 40歳～49歳	4 50歳～59歳	5 60歳～74歳
1 階段が急である、あるいは狭い	2 25.0%	0 0.0%	1 2.9%	1 2.7%	4 8.7%
2 廊下が狭い	1 12.5%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 4.3%
3 廊下に手すりがない	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 4.3%
4 車椅子等に対応した多機能トイレがない	1 12.5%	0 0.0%	0 0.0%	2 5.4%	2 4.3%
5 エレベーターやエスカレーターがない	0 0.0%	0 0.0%	1 2.9%	1 2.7%	2 4.3%
6 障がい者用駐車場がない、あるいは少ない	0 0.0%	1 3.1%	0 0.0%	2 5.4%	4 8.7%
7 駐車場がない、あるいは狭い	1 12.5%	12 37.5%	13 38.2%	13 35.1%	24 52.2%
8 点字ブロックがない	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 2.2%
9 スロープがない	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 5.4%	2 4.3%
10 おむつ替えや授乳場所がない	0 0.0%	3 9.4%	1 2.9%	0 0.0%	2 4.3%
11 わかりやすい案内板	0 0.0%	2 6.3%	2 5.9%	4 10.8%	3 6.5%
12 その他	4 50.0%	9 28.1%	7 20.6%	9 24.3%	10 21.7%
無回答・無効	0 0.0%	2 6.3%	2 5.9%	3 8.1%	13 28.3%
回答者数	8	32	34	37	46

黒塗・白文字：1位、グレー塗・黒文字：2位

〈市街化区域内外別〉

◆公共施設 上段:回答者数、下段:割合

	市街化区域内	市街化区域外
1 階段が急である、あるいは狭い	2 2.0%	0 0.0%
2 廊下が狭い	2 2.0%	1 1.9%
3 廊下に手すりがない	1 1.0%	1 1.9%
4 車椅子等に対応した多機能トイレがない	5 5.0%	3 5.8%
5 エレベーターやエスカレーターがない	2 2.0%	0 0.0%
6 障がい者用駐車場がない、あるいは少ない	2 2.0%	3 5.8%
7 駐車場がない、あるいは狭い	43 43.0%	21 40.4%
8 点字ブロックがない	0 0.0%	0 0.0%
9 スロープがない	2 2.0%	0 0.0%
10 おむつ替えや授乳場所がない	5 5.0%	4 7.7%
11 わかりやすい案内板	15 15.0%	7 13.5%
12 その他	36 36.0%	14 26.9%
無回答・無効	12 12.0%	10 19.2%
回答者数	100	52

黒塗・白文字:1位、グレー塗・黒文字:2位

◆民間施設 上段:回答者数、下段:割合

	市街化区域内	市街化区域外
1 階段が急である、あるいは狭い	7 7.6%	1 2.4%
2 廊下が狭い	2 2.2%	1 2.4%
3 廊下に手すりがない	2 2.2%	0 0.0%
4 車椅子等に対応した多機能トイレがない	5 5.4%	0 0.0%
5 エレベーターやエスカレーターがない	4 4.3%	0 0.0%
6 障がい者用駐車場がない、あるいは少ない	6 6.5%	1 2.4%
7 駐車場がない、あるいは狭い	43 46.7%	17 40.5%
8 点字ブロックがない	1 1.1%	0 0.0%
9 スロープがない	4 4.3%	0 0.0%
10 おむつ替えや授乳場所がない	5 5.4%	1 2.4%
11 わかりやすい案内板	7 7.6%	4 9.5%
12 その他	26 28.3%	12 28.6%
無回答・無効	12 13.0%	8 19.0%
回答者数	92	42

黒塗・白文字:1位、グレー塗・黒文字:2位

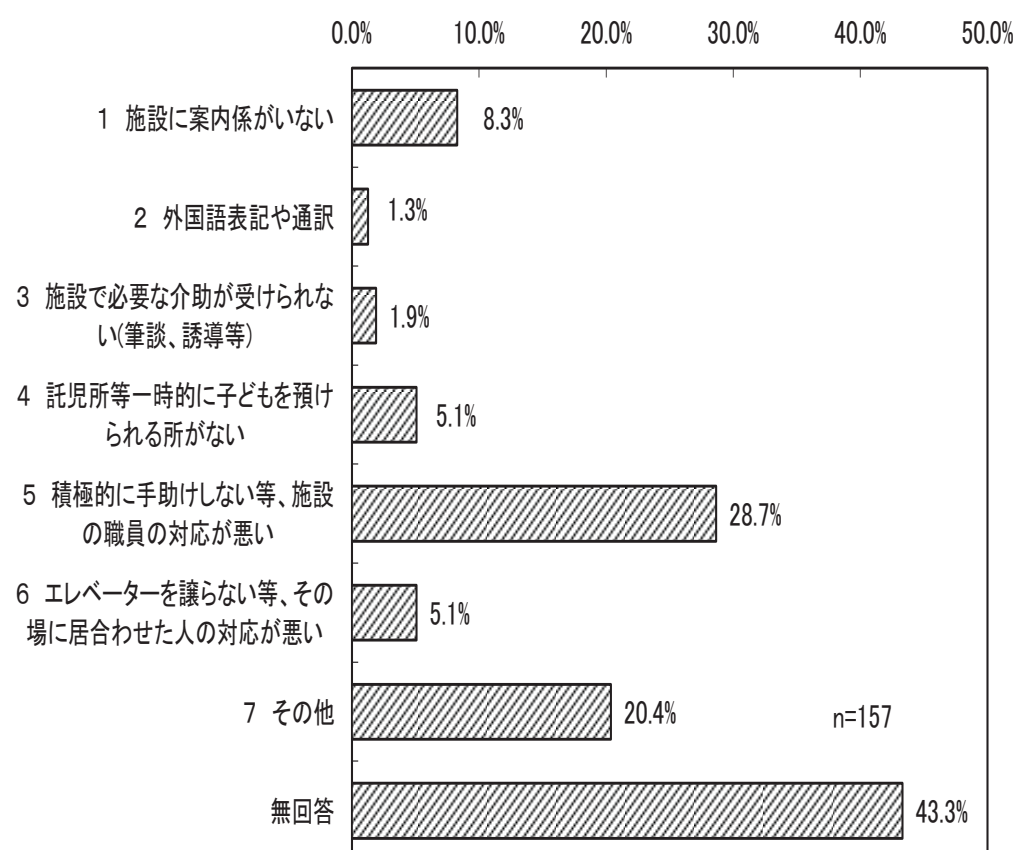
サービス・マナー面で不便だと思う点

サービス・マナー面で不便だと思う点は、“施設の職員の対応悪い”が公共施設、民間施設ともに最も高い割合です。

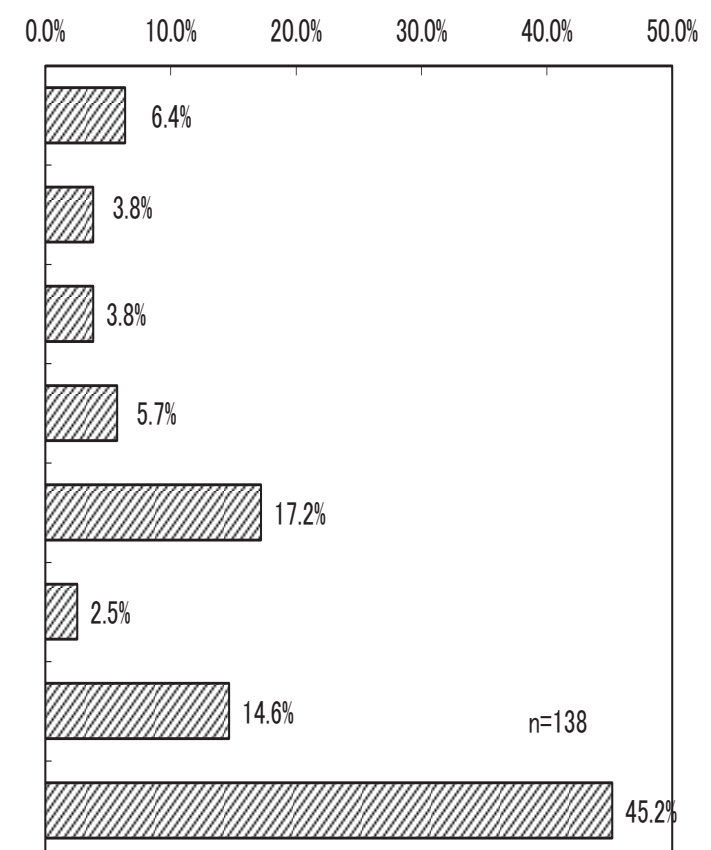
年齢別、市街化区域内外別にみてもいずれも“施設の職員の対応悪い”が上位を占めています。このほか目立った項目としては、16～29歳及び60～74歳で公共施設について“施設に案内係がない”が高い割合です。

Q4-2 Q4-2で○をつけた施設について、サービス・マナー面で不便だと思う点はどこですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

〈全体〉【公共施設】



【民間施設】



〈年齢別〉

◆公共施設

上段:回答者数、下段:割合

	1 16歳～29歳	2 30歳～39歳	3 40歳～49歳	4 50歳～59歳	5 60歳～74歳
1 施設に案内係がない	2 25.0%	0 0.0%	2 5.9%	2 5.4%	7 15.2%
2 外国語表記や通訳	1 12.5%	0 0.0%	0 0.0%	1 2.7%	0 0.0%
3 施設で必要な介助が受けられない(筆談、誘導等)	1 12.5%	0 0.0%	0 0.0%	1 2.7%	1 2.2%
4 託児所等一時的に子どもを預けられる所がない	1 12.5%	2 6.3%	0 0.0%	2 5.4%	3 6.5%
5 積極的に手助けしない等、施設の職員の対応が悪い	3 37.5%	9 28.1%	13 38.2%	8 21.6%	12 26.1%
6 エレベーターを譲らない等、その場に居合わせた人の対応が悪い	1 12.5%	1 3.1%	3 8.8%	2 5.4%	1 2.2%
7 その他	2 25.0%	9 28.1%	5 14.7%	9 24.3%	7 15.2%
無回答・無効	4 50.0%	13 40.6%	16 47.1%	15 40.5%	20 43.5%
回答者数	8	32	34	37	46

黒塗・白文字:1位、グレー塗・黒文字:2位

◆民間施設

上段:回答者数、下段:割合

	1 16歳～29歳	2 30歳～39歳	3 40歳～49歳	4 50歳～59歳	5 60歳～74歳
1 施設に案内係がない	0 0.0%	2 6.3%	2 5.9%	1 2.7%	5 10.9%
2 外国語表記や通訳	2 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 2.7%	3 6.5%
3 施設で必要な介助が受けられない(筆談、誘導等)	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 2.7%	5 10.9%
4 託児所等一時的に子どもを預けられる所がない	2 25.0%	2 6.3%	0 0.0%	1 2.7%	4 8.7%
5 積極的に手助けしない等、施設の職員の対応が悪い	1 12.5%	5 15.6%	4 11.8%	5 13.5%	12 26.1%
6 エレベーターを譲らない等、その場に居合わせた人の対応が悪い	0 0.0%	1 3.1%	3 8.8%	0 0.0%	0 0.0%
7 その他	0 0.0%	5 15.6%	5 14.7%	6 16.2%	7 15.2%
無回答・無効	1 12.5%	12 37.5%	12 35.3%	18 48.6%	28 60.9%
回答者数	8	32	34	37	46

黒塗・白文字:1位、グレー塗・黒文字:2位

〈市街化区域内外別〉

◆公共施設

上段:回答者数、下段:割合

	市街化区域内	市街化区域外
1 施設に案内係がない	11 11.0%	1 1.9%
2 外国語表記や通訳	1 1.0%	1 1.9%
3 施設で必要な介助が受けられない(筆談、誘導等)	2 2.0%	1 1.9%
4 託児所等一時的に子どもを預けられる所がない	6 6.0%	2 3.8%
5 積極的に手助けしない等、施設の職員の対応が悪い	33 33.0%	12 23.1%
6 エレベーターを譲らない等、その場に居合わせた人の対応が悪い	7 7.0%	1 1.9%
7 その他	19 19.0%	13 25.0%
無回答・無効	41 41.0%	23 44.2%
回答者数	100	52

黒塗・白文字:1位、グレー塗・黒文字:2位

◆民間施設

上段:回答者数、下段:割合

	市街化区域内	市街化区域外
1 施設に案内係がない	5 5.4%	2 4.8%
2 外国語表記や通訳	5 5.4%	1 2.4%
3 施設で必要な介助が受けられない(筆談、誘導等)	6 6.5%	0 0.0%
4 託児所等一時的に子どもを預けられる所がない	7 7.6%	2 4.8%
5 積極的に手助けしない等、施設の職員の対応が悪い	19 20.7%	7 16.7%
6 エレベーターを譲らない等、その場に居合わせた人の対応が悪い	3 3.3%	1 2.4%
7 その他	13 14.1%	10 23.8%
無回答・無効	50 54.3%	20 47.6%
回答者数	92	42

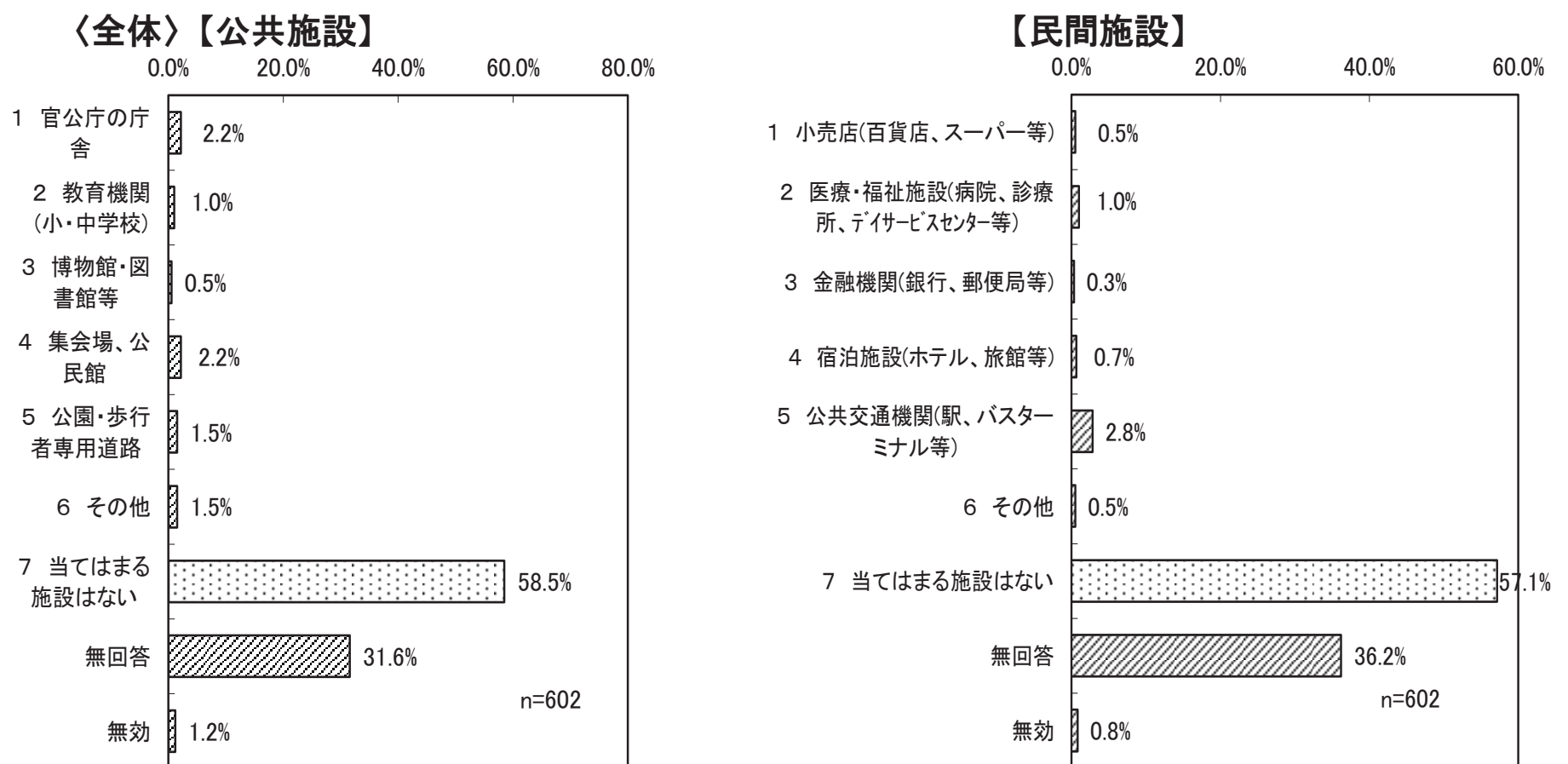
黒塗・白文字:1位、グレー塗・黒文字:2位

3) 表示類が読みにくいと思う施設

“当てはまる施設はない”と回答している人は、公共施設、民間施設ともに6割近い高い割合を占めています。

年齢別、市街化区域内外別いずれも公共施設、民間施設ともに“当てはまる施設はない”が半数以上を占め最も高い割合になっています。

Q4-3 案内板や標識等の表示類が読みにくいと思う施設はありますか。読みにくいと思う施設名をお書きください。また、そのうち最も読みにくいと思う施設について、公共施設。民間施設から1つずつ○をつけてください。なお、なお、「7 当てはまる施設がない」とお答えの方はQ4-4にお進みください。



〈年齢別〉

◆公共施設

上段：回答者数、下段：割合

	1 16歳～29歳	2 30歳～39歳	3 40歳～49歳	4 50歳～59歳	5 60歳～74歳
1 官公庁の庁舎	1 4.3%	2 2.5%	4 4.3%	1 0.7%	5 1.9%
2 教育機関(小・中学校)	0.0%	1 1.3%	2 2.2%	2 1.4%	1 0.4%
3 博物館・図書館等	0.0%	0.0%	2 2.2%	0.0%	1 0.4%
4 集会場、公民館	0.0%	3 3.8%	1 1.1%	4 2.7%	5 1.9%
5 公園・歩行者専用道路	1 4.3%	0.0%	1 1.1%	3 2.1%	4 1.6%
6 その他	0.0%	2 2.5%	0.0%	3 2.1%	4 1.6%
7 当てはまる施設はない	13 56.5%	57 71.3%	61 66.3%	91 62.3%	128 49.6%
無回答・無効	8 34.8%	15 18.8%	21 22.8%	42 28.8%	110 42.6%
合計	23 100%	80 100%	92 100%	146 100%	258 100%

黒塗・白文字：1位、グレー塗・黒文字：2位

◆民間施設

上段:回答者数、下段:割合

	1 16歳～29歳	2 30歳～39歳	3 40歳～49歳	4 50歳～59歳	5 60歳～74歳
1 小売店(百貨店、スーパー等)	1 0.0%	1 1.3%	1 1.1%	0 0.0%	1 0.4%
2 医療・福祉施設(病院、診療所、デイサービスセンター等)	0 0.0%	0 0.0%	1 1.1%	0 0.0%	5 1.9%
3 金融機関(銀行、郵便局等)	0 0.0%	1 1.3%	0 0.0%	1 0.7%	0 0.0%
4 宿泊施設(ホテル、旅館等)	0 0.0%	0 0.0%	2 2.2%	1 0.7%	1 0.4%
5 公共交通機関(駅、バスターミナル等)	3 13.0%	4 5.0%	2 2.2%	5 3.4%	3 1.2%
6 その他	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 0.7%	2 0.8%
7 当てはまる施設はない	15 65.2%	56 70.0%	62 67.4%	84 57.5%	125 48.4%
無回答・無効	5 21.7%	18 22.5%	24 26.1%	54 37.0%	121 46.9%
合計	23 100%	80 100%	92 100%	146 100%	258 100%

黒塗・白文字:1位、グレー塗・黒文字:2位

〈市街化区域内外別〉

◆公共施設

上段:回答者数、下段:割合

	市街化区域内	市街化区域外
1 官公庁の庁舎	7 1.9%	5 2.4%
2 教育機関(小・中学校等)	4 1.1%	2 0.9%
3 博物館・図書館等	3 0.8%	0 0.0%
4 集会場、公民館	7 1.9%	6 2.8%
5 公園・広場	9 2.4%	0 0.0%
6 その他	5 1.3%	4 1.9%
7 不便だと思う施設はない	230 61.3%	113 53.3%
無回答・無効	110 29.3%	82 38.7%
合計	375 100%	212 100%

黒塗・白文字:1位、グレー塗・黒文字:2位

◆民間施設

上段:回答者数、下段:割合

	市街化区域内	市街化区域外
1 小売店(百貨店、スーパー等)	1 0.3%	2 0.9%
2 医療・福祉施設(病院、診療所、デイサービスセンター等)	5 1.3%	1 0.5%
3 金融機関(銀行、郵便局等)	1 0.3%	0 0.0%
4 宿泊施設(ホテル、旅館等)	2 0.5%	2 0.9%
5 公共交通機関(駅、バスターミナル等)	13 3.5%	4 1.9%
6 その他	1 0.3%	2 0.9%
7 不便だと思う施設はない	226 60.3%	110 51.9%
無回答・無効	126 33.6%	91 42.9%
合計	375 100%	212 100%

黒塗・白文字:1位、グレー塗・黒文字:2位

案内板等が読みにくいと思う点

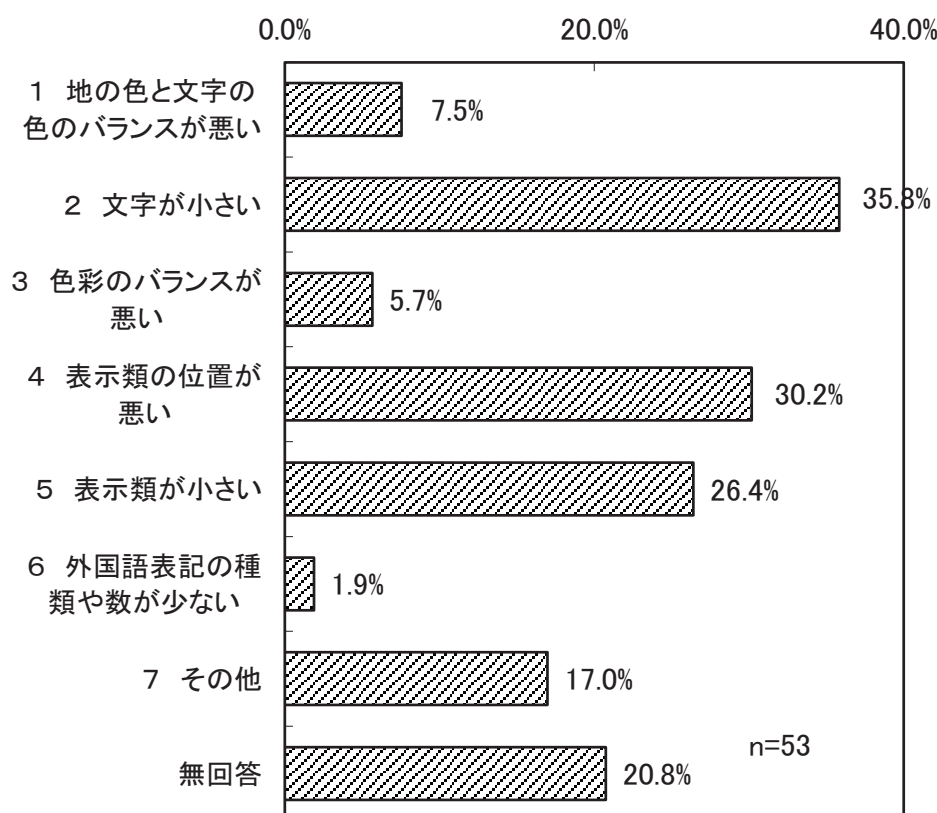
案内板が読みにくいと思う点は、公共施設では“文字が小さい”が35.8%で最も高く、次いで“表示類の位置が悪い”が30.2%、“表示類が小さい”が26.4%となっています。民間施設は、“表示類が小さい”が24.5%で最も高く、次いで“文字が小さい”“表示類の位置が悪い”が同率で22.6%となっています。

年齢別に見てみると、公共施設について16～29歳は“地の色と文字の色のバランスが悪い”、40歳代及び50歳代は“表示類の位置が悪い”、60～74歳は“文字が小さい”が最も高い割合になり年齢によってばらつきがみられます。また民間施設については、40歳代は“表示類の位置が悪い”、50歳代は“文字が小さい”、それ以外の年代は“表示類が小さい”が最も高い割合です。

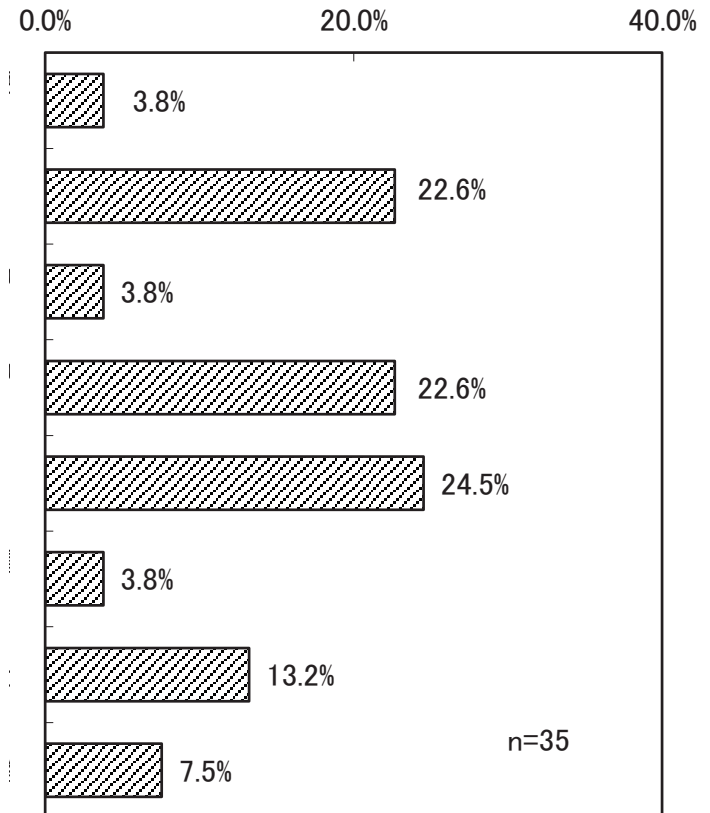
市街化区域内外別では、区域内外を問わず上位項目は同様な傾向になっています。

Q4-3 Q4-3で1～6とお答えの方、上で挙げた施設で案内板等が読みにくいと思う点は何ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

〈全体〉【公共施設】



【民間施設】



〈年齢別〉

◆公共施設

上段: 回答者数、下段: 割合

	1 16歳～29歳	2 30歳～39歳	3 40歳～49歳	4 50歳～59歳	5 60歳～74歳
1 地の色と文字の色のバランスが悪い	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 10.0%
2 文字が小さい	1 50.0%	1 12.5%	3 30.0%	3 23.1%	11 55.0%
3 色彩のバランスが悪い	0 0.0%	0 0.0%	1 10.0%	0 0.0%	2 10.0%
4 表示類の位置が悪い	1 50.0%	2 25.0%	7 70.0%	4 30.8%	2 10.0%
5 表示類が小さい	1 50.0%	1 12.5%	3 30.0%	4 30.8%	5 25.0%
6 外国語表記の種類や数が少ない	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 5.0%
7 その他	0 0.0%	3 37.5%	1 10.0%	3 23.1%	2 10.0%
無回答・無効	0 0.0%	3 37.5%	0 0.0%	3 23.1%	5 25.0%
回答者数	2	8	10	13	20

黒塗・白文字: 1位、グレー塗・黒文字: 2位

◆民間施設

上段:回答者数、下段:割合

	1 16歳～29歳	2 30歳～39歳	3 40歳～49歳	4 50歳～59歳	5 60歳～74歳
1 地の色と文字の色のバランスが悪い	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 8.3%
2 文字が小さい	1 33.3%	2 33.3%	0 0.0%	6 75.0%	3 25.0%
3 色彩のバランスが悪い	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 16.7%
4 表示類の位置が悪い	0 0.0%	4 66.7%	3 50.0%	2 25.0%	3 25.0%
5 表示類が小さい	2 66.7%	5 83.3%	1 16.7%	1 12.5%	4 33.3%
6 外国語表記の種類や数が少ない	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 8.3%
7 その他	0 0.0%	1 16.7%	3 50.0%	3 37.5%	0 0.0%
無回答・無効	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 33.3%
回答者数	3	6	6	8	12

黒塗・白文字:1位、グレー塗・黒文字:2位

〈市街化区域内外別〉

◆公共施設

上段:回答者数、下段:割合

	市街化区域内	市街化区域外
1 地の色と文字の色のバランスが悪い	4 11.4%	0 0.0%
2 文字が小さい	13 37.1%	6 35.3%
3 色彩のバランスが悪い	2 5.7%	1 5.9%
4 表示類の位置が悪い	11 31.4%	4 23.5%
5 表示類が小さい	10 28.6%	4 23.5%
6 外国語表記の種類や数が少ない	1 2.9%	0 0.0%
7 その他	4 11.4%	5 29.4%
無回答・無効	9 25.7%	2 11.8%
回答者数	35	17

黒塗・白文字:1位、グレー塗・黒文字:2位

◆民間施設

上段:回答者数、下段:割合

	市街化区域内	市街化区域外
1 地の色と文字の色のバランスが悪い	2 8.7%	0 0.0%
2 文字が小さい	8 34.8%	4 36.4%
3 色彩のバランスが悪い	1 4.3%	1 9.1%
4 表示類の位置が悪い	9 39.1%	3 27.3%
5 表示類が小さい	9 39.1%	3 27.3%
6 外国語表記の種類や数が少ない	2 8.7%	0 0.0%
7 その他	4 17.4%	3 27.3%
無回答・無効	3 13.0%	1 9.1%
回答者数	23	11

黒塗・白文字:1位、グレー塗・黒文字:2位

4) 都市公園や緑地で不便に思う点

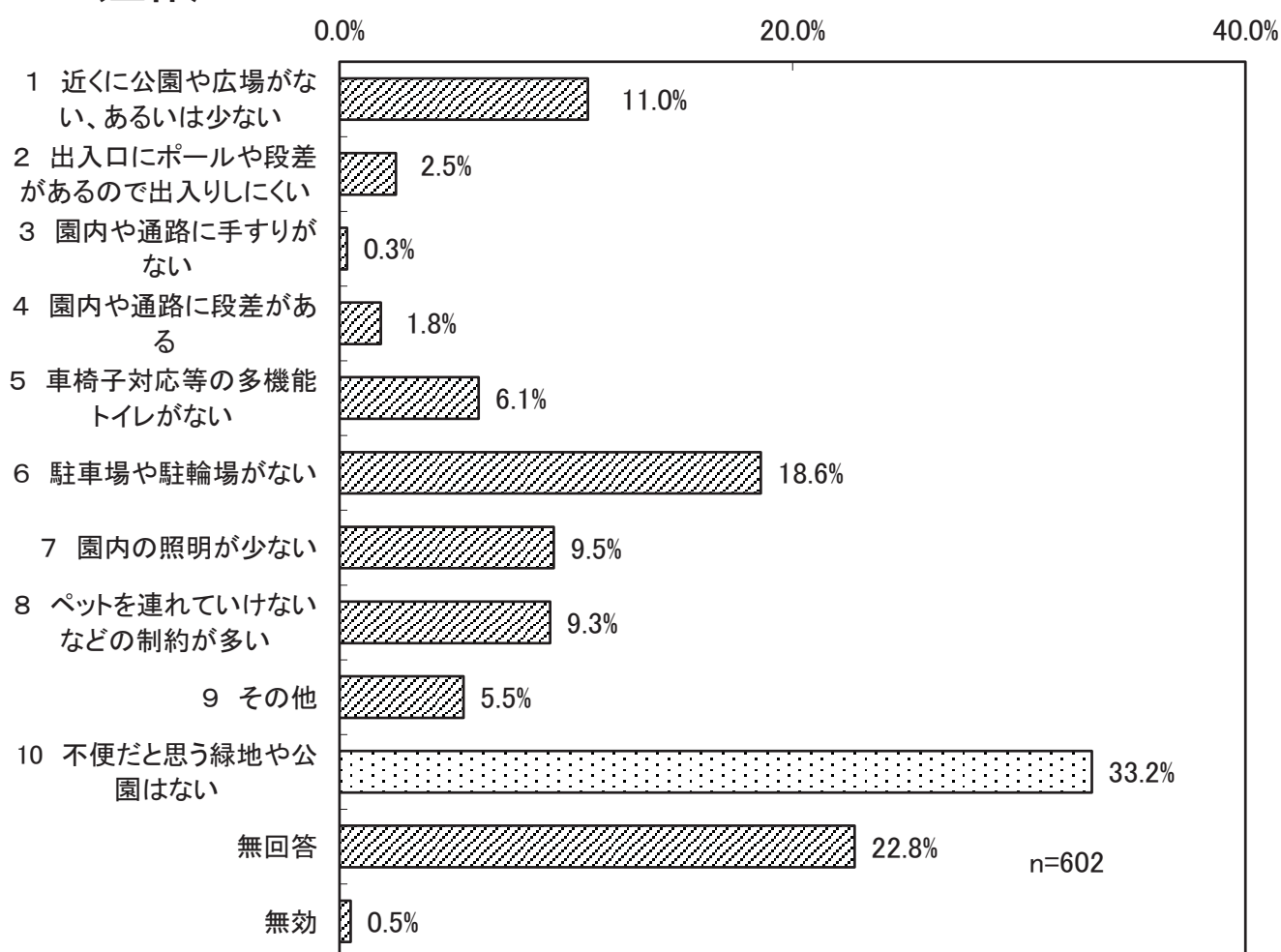
都市公園や緑地で不便に思う点は、“駐車場や駐輪場がない”が18.6%と最も高く、次いで“近くに公園や広場がない・少ない”が11.0%、“園内に照明が少ない”が9.5%となっています。一方、“不便だと思う緑地や公園はない”と回答している人は、33.2%となっています。

年齢別に見てみると、いずれの年代も“不便だと思う緑地や公園はない”が最も高い割合となっています。不便に思う点の中では、いずれの年代も“駐車場や駐輪場がない”が高い割合です。

市街化区域内外別にみると、区域内外を問わず“不便だと思う緑地や公園はない”が最も高い割合となっています。2番目に多い項目については、区域内は“駐車場や駐輪場がない”、区域外は“近くに公園や広場がない・少ない”、また3番目に多い項目については、区域内は“制約が多い”、区域外は“駐車場や駐輪場がない”となっています。

Q4-4 都市公園や緑地について不便に思う点はどこですか。あてはまるものすべてに○をつけ、具体的な施設名や場所があればお書きください。

〈全体〉



〈年齢別〉

上段：回答者数、下段：割合

	1 16歳～29歳	2 30歳～39歳	3 40歳～49歳	4 50歳～59歳	5 60歳～74歳
1 近くに公園や広場がない、 あるいは少ない	4 17.4%	10 12.5%	19 20.7%	11 7.5%	22 8.5%
2 出入口にポールや段差が あるので出入りにくい	1 4.3%	1 1.3%	3 3.3%	5 3.4%	5 1.9%
3 園内や通路に手すりがない	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 0.8%
4 園内や通路に段差がある	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 1.4%	9 3.5%
5 車椅子対応等の多機能ト イレがない	0 0.0%	4 5.0%	7 7.6%	8 5.5%	18 7.0%
6 駐車場や駐輪場がない	5 21.7%	25 31.3%	19 20.7%	25 17.1%	38 14.7%
7 園内の照明が少ない	5 21.7%	4 5.0%	12 13.0%	15 10.3%	21 8.1%
8 ペットを連れていけないな どの制約が多い	0 0.0%	5 6.3%	12 13.0%	21 14.4%	18 7.0%
9 その他	0 0.0%	9 11.3%	4 4.3%	7 4.8%	13 5.0%
10 不便だと思う緑地や公園 はない	9 39.1%	30 37.5%	27 29.3%	55 37.7%	77 29.8%
無回答・無効	3 13.0%	9 11.3%	11 12.0%	29 19.9%	87 33.7%
回答者数	23	80	92	146	258

黒塗・白文字：1位、グレー塗・黒文字：2位、ドット・黒文字：3位

〈市街化区域内外別〉

上段：回答者数、下段：割合

	市街化区域内	市街化区域外
1 近くに公園や広場がない、 あるいは少ない	31 8.3%	32 15.1%
2 出入口にポールや段差が あるので出入りにくい	13 3.5%	2 0.9%
3 園内や通路に手すりがない	2 0.5%	0 0.0%
4 園内や通路に段差がある	9 2.4%	1 0.5%
5 車椅子対応等の多機能ト イレがない	29 7.7%	6 2.8%
6 駐車場や駐輪場がない	83 22.1%	27 12.7%
7 園内の照明が少ない	42 11.2%	14 6.6%
8 ペットを連れていけないな どの制約が多い	46 12.3%	8 3.8%
9 その他	22 5.9%	9 4.2%
10 不便だと思う緑地や公園 はない	122 32.5%	75 35.4%
無回答・無効	73 19.5%	63 29.7%
回答者数	375	212

黒塗・白文字：1位、グレー塗・黒文字：2位、ドット・黒文字：3位

Q5 地域活動や市政への参加のしやすさについてお聞きします

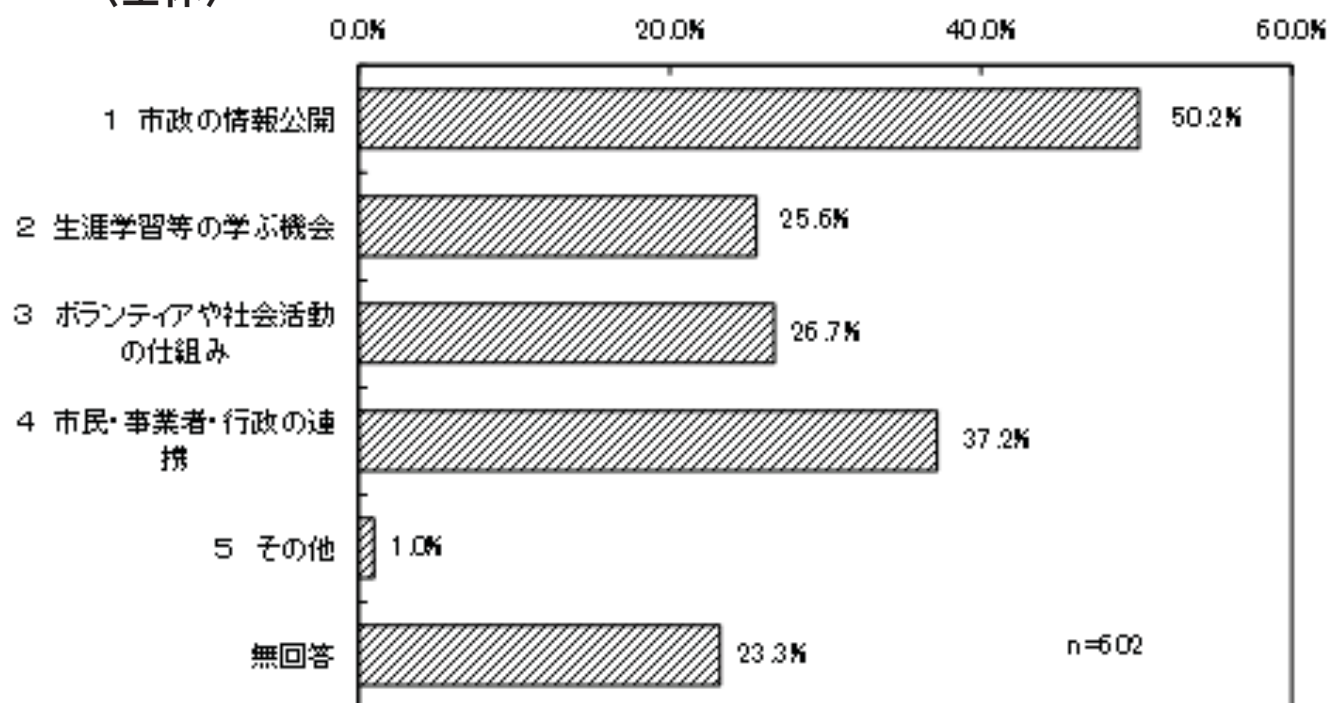
1) 「地域活動や市政への参加のしやすさ」という点で重要なこと

「地域活動や市政への参加のしやすさ」という点で重要なことは、“市政の情報公開”が50.2%と最も高い割合です。次いで、“市民・事業者・行政の連携”が37.2%、“ボランティア等の仕組み”が26.7%、“生涯学習等の学ぶ機会”が25.6%となっています。

年齢別及び市街化区域内外別にみても、いずれの年代も全体と同様の傾向を示しています。

Q5-1 「地域活動や市政への参加のしやすさ」という点で、重要だと思うものすべてに○をつけてください。

〈全体〉



〈年齢別〉

上段: 回答者数、下段: 割合

	1 16歳～29歳	2 30歳～39歳	3 40歳～49歳	4 50歳～59歳	5 60歳～74歳
1 市政の情報公開	13 56.5%	46 57.5%	47 51.1%	78 53.4%	115 44.6%
2 生涯学習等の学ぶ機会	3 13.0%	21 26.3%	19 20.7%	49 33.6%	61 23.6%
3 ボランティアや社会活動の仕組み	8 34.8%	19 23.8%	27 29.3%	46 31.5%	60 23.3%
4 市民・事業者・行政の連携	11 47.8%	42 52.5%	41 44.6%	59 40.4%	69 26.7%
5 その他	1 4.3%	1 1.3%	1 1.1%	1 0.7%	2 0.8%
無回答・無効	4 17.4%	6 7.5%	13 14.1%	20 13.7%	97 37.6%
回答者数	23	80	92	146	258

黒塗・白文字: 1位、グレー塗・黒文字: 2位、ドット・黒文字: 3位

〈市街化区域内外別〉

上段: 回答者数、下段: 割合

	市街化区域内	市街化区域外
1 市政の情報公開	199 53.1%	94 44.3%
2 生涯学習等の学ぶ機会	107 28.5%	43 20.3%
3 ボランティアや社会活動の仕組み	121 32.3%	37 17.5%
4 市民・事業者・行政の連携	144 38.4%	74 34.9%
5 その他	3 0.8%	3 1.4%
無回答・無効	71 18.9%	66 31.1%
回答者数	375	212

黒塗・白文字: 1位、グレー塗・黒文字: 2位、ドット・黒文字: 3位

2) 市政の情報公開や市民参加について十分でないと思う点

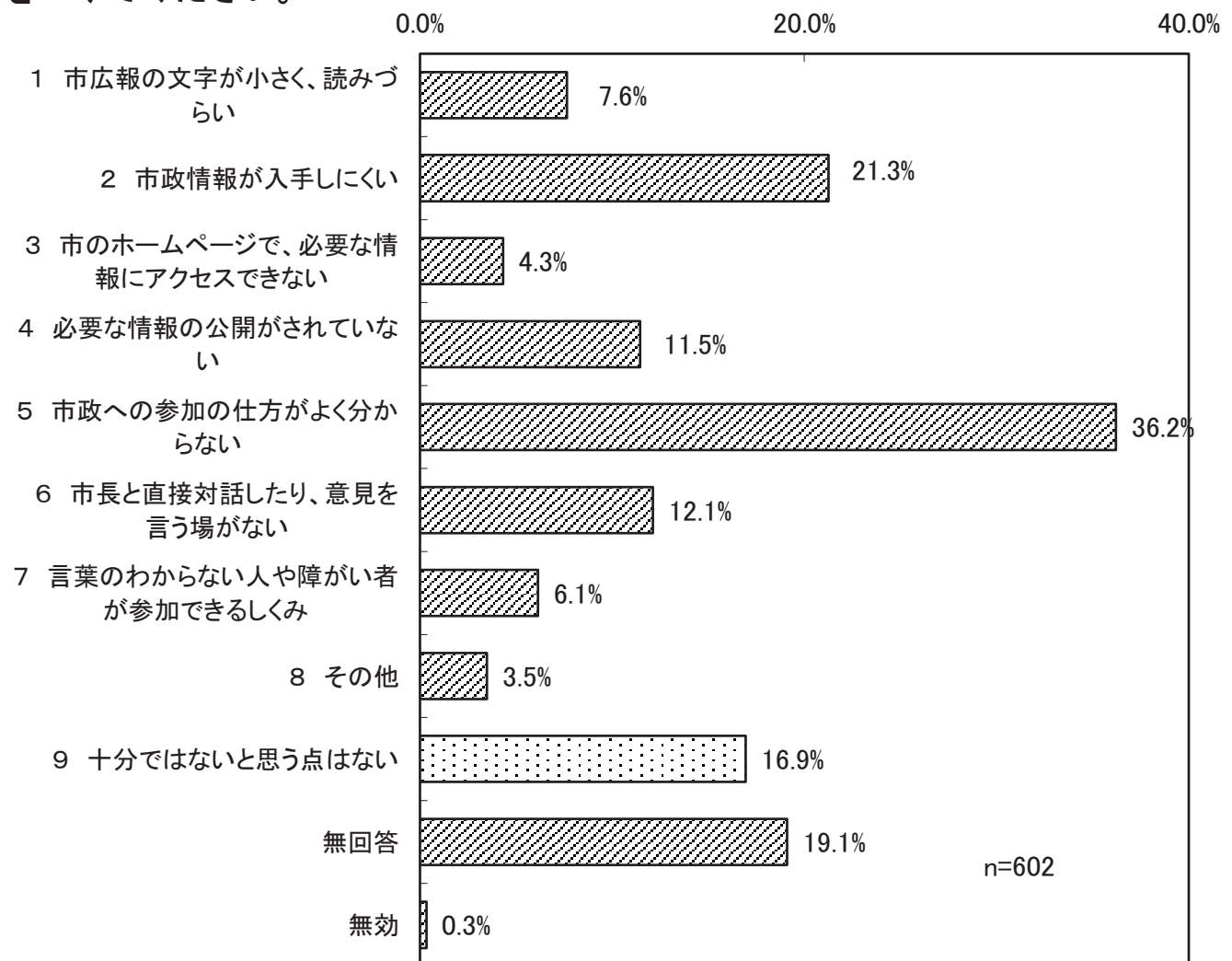
市政の情報公開や市民参加について十分でないと思う点は、“市政への参加の仕方がよく分からない”が36.2%で最も高い割合です。次いで、“市政情報が入手しにくい”が21.3%となっています。一方、“十分ではないと思う点はない”と回答した人は、16.9%となっています。

年齢別にしてみると、いずれの年代も全体と同様の傾向を示していますが、“必要な情報の公開がされていない”については、50歳代で他の年代よりも高い割合になっています。

市街化区域内外別にしてみると、区域内外を問わず“市政への参加の仕方がよく分からない”が最も高い割合となり、それ以下“市政情報が入手しにくい”、“十分ではないと思う点はない”が上位にあがっています。

Q5-2 市政の情報公開や市民参加について十分でないと思う点はどこですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

〈全体〉



〈年齢別〉

上段：回答者数、下段：割合

	1 16歳～29歳	2 30歳～39歳	3 40歳～49歳	4 50歳～59歳	5 60歳～74歳
1 市広報の文字が小さく、読みづらい	3 13.0%	2 2.5%	3 3.3%	17 11.6%	21 8.1%
2 市政情報が入手しにくい	8 34.8%	23 28.8%	16 17.4%	40 27.4%	40 15.5%
3 市のホームページで、必要な情報にアクセスできない	3 13.0%	5 6.3%	7 7.6%	3 2.1%	8 3.1%
4 必要な情報の公開がされていない	1 4.3%	6 7.5%	8 8.7%	24 16.4%	30 11.6%
5 市政への参加の仕方がよく分からない	12 52.2%	39 48.8%	37 40.2%	56 38.4%	73 28.3%
6 市長と直接対話したり、意見を言う場がない	7 30.4%	10 12.5%	9 9.8%	19 13.0%	28 10.9%
7 言葉のわからない人や障がい者が参加できるしくみ	4 17.4%	6 7.5%	7 7.6%	5 3.4%	15 5.8%
8 その他	2 8.7%	0 0.0%	5 5.4%	4 2.7%	10 3.9%
9 十分ではないと思う点はない	1 4.3%	17 21.3%	21 22.8%	24 16.4%	39 15.1%
無回答・無効	1 4.3%	2 2.5%	9 9.8%	23 15.8%	81 31.4%
回答者数	23	80	92	146	258

黒塗・白文字：1位、グレー塗・黒文字：2位、ドット・黒文字：3位

〈市街化区域内外別〉

上段：回答者数、下段：割合

	市街化区域内	市街化区域外
1 市広報の文字が小さく、読みづらい	22 5.9%	24 11.3%
2 市政情報が入手しにくい	85 22.7%	37 17.5%
3 市のホームページで、必要な情報にアクセスできない	21 5.6%	4 1.9%
4 必要な情報の公開がされていない	46 12.3%	22 10.4%
5 市政への参加の仕方がよく分からない	142 37.9%	70 33.0%
6 市長と直接対話したり、意見を言う場がない	43 11.5%	25 11.8%
7 言葉のわからない人や障がい者が参加できるしくみ	30 8.0%	7 3.3%
8 その他	16 4.3%	5 2.4%
9 十分ではないと思う点はない	62 16.5%	39 18.4%
無回答・無効	62 16.5%	50 23.6%
回答者数	375	212

黒塗・白文字：1位、グレー塗・黒文字：2位、ドット・黒文字：3位

3) 学ぶ機会について十分でないと思う点

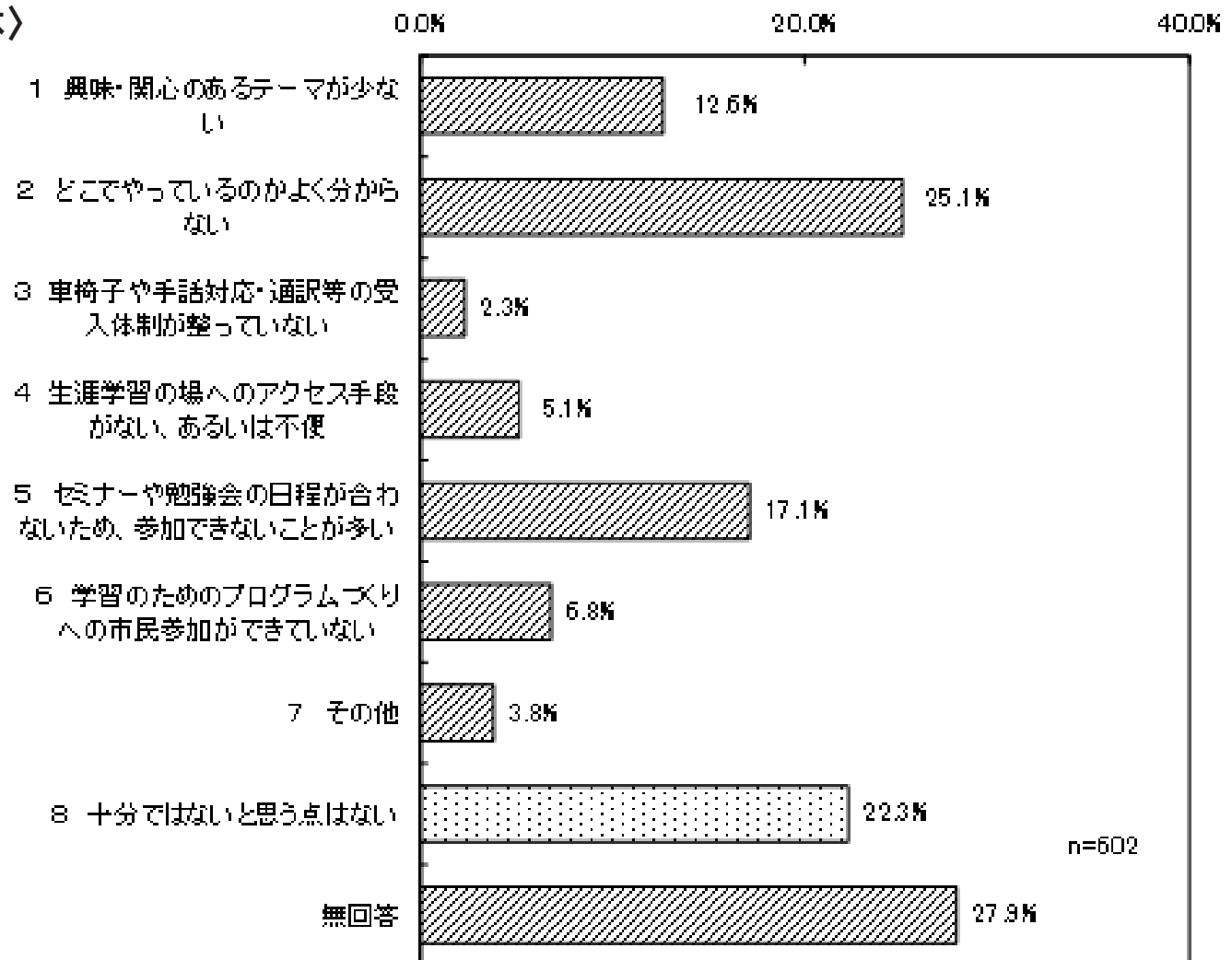
生涯学習等の学ぶ機会について十分でないと思う点は、“どこでやっているのかよく分からない”が25.1%と最も高い割合です。次いで“日程が合わず参加できないことが多い”が17.1%、“興味・関心のあるテーマが少ない”が12.6%となっています。一方、“十分ではないと思う点はない”と回答した人は、22.3%です。

年齢別に見てみると、60～74歳は“十分ではないと思う点はない”、それ以外の年代は“どこでやっているのかよく分からない”が最も高い割合です。そのうち40歳代については、“日程が合わず参加できないことが多い”も同率で最も高い割合となっています。また、16～29歳では“興味・関心のあるテーマが少ない”や“学習のためのプログラムづくりへの市民参加ができていない”についても高い割合です。

市街化区域内外別では、区域内は“どこでやっているのかよく分からない”、区域外は“十分ではないと思う点はない”が最も高い割合です。

Q5-3 あなたが生涯(しょうがい)学習等の学ぶ機会について十分でないと思う点はどこですか。
 あてはまるものすべてに○をつけ、具体的な希望等があれば、()の中にお書きください。

〈全体〉



〈年齢別〉

上段:回答者数、下段:割合

	1 16歳～29歳	2 30歳～39歳	3 40歳～49歳	4 50歳～59歳	5 60歳～74歳
1 興味・関心のあるテーマが少ない	5 21.7%	11 13.8%	11 12.0%	26 17.8%	23 8.9%
2 どこでやっているのかよく分からない	9 39.1%	25 31.3%	25 27.2%	40 27.4%	52 20.2%
3 車椅子や手話対応・通訳等の受入体制が整っていない	1 4.3%	3 3.8%	1 1.1%	4 2.7%	5 1.9%
4 生涯学習の場へのアクセス手段がない、あるいは不便	1 4.3%	4 5.0%	3 3.3%	8 5.5%	15 5.8%
5 セミナーや勉強会の日程が合わないため、参加できないことが多い	3 13.0%	22 27.5%	25 27.2%	28 19.2%	25 9.7%
6 学習のためのプログラムづくりへの市民参加ができていない	4 17.4%	8 10.0%	4 4.3%	12 8.2%	13 5.0%
7 その他	2 8.7%	2 2.5%	7 7.6%	6 4.1%	6 2.3%
8 十分ではないと思う点はない	5 21.7%	23 28.8%	17 18.5%	30 20.5%	57 22.1%
無回答・無効	3 13.0%	7 8.8%	17 18.5%	37 25.3%	103 39.9%
回答者数	23	80	92	146	258

黒塗・白文字:1位、グレー塗・黒文字:2位、ドット・黒文字:3位

〈市街化区域内外別〉

上段:回答者数、下段:割合

	市街化区域内	市街化区域外
1 興味・関心のあるテーマが少ない	48 12.8%	26 12.3%
2 どこでやっているのかよく分からない	104 27.7%	40 18.9%
3 車椅子や手話対応・通訳等の受入体制が整っていない	10 2.7%	4 1.9%
4 生涯学習の場へのアクセス手段がない、あるいは不便	19 5.1%	9 4.2%
5 セミナーや勉強会の日程が合わないため、参加できないことが多い	71 18.9%	30 14.2%
6 学習のためのプログラムづくりへの市民参加ができていない	28 7.5%	13 6.1%
7 その他	21 5.6%	2 0.9%
8 十分ではないと思う点はない	79 21.1%	54 25.5%
無回答・無効	92 24.5%	73 34.4%
回答者数	375	212

黒塗・白文字:1位、グレー塗・黒文字:2位、ドット・黒文字:3位

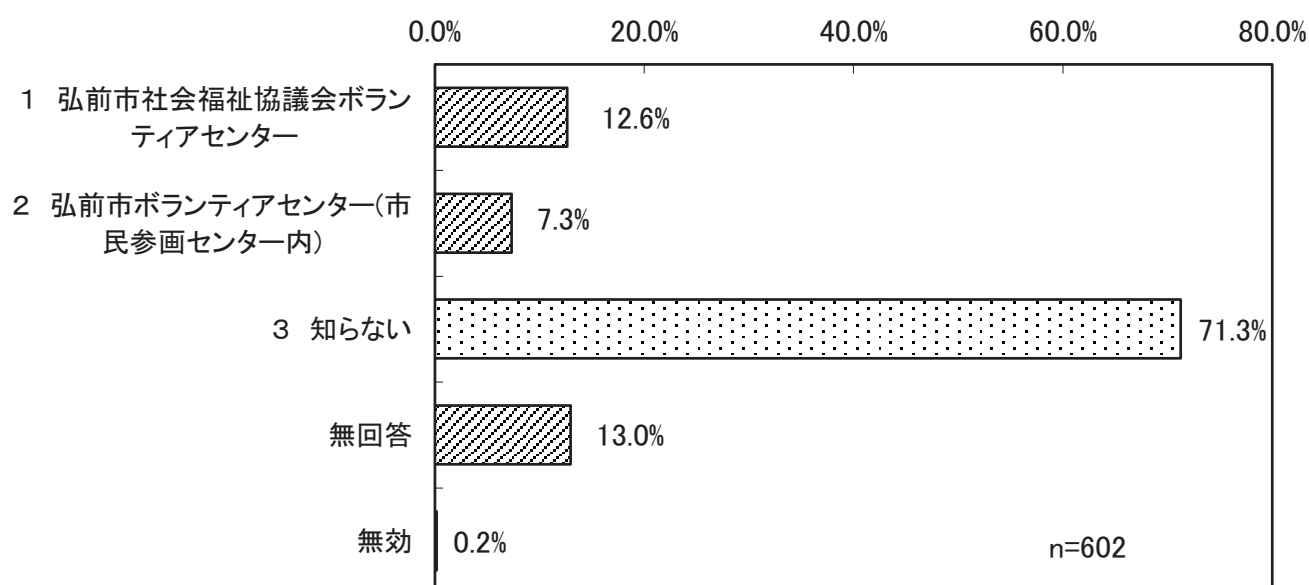
4) ボランティアについての相談窓口の認知

ボランティアの相談窓口を“知らない”と回答した人は、7割以上になります。

年齢別、市街化区域内外別では、いずれも“知らない”が最も高い割合です。相談窓口のうち、弘前市社会福祉協議会ボランティアセンターについては、年齢が上がるほど、また市街化区域内の方が認知されている割合が高くなっています。

Q5-4 ボランティアのことで相談する窓口を知っていますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

〈全体〉



〈年齢別〉

上段: 回答者数、下段: 割合

	1 16歳～29歳	2 30歳～39歳	3 40歳～49歳	4 50歳～59歳	5 60歳～74歳
1 弘前市社会福祉協議会ボランティアセンター	2 8.7%	6 7.5%	12 13.0%	19 13.0%	36 14.0%
2 弘前市ボランティアセンター(市民参画センター内)	2 8.7%	5 6.3%	3 3.3%	5 3.4%	28 10.9%
3 知らない	20 87.0%	70 87.5%	77 83.7%	112 76.7%	149 57.8%
無回答・無効	1 4.3%	2 2.5%	3 3.3%	13 8.9%	59 22.9%
回答者数	23	80	92	146	258

黒塗・白文字: 1位、グレー塗・黒文字: 2位

〈市街化区域内外別〉

上段: 回答者数、下段: 割合

	市街化区域内	市街化区域外
1 弘前市社会福祉協議会ボランティアセンター	51 13.6%	20 9.4%
2 弘前市ボランティアセンター(市民参画センター内)	31 8.3%	11 5.2%
3 知らない	271 72.3%	151 71.2%
無回答・無効	39 10.4%	38 17.9%
回答者数	375	212

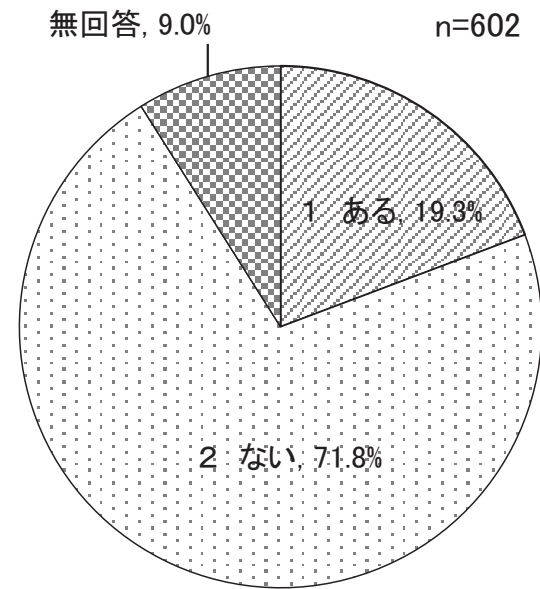
黒塗・白文字: 1位、グレー塗・黒文字: 2位

5) ボランティアや地域活動の有無

ボランティアや地域活動をしたことが“ある”人は2割にとどまっています。

年齢別に見てみると、16～29歳で“ある”と回答した人が3割を占めており、他の年代よりも高い割合となっています。市街化区域内外別では、区域外の方が若干高い割合です。

Q5-5 ボランティアや地域活動をしたことがありますか。どちらかに○をつけてください。「1 ある」とお答えの方はQ5-6へ、「2 ない」とお答えの方はQ5-9へお進みください。



〈全体〉

〈年齢別〉

上段: 回答者数、下段: 割合

	1 16歳～29歳	2 30歳～39歳	3 40歳～49歳	4 50歳～59歳	5 60歳～74歳
1 ある	7 30.4%	12 15.0%	14 15.2%	34 23.3%	48 18.6%
2 ない	16 69.6%	66 82.5%	76 82.6%	106 72.6%	166 64.3%
無回答・無効	0 0.0%	2 2.5%	2 2.2%	6 4.1%	44 17.1%
合計	23 100%	80 100%	92 100%	146 100%	258 100%

黒塗・白文字: 1位

〈市街化区域内外別〉

上段: 回答者数、下段: 割合

	市街化区域内	市街化区域外
1 ある	69 18.4%	45 21.2%
2 ない	279 74.4%	143 67.5%
無回答・無効	27 7.2%	24 11.3%
合計	375 100%	212 100%

黒塗・白文字: 1位

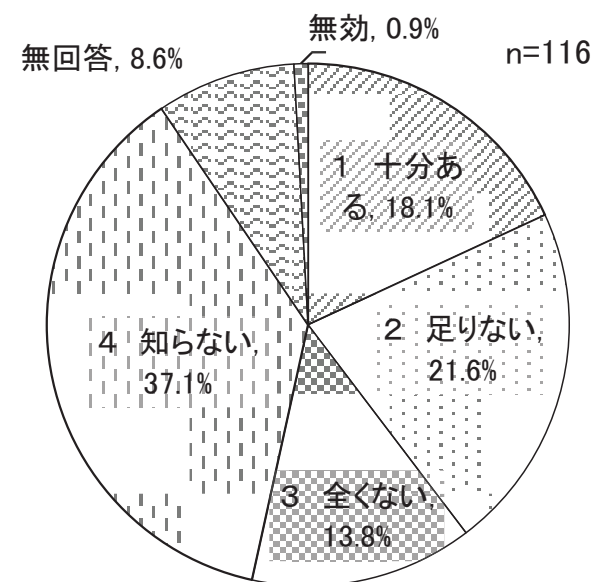
6) 活動費についての考え

活動費についての考えは、“知らない”が4割程度と最も高い割合です。その他、“足りない”“十分ある”が2割前後、“全くない”が1割強となっています。

年代別に見てみると、年代が上がるほど“知らない”と回答している割合が低くなっています。一方、“足りない”は、年代が上がるほどその割合が高くなっています。

市街化区域内外別では、区域内外を問わず同様の傾向がみられますが、個別に割合を比較してみると区域内の方が“十分ある”と回答した人の割合が高くなっています。

Q5-6 Q5-5で「ある」とお答えの方、活動費についてはどうお考えですか。あてはまるもの1つに○をつけてください。この次はQ5-8へお進みください。



〈全体〉

〈年齢別〉

上段: 回答者数、下段: 割合

	1 16歳～29歳	2 30歳～39歳	3 40歳～49歳	4 50歳～59歳	5 60歳～74歳
1 十分ある	2 28.6%	3 25.0%	1 7.1%	5 14.7%	10 20.8%
2 足りない	0 0.0%	0 0.0%	4 28.6%	8 23.5%	12 25.0%
3 全くない	0 0.0%	2 16.7%	2 14.3%	6 17.6%	6 12.5%
4 知らない	4 57.1%	7 58.3%	6 42.9%	13 38.2%	13 27.1%
無回答・無効	1 14.3%	0 0.0%	1 7.1%	2 5.9%	7 14.6%
合計	7 100%	12 100%	14 100%	34 100%	48 100%

黒塗・白文字: 1位、グレー塗・黒文字: 2位

〈市街化区域内外別〉

上段: 回答者数、下段: 割合

	市街化区域内	市街化区域外
1 十分ある	15 21.7%	5 11.1%
2 足りない	15 21.7%	10 22.2%
3 全くない	9 13.0%	6 13.3%
4 知らない	24 34.8%	19 42.2%
無回答・無効	6 8.7%	5 11.1%
合計	69 100%	45 100%

黒塗・白文字: 1位、グレー塗・黒文字: 2位

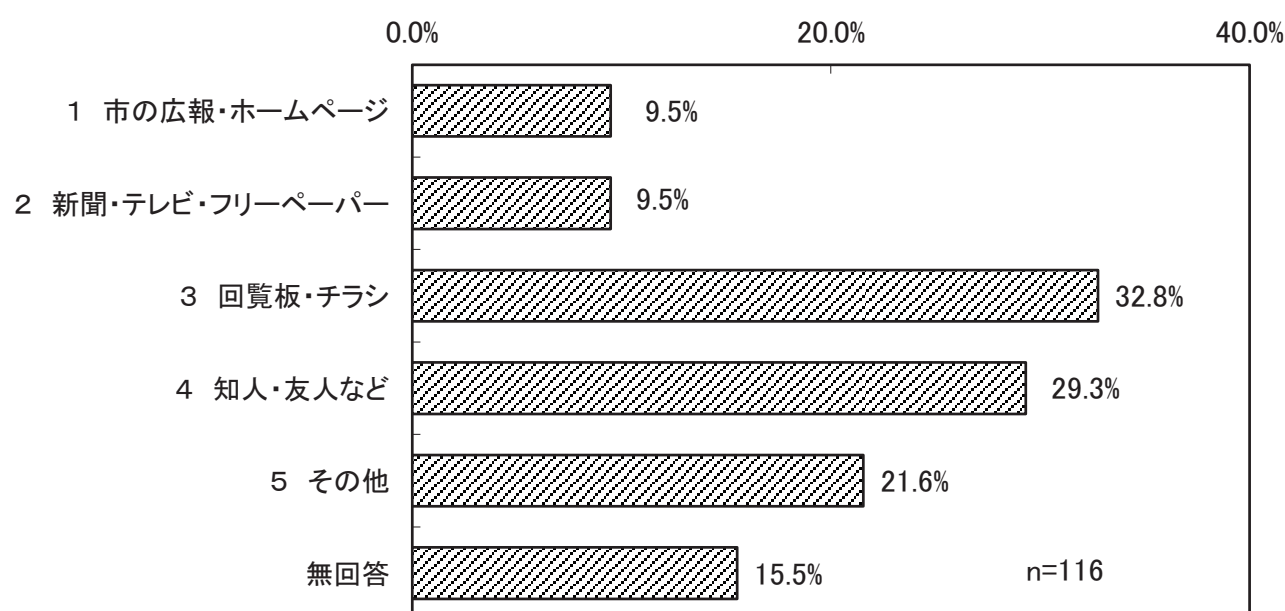
7) 活動についての情報先

活動についての情報収集先は、“回覧板・チラシ”が32.8%と最も高い割合です。次いで、“知人・友人など”が29.3%となっています。

年齢別に見てみると、16～29歳は“知人・友人など”、その他の年代は“回覧板・チラシ”等が、また、市街化区域内外別では、区域内は“知人・友人など”、区域外は“回覧板・チラシ”が最も高い割合です。

Q5-7 Q5-5で「ある」とお答えの方、活動についての情報収集先はどこですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

〈全体〉



〈年齢別〉

上段: 回答者数、下段: 割合

	1 16歳～29歳	2 30歳～39歳	3 40歳～49歳	4 50歳～59歳	5 60歳～74歳
1 市の広報・ホームページ	1 14.3%	1 8.3%	0 0.0%	3 8.8%	6 12.5%
2 新聞・テレビ・フリーペーパー	1 14.3%	4 33.3%	3 21.4%	1 2.9%	2 4.2%
3 回覧板・チラシ	0 0.0%	4 33.3%	5 35.7%	12 35.3%	17 35.4%
4 知人・友人など	5 71.4%	3 25.0%	4 28.6%	7 20.6%	15 31.3%
5 その他	2 28.6%	2 16.7%	4 28.6%	8 23.5%	8 16.7%
無回答・無効	1 14.3%	1 8.3%	0 0.0%	7 20.6%	9 18.8%
回答者数	7	12	14	34	48

黒塗・白文字: 1位、グレー塗・黒文字: 2位

〈市街化区域内外別〉

上段: 回答者数、下段: 割合

	市街化区域内	市街化区域外
1 市の広報・ホームページ	7 10.1%	4 8.9%
2 新聞・テレビ・フリーペーパー	6 8.7%	5 11.1%
3 回覧板・チラシ	22 31.9%	15 33.3%
4 知人・友人など	25 36.2%	8 17.8%
5 その他	15 21.7%	10 22.2%
無回答・無効	8 11.6%	10 22.2%
回答者数	69	45

黒塗・白文字: 1位、グレー塗・黒文字: 2位

8) 活動形態

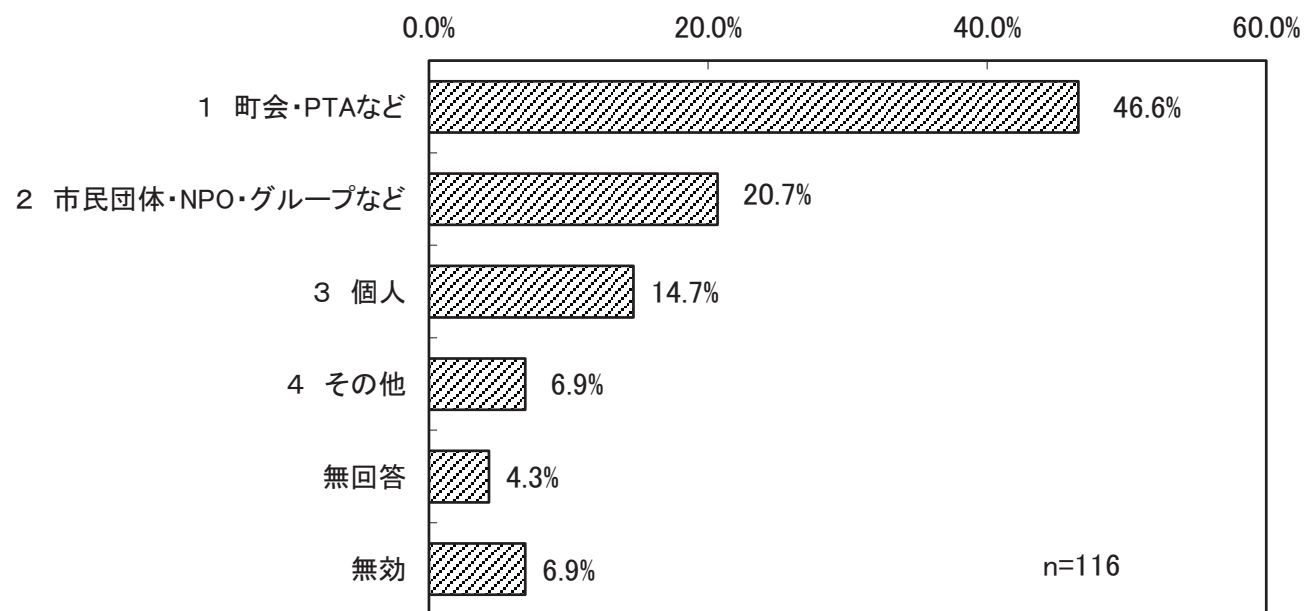
活動形態は、半数近くの方が“町会・PTAなど”となっています。

年齢別に見てみると、16～29歳及び30歳代は“市民団体・NPO・グループなど”、40歳代以上は“町会・PTAなど”が最も高い割合です。

市街化区域内外別では、区域内外を問わず“町会・PTAなど”が最も高く、その割合は区域外の方が高くなっています。また、“市民団体・NPO・グループなど”については、区域内の方が高い割合を占めています。

Q5-8 Q5-5で「ある」とお答えの方、活動形態は次のどれですか。あてはまるもの一つに○をつけてください。なお、次はQ5-10へお進みください。

〈全体〉



〈年齢別〉

上段: 回答者数、下段: 割合

	1 16歳～29歳	2 30歳～39歳	3 40歳～49歳	4 50歳～59歳	5 60歳～74歳
1 町会・PTAなど	2 28.6%	2 16.7%	5 35.7%	22 64.7%	22 45.8%
2 市民団体・NPO・グループなど	3 42.9%	4 33.3%	3 21.4%	3 8.8%	11 22.9%
3 個人	2 28.6%	3 25.0%	1 7.1%	5 14.7%	6 12.5%
4 その他	0 0.0%	1 8.3%	3 21.4%	2 5.9%	2 4.2%
無回答・無効	0 0.0%	2 16.7%	2 14.3%	2 5.9%	7 14.6%
合計	7 100%	12 100%	14 100%	34 100%	48 100%

黒塗・白文字: 1位、グレー塗・黒文字: 2位

〈市街化区域内外別〉

上段: 回答者数、下段: 割合

	市街化区域内	市街化区域外
1 町会・PTAなど	31 44.9%	23 51.1%
2 市民団体・NPO・グループなど	17 24.6%	6 13.3%
3 個人	10 14.5%	7 15.6%
4 その他	5 7.2%	3 6.7%
無回答・無効	6 8.7%	6 13.3%
合計	69 100%	45 100%

黒塗・白文字: 1位、グレー塗・黒文字: 2位

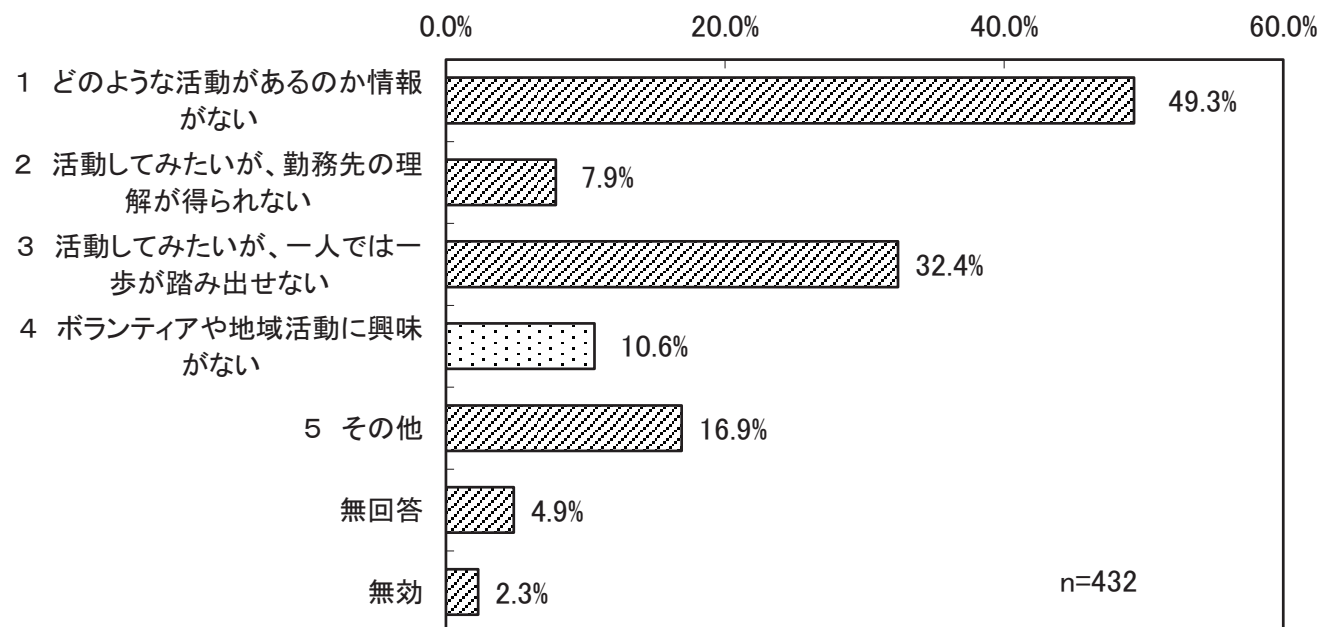
9) 活動経験がない理由

活動経験がない理由は、“どのような活動があるのか情報がない”が49.3%と最も高くなっています。次いで“活動してみたいが、一人では一歩が踏み出せない”が32.4%となり、“活動してみたいが、勤務先の理解が得られない(7.9%)”と合わせると、活動経験はないものの活動意向のある人が4割を占めています。

年齢別、市街化区域内外別に見てみると、いずれも全体と同様の傾向を示しています。

Q5-9 Q5-5で「ない」とお答えの方、活動したことがないのはなぜですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

〈全体〉



〈年齢別〉

上段: 回答者数、下段: 割合

	1 16歳～29歳	2 30歳～39歳	3 40歳～49歳	4 50歳～59歳	5 60歳～74歳
1 どのような活動があるのか情報がない	9 56.3%	38 57.6%	40 52.6%	58 54.7%	67 40.4%
2 活動してみたいが、勤務先の理解が得られない	0 0.0%	8 12.1%	11 14.5%	12 11.3%	3 1.8%
3 活動してみたいが、一人では一歩が踏み出せない	6 37.5%	14 21.2%	25 32.9%	30 28.3%	64 38.6%
4 ボランティアや地域活動に興味がない	2 12.5%	7 10.6%	8 10.5%	12 11.3%	17 10.2%
5 その他	0 0.0%	13 19.7%	12 15.8%	15 14.2%	32 19.3%
無回答・無効	2 12.5%	3 4.5%	4 5.3%	6 5.7%	16 9.6%
回答者数	16	66	76	106	166

黒塗・白文字: 1位、グレー塗・黒文字: 2位

〈市街化区域内外別〉

上段: 回答者数、下段: 割合

	市街化区域内	市街化区域外
1 どのような活動があるのか情報がない	141 50.5%	64 44.8%
2 活動してみたいが、勤務先の理解が得られない	22 7.9%	11 7.7%
3 活動してみたいが、一人では一歩が踏み出せない	97 34.8%	40 28.0%
4 ボランティアや地域活動に興味がない	28 10.0%	18 12.6%
5 その他	48 17.2%	24 16.8%
無回答・無効	17 6.1%	14 9.8%
回答者数	279	143

黒塗・白文字: 1位、グレー塗・黒文字: 2位

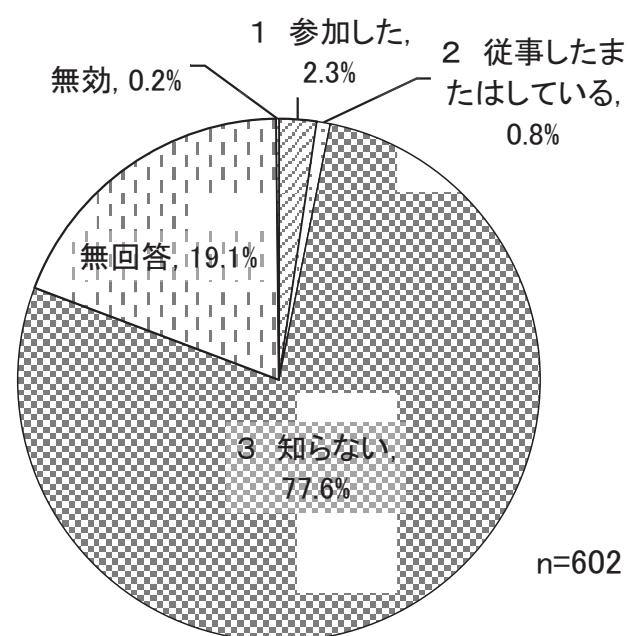
10) 市民・事業者・行政が連携した事業の認知

市民・事業者・行政が連携した事業については、“知らない”と回答した人が、8割近くを占めています。

年齢別に見てみると、60～74歳を除くすべての年代で8割以上の人が“知らない”と回答しています。

市街化区域内外別では、区域内の方が“知らない”と回答した人の割合が高くなっています。

Q5-10 市民・事業者(企業・大学など)・行政が連携した事業を知っていますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。「1 参加した」「2 従事したまたはしている」とお答えの方はQ5-11へ、「3 知らない」とお答えの方はQ5-12へお進みください。



〈全体〉

〈年齢別〉

上段: 回答者数、下段: 割合

	1 16歳～29歳	2 30歳～39歳	3 40歳～49歳	4 50歳～59歳	5 60歳～74歳
1 参加した	0	1	3	4	5
	0.0%	1.3%	3.3%	2.7%	1.9%
2 従事したまたはしている	1	0	1	1	2
	4.3%	0.0%	1.1%	0.7%	0.8%
3 知らない	21	73	81	122	169
	91.3%	91.3%	88.0%	83.6%	65.5%
無回答・無効	1	6	7	19	82
	4.3%	7.5%	7.6%	13.0%	31.8%
合計	23	80	92	146	258
	100%	100%	100%	100%	100%

黒塗・白文字: 1位

〈市街化区域内外別〉

上段: 回答者数、下段: 割合

	市街化区域内	市街化区域外
1 参加した	9	4
	2.4%	1.9%
2 従事したまたはしている	4	1
	1.1%	0.5%
3 知らない	302	156
	80.5%	73.6%
無回答・無効	60	51
	16.0%	24.1%
合計	375	212
	100%	100%

黒塗・白文字: 1位

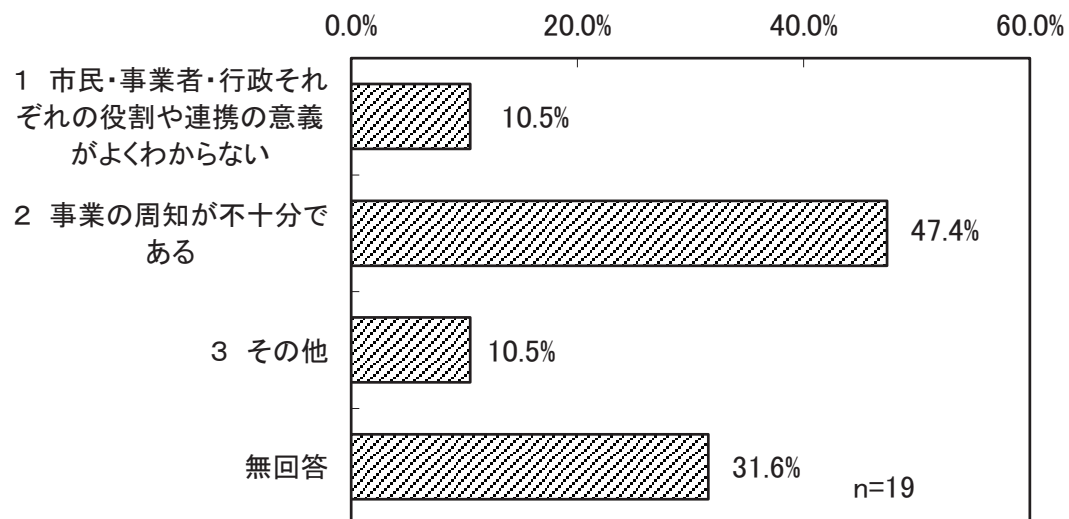
11) 参加または従事して感じたこと

市民・事業者・行政が連携した事業に参加または従事して感じたことは、半数近くの方が“事業の周知が不十分である”と回答しています。

年齢別、市街化区域内外別に見ても、回答をしたほとんどの人が“事業の周知が不十分である”としています。

Q5-11 Q5-10で「1 参加した」「2 従事したまたはしている」とお答えの方、参加または従事して感じたことはありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

〈全体〉



〈年齢別〉

上段：回答者数、下段：割合

	1 16歳～29歳	2 30歳～39歳	3 40歳～49歳	4 50歳～59歳	5 60歳～74歳
1 市民・事業者・行政それぞれの役割や連携の意義がよくわからない	0	0	1	1	0
	0.0%	0.0%	25.0%	20.0%	0.0%
2 事業の周知が不十分である	1	0	2	2	4
	100.0%	0.0%	50.0%	40.0%	57.1%
3 その他	0	0	0	0	2
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	28.6%
無回答・無効	0	1	1	2	1
	0.0%	100.0%	25.0%	40.0%	14.3%
回答者数	1	1	4	5	7

黒塗・白文字：1位

〈市街化区域内外別〉

上段：回答者数、下段：割合

	市街化区域内	市街化区域外
1 市民・事業者・行政それぞれの役割や連携の	2	0
	15.4%	0.0%
2 事業の周知が不十分である	5	3
	38.5%	60.0%
3 その他	2	0
	15.4%	0.0%
無回答・無効	4	2
	30.8%	40.0%
回答者数	13	5

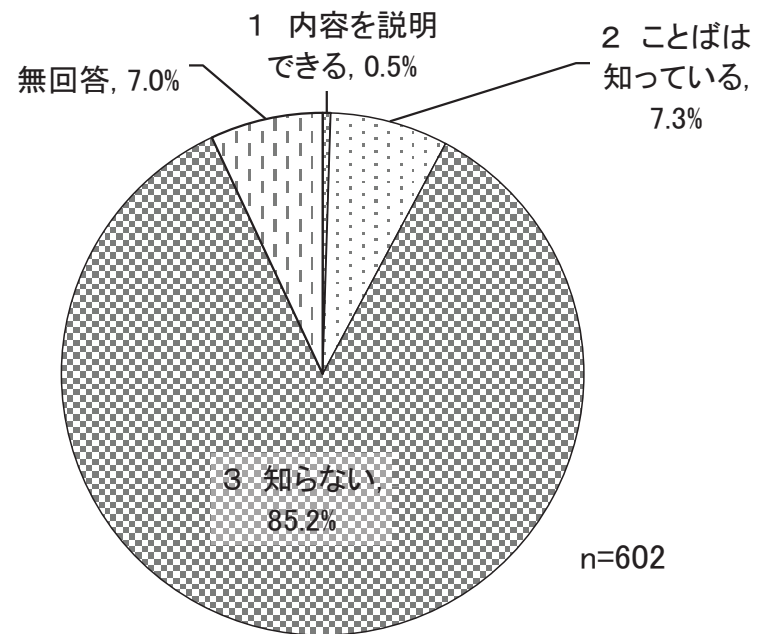
黒塗・白文字：1位

12) 「新しい公共」の認知

「新しい公共」については、“知らない”と回答している人が9割近くを占めています。

“知らない”と回答した人は、年齢別では16～29歳及び60～74歳が8割、そのほかの年代は9割を占めています。また、市街化区域内外別では、区域内外を問わず8割以上となっています。

Q5-12 「新しい公共」について知っていますか。
あてはまるもの一つに○をつけてください。



〈全体〉

〈年齢別〉

上段: 回答者数、下段: 割合

	1 16歳～29歳	2 30歳～39歳	3 40歳～49歳	4 50歳～59歳	5 60歳～74歳
1 内容を説明できる	1 4.3%	1 1.3%	0.0%	0.0%	1 0.4%
2 ことばは知っている	3 13.0%	2 2.5%	5 5.4%	10 6.8%	23 8.9%
3 知らない	19 82.6%	74 92.5%	84 91.3%	132 90.4%	202 78.3%
無回答・無効	0.0%	3 3.8%	3 3.3%	4 2.7%	32 12.4%
合計	23 100%	80 100%	92 100%	146 100%	258 100%

黒塗・白文字: 1位

〈市街化区域内外別〉

上段: 回答者数、下段: 割合

	市街化区域内	市街化区域外
1 内容を説明できる	3 0.8%	0.0%
2 ことばは知っている	29 7.7%	14 6.6%
3 知らない	323 86.1%	178 84.0%
無回答・無効	20 5.3%	20 9.4%
合計	375 100%	212 100%

黒塗・白文字: 1位

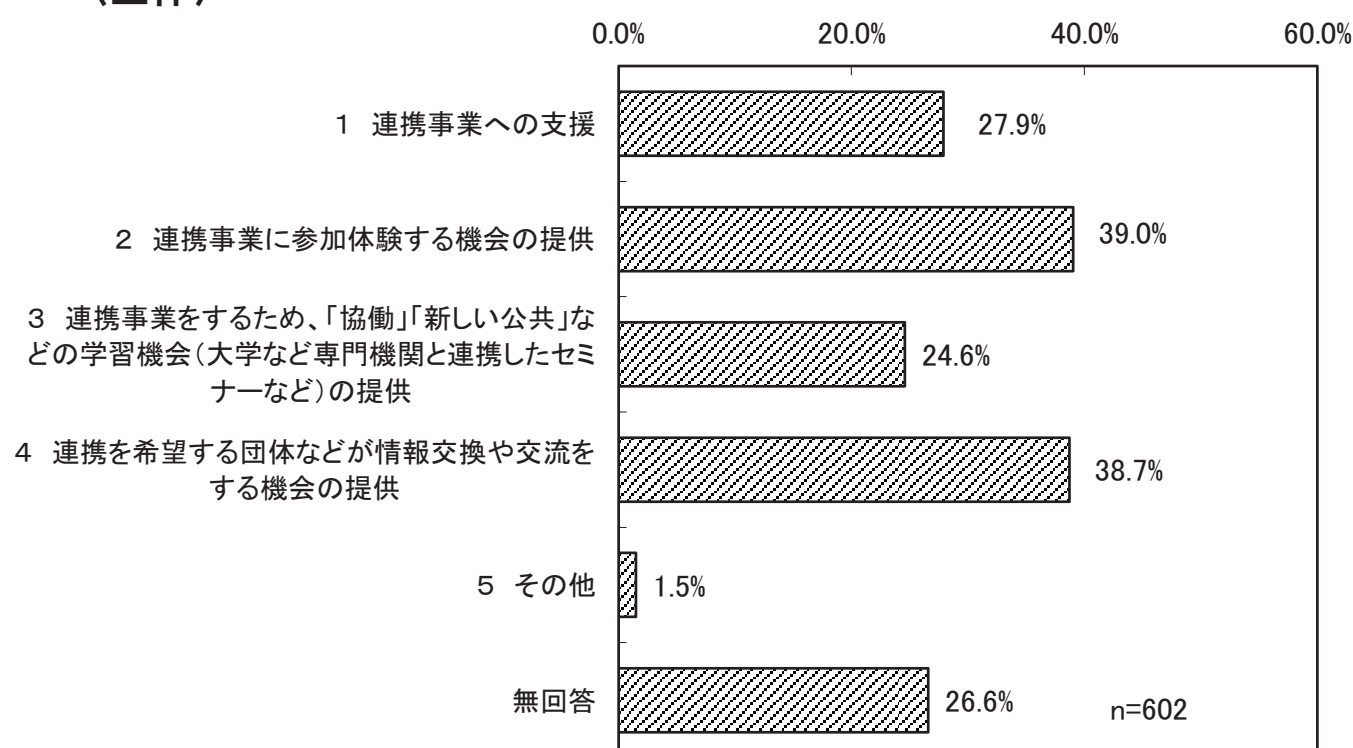
13) 市民・事業者・行政が連携を進めるために必要なこと

市民・事業者・行政が連携を進めるために必要なことは、“連携事業に参加体験する機会の提供”が39.0%と最も高く、僅差で“情報交換や交流をする機会の提供”が38.7%と続いています。その他、“連携事業への支援”が27.9%、“学習機会の提供”が24.6%となっています。

年齢別、市街化区域内外別いずれも“連携事業に参加体験する機会の提供”、“情報交換や交流をする機会の提供”が順位の前後はあるものの上位にあがっています。

Q5-13 市民・事業者(企業・大学など)・行政が連携を進めるために何が重要だと思いますか。
あてはまるものすべてに○をつけてください。

〈全体〉



〈年齢別〉

上段:回答者数、下段:割合

	1 16歳～29歳	2 30歳～39歳	3 40歳～49歳	4 50歳～59歳	5 60歳～74歳
1 連携事業への支援	6 26.1%	27 33.8%	22 23.9%	43 29.5%	68 26.4%
2 連携事業に参加体験する機会の提供	13 56.5%	38 47.5%	38 41.3%	59 40.4%	86 33.3%
3 連携事業をするため、「協働」「新しい公共」などの学習機会(大学など専門機関と連携したセミナーなど)の提供	7 30.4%	16 20.0%	28 30.4%	33 22.6%	63 24.4%
4 連携を希望する団体などが情報交換や交流をする機会の提供	12 52.2%	40 50.0%	31 33.7%	62 42.5%	85 32.9%
5 その他	2 8.7%	4 5.0%	2 2.2%	1 0.7%	0 0.0%
無回答・無効	3 13.0%	8 10.0%	18 19.6%	33 22.6%	98 38.0%
回答者数	23	80	92	146	258

黒塗・白文字:1位、グレー塗・黒文字:2位

〈市街化区域内外別〉

上段:回答者数、下段:割合

	市街化区域内	市街化区域外
1 連携事業への支援	113 30.1%	51 24.1%
2 連携事業に参加体験する機会の提供	153 40.8%	75 35.4%
3 連携事業をするため、「協働」「新しい公共」などの学習機会(大学など専門機関と連携したセミナーなど)の提供	106 28.3%	39 18.4%
4 連携を希望する団体などが情報交換や交流をする機会の提供	150 40.0%	80 37.7%
5 その他	7 1.9%	2 0.9%
無回答・無効	90 24.0%	67 31.6%
回答者数	375	212

黒塗・白文字:1位、グレー塗・黒文字:2位

Q6 あなたが思うやさしい街「ひろさき」とはどんな街ですか。ご自由にお書きください。

視点	主旨	回答数
安全・安心	安全安心	29
	思いやり	27
	弱者への配慮	16
	住みやすい	11
利便性	道路・駐車場整備	10
	公共交通	10
	除排雪	8
快適性	自然・緑	9
	施設要望	7
協働・参画	人のつながり・交流・コミュニケーション	22
	助け合い・支えあい	7
	市民参画	7
	情報	6
その他	町の印象・感想	32
	観光、もてなし	24
	その他まちづくり方向性	19
	子育て・子ども	17
	医療・福祉	15
	伝統、歴史、城下町	14
	行政	13
	仕事	9
	感想	9
	商店街、商店	8
	要望	5
	アンケート	4
	活気、楽しい	4
	農業	2
	健康	2
	総回答数	346

【安全・安心】

◆安全安心

年齢	性別	地区	回答
16～29歳	男	弘前	子どもが安心して過ごせる町(防犯灯や夜の見回りの強化)
16～29歳	男	弘前	交通機関がしっかりし、治安の良い街。
16～29歳	女	弘前	災害等が少ない町。
30歳代	女	弘前	子どもが安心して登下校できる街づくりをして欲しい。通学路に歩道を設けるなど、下校時刻の警察や先生の見回りなど、子どもが1人で歩いて帰っても安全な街づくりをどうかお願いします。スクールバスで完全送り迎えにするなど、事件が起きてからでは遅いのです。
30歳代	女	弘前	子供やお年寄り、障害者が安全かつのびのびと生活できるような街。今生活をしている所は、交通量が多い割に、歩道が狭くあぶない。一本道を入ると街灯も暗く、不審者も出ているので不安です。
30歳代	女	弘前	子どもやお年寄り、ハンディーキャップがある方でも安心して暮らせる街になるといいなと思います。
40歳代	男	弘前	安心・交通安全、住民が楽しく生きていける街。
40歳代	男	弘前	交通マナーの良い街、子供が安全に暮らせる街
40歳代	男	弘前	災害時に不安や不便を感じない街
40歳代	男	弘前	・子供やお年寄りが安心して暮らせる町 ・交通事故がなく、子供が安心して道を歩くことができる街
40歳代	男	岩木	事件、事故等が少なく、暴力団等のいない街
40歳代	女	弘前	弘前市は留学生や転勤等で異動して来る人も多いため、地元の人には知っているつもりでも分かりづらい事も多々あります。バスの行先にしても〇〇行きは本人の行きたい方向のバスが分からなかったり、雪で足元が危なかったり。自家用車に頼らず、公共の乗り物に協力してくれる方向へ導いてあげたらいいのと思うことがあります。学生の多い街なのに、自転車の乗り方も道路も、もう少し考えてあげたら暮らしやすい街に安全な街になると思う。
40歳代	女	弘前	騒音や犯罪がなく、四季を感じられる静かで穏やかな日々が過ごせる街が理想です。
40歳代	女	弘前	健常者も障害者も、すべての人が安心して暮らせる住み良い町になれば一番いいと思うが、具体的に何をどうすればよいか、意見をのべることができません。
50歳代	男	弘前	定期的な防災訓練実施の充実化した街
50歳代	男	弘前	市民が安全に安心して暮らせる街
50歳代	男	弘前	安心して暮らせる街
50歳代	女	弘前	弱者が安心して生活できる町。
60～74歳	男	弘前	公害のない街、安全・安心して暮らせる街
60～74歳	男	弘前	10月より全国的に自動車乗りのマナーについて指導しているみたいですが、弘前においても自転車のマナーはまだまだ守られていないと思います。住みよい街づくりとは、自転車に限らず、交通ルールの徹底こそが県外からのお客様を「あっ」と言わせることが出来ると思っております。
60～74歳	男	弘前	人にやさしく安心して暮らせる街
60～74歳	男	相馬	貯水池全般(ダム等、堤、川)が壊れても街が(水田、リンゴ園も)、災害の受けない場所である事◎現在はややよい
60～74歳	男	岩木	災害・犯罪等がなく市民の市政に寄与できる意見が受入される行政。
60～74歳	女	弘前	事件や事故がなく安心して生活できることが何よりで、人の触れ合いも親切に思う。
60～74歳	女	弘前	子供が安心して遊べる街、歩道のある道路、災害に強い街
60～74歳	女	弘前	一部の人自己満足におしつけるのではなく、高齢者・障害者・子どもたちが安心して暮らせる町にしてほしい。何が必要か不必要か、身近に出来ることから進めて欲しいと思います。
60～74歳	女	弘前	防犯が最も重要ですから一人一人が気を配る街。“自分の街だ”という意識が必要です。警察にお任せ的な気持ちを持たないことです。
60～74歳	女	弘前	P3のQ2-1に尽きます。
60～74歳	女	弘前	子どもも大人も安心して毎日に明るく過ごせる街

◆思いやり

年齢	性別	地区	回答
16～29歳	男	弘前	お年寄りが雪かきをしているのを見て手伝うか「ありがとうございます。」という町。
16～29歳	女	弘前	ソーシャルインクルージョンが理解され、思いやりのある街。(ノーマライゼーションではない。)ハンディキャップをもつ人の視点、意見が活かされ、市政に届く。障害があっても、地域があたたかく見守り、自分らしく生きていける町。
30歳代	女	弘前	人と人だけではなく、町の思いやり、私たちひとりひとりが接していくことのできる街。
30歳代	女	弘前	子ども・高齢者を思う街。そして働く者を応援してくれる街。市民のためを思う街。
40歳代	女	弘前	自分達だけ良ければいいというのではなく、お互いに少しでも気遣って暮らせる街
40歳代	女	弘前	一人一人がマナーやモラルを考え、過ごせる思いやりのある街
50歳代	男	弘前	お年寄りを大切にする。子ども達を大切にする。
50歳代	男	相馬	物事に対して頑張る気持ち、一歩前進する努力の積み重ねを大切にし、一人一人が思いやりの心でいる事
50歳代	女	弘前	謙虚さと思いやりの心を持った街
50歳代	女	弘前	みんなが優しくなれる事!(気働き、思いやり、気持ちの余裕など)
50歳代	女	弘前	もっと弘前公園と岩木山を全国にアピールしておもてなし弘前を市民全体で思いやりのある人格を小さい時から市民一体で取り組んで欲しい。
50歳代	女	弘前	設備等が整う事よりも不自由を感じている人に声をかけることができる思いやりの心を培うことを重要視する姿勢と教育のある街。優しい言葉に心が癒されることの方が人としての幸せ度が高いと思います。
50歳代	女	岩木	ゆとりを持って暮らせること。一人一人がゆとりがあれば、他者への(経済的、精神的)思いやりが持てるようになると思う。(近所あるいは他県からの観光客に対しても)
60～74歳	男	弘前	やさしいという言葉の定義は幅広いですが、 ・隣人に対する思いやり ・外来者に対して思いやりを持続させること
60～74歳	男	弘前	思いやりのある街。色々なルールがあるが、小さいことでも一つ一つ守ることが大事である。基本だと思う。
60～74歳	男	弘前	思いやりのある街、年配者、子供が笑顔でいられる街であってほしい。
60～74歳	女	弘前	公共交通が整い、市民が誇りを持って旅行者にも、市民同士もやさしく接する。
60～74歳	女	弘前	自転車の点灯＝優しい相手を思う心 (学生さんたちに点灯が無いのが目立ちます。学校で自分のためならず相手を思うやさしさということを教えて欲しいと思います。)
60～74歳	女	弘前	お互いに気をはらず、お互いに思いやって暮らせる街。
60～74歳	女	弘前	各家庭がやさしい家庭、そして近所と町会と広がって優しさと思いやりのある「ひろさき」の街になっていくと思います。
60～74歳	女	弘前	身体の不自由な方(足、耳等)も家に引きこもってばかりいないで、気楽に外出できる街・ハードだけでなくソフト面も。これには幼い時からの思いやりの教育(家庭・学校等における)がとても大事だと思います。様々な個を認める広い心を持つ事だと思います。相手の身・心に自分を置き換える想像力を育むのもまた大事だと思います。
60～74歳	女	弘前	人々が笑顔で暮らせて、たとえ苦しみがあったとしても解決できる場所があり、人に対しての思いやりの持てる人が沢山いれば良いと思うけれども、どちらかと言えば構える人の方が多いかな。
60～74歳	女	弘前	弘前のとこをすきになってもらいたいです。そこに住んでいる人をお互いに思いやれる、そんな人達のいる街になって欲しいです。
60～74歳	女	弘前	人が人を大切に想い、常に感謝を忘れず、笑顔あふれる街。
60～74歳	女	岩木	一期一会、誰にでも優しく親切をモットーにし、観光弘前をPRし、弘前に来て良かった、楽しかったと思っただけの街づくりにみんなで取り組みたい。
60～74歳	女	岩木	お互いに相手を思う気遣う心が、やさしい街につながるのではと考えますが。
60～74歳	女	岩木	一人が一つ出来ることがあれば、思いやりをもって長く無理をしないで自分出来ることをしていきたいと思います。

◆弱者への配慮

年齢	性別	地区	回答
30歳代	男	弘前	社会的弱者に対する差別の無い街。
40歳代	男	弘前	子ども、高齢者が安心して暮らせる街
40歳代	男	弘前	子ども、老人、女性にやさしい街
40歳代	女	弘前	弱者に対して、支援が整っていること
50歳代	男	弘前	老人に優しく、暮らしやすい街
50歳代	男	弘前	高齢者が快適に過ごせる地域、特に一人暮らしの高齢者の生活を充実させること。(介護、看護の)
50歳代	男	弘前	学都であるため中高生と大学生と連携した活動(ボランティアにこだわらずに)で、高齢者が住みやすい街。
50歳代	女	弘前	社会的弱者が安心して生活出来る街です。託児所の充実、お年寄りのいる家族への充実した介護の提供等。
50歳代	女	弘前	小児や高齢者が住みやすい街であること
50歳代	女	弘前	今は車で通学、通勤が当たり前ですが、中にはバスを使わなければ年配の人はバスがなければとても不便です。交通に便利な街、お年寄りにやさしい街です。
60～74歳	男	弘前	子どもや高齢者が過ごしやすい街。高所得者からは税金は多く徴収、低所得者からは少ない税金を徴収することだと思います。
60～74歳	男	相馬	弱者(高齢者、障がい者)にやさしい街だと思います。
60～74歳	男	相馬	高齢者が笑顔でいられる社会。
60～74歳	女	弘前	お年寄りが色々な場所へ出向けるために、田舎でも小さいバスでも走っていて、買い物できる街。お年寄りに優しく無ければ、やさしい街とは言えないのでは？車の運転が出来ない。お年寄りには本当に現代社会において“弱者”です。街を楽しむことすら困難です。お年寄りを大切に作るやさしい弘前であってほしいです。
60～74歳	女	弘前	老人にやさしい街
60～74歳	女		老人や社会的弱者にやさしい町であって欲しい

◆住みやすい

年齢	性別	地区	回答
16～29歳	女	弘前	子ども、高齢者が住みやすい生活しやすい街。
30歳代	女	弘前	市民が過ごしやすく暮らせる街であること。
30歳代	女	弘前	赤ちゃんからお年寄りまで、どの世代も不便を感じることなく暮らせる街。
40歳代	女	弘前	子供から大人まで住みよい街
50歳代	男	弘前	一言でいえば、住みやすい街。近年商業施設、公共施設等郊外へ集積しているが、やさしい街「ひろさき」とは、旧来の市内地を指して言うのか。新興住宅地を指して言うのか。それとも両方を指して言うのか(おそらく後者と思うが)それぞれの地域により市に対する要望が異なると思うが、それに対してそれぞれの対策を講じてくれるのがやさしい街だと思う。
50歳代	男	相馬	色々な意味でのマナーと思って、ゆったりと暮らせる街であればいいと思う
50歳代	女	弘前	住みやすい街
50歳代	女	弘前	やさしい街とは、色々な年代になってもひろさきっていいなと思える楽しく生活を送れる街だと思います。
60～74歳	男	弘前	住みよい街、潤いのある街
60～74歳	女	弘前	障害のある人や高齢者が住みやすい町
60～74歳	女	弘前	やさしい街とは住みやすい街、他縣市町村から来てもずっと住みたい街となる事だと思う

【利便性】

◆道路・駐車場整備

年齢	性別	地区	回答
16～29歳	男	弘前	道路標識で〇時～〇時通行止めと標識があるが、見にくい(小さい)。一方通行も道路に書いて欲しい。
16～29歳	女	弘前	冬に雪がふっていても大丈夫のように地下道があるとよい。

16～29 歳	女	岩木	車移動が主となる市民が多いはずだから、道路整備も重要だと思います。特に冬季の場合。
30 歳代	女	弘前	弘前公園に行く時、車をどこにとめればいいのか分からない。
40 歳代	男	弘前	生活道路の確保、特に冬除排雪を徹底して生活道路を確保することで、人にも車にも少しはやさしい街になるのではと思います。
40 歳代	男	弘前	道幅が広いなどの交通の不自由さを感じない街
40 歳代	女	弘前	雪が降るとどこの道も狭くなり、人も車も歩きにくいので、雪のことを考え車道や歩道を広くして欲しい。そうすることによって、安心して車の運転ができる。
50 歳代	男	弘前	高速道路のインターチェンジが遠い。もっと近くに設置して欲しい。
50 歳代	女	弘前	気軽に止められる駐車スペースが市街地にあつたらいいと思います。特に土手町など駐車が困難で買い物しにくいのでどうしても遠くのショッピングモールに行ってしまう。
60～74 歳	男	弘前	●快適で安全に通行のできる街 新しい道路をつくる予算があるなら、融通を利かして狭く危険な道路を拡幅したり、右折路線の新設をしたらいかがですか。適正な信号時間の設定ともあわせてスムーズな車の流れを確保し、安全で快適に通行できる街にして欲しいです。

◆公共交通

年齢	性別	地区	回答
16～29 歳	男	弘前	交通機関がしっかりし、治安の良い街。
30 歳代	女	弘前	とにかく車を運転できない方のために、どのような場所でもバス利用もつとできるようにして欲しい。知り合いや親が家まで遊びに来るにも駅から等不便である。また、今は、通勤車ですが、新しい住宅街でも沢山バス停をつくって欲しい。
30 歳代	女	弘前	老若男女が暮らすのでバスの本数を増やしたり、色々な人と交流できる場所があればよいと思う。
30 歳代	女	弘前	もっとお年寄りが出歩けるようになればいいと思います。東京都の武蔵野市の「ムーバス」をご存知ですか？低速で主に住宅地(細い道)を廻る 100 円バス(ミニバス)、高齢者に配慮して前市長が考案したもの。大好評で用事もないのに、おじいちゃん、おばあちゃんと乗りたがる子どもも。
50 歳代	男	弘前	施設や公共場所へスムーズにいける交通アクセスがある事だと思う。
50 歳代	女	弘前	バスの利用者に対する対応にかなり差がある。教育・研修はどのようになっているのでしょうか。感動するほどの対応をする方もいれば、つけんどんな、サービスから程遠い、コミュニケーションが出来ないような方もいます。県外からこられる方はどう感じるのかと不安を感じています。タクシーの場合も同じだと思います。
50 歳代	女	弘前	バス等の公共交通機関が便利であること。駅前に安い駐車場が欲しい。
50 歳代	女	弘前	老人や一人暮らしの方も増えている気がする。私自身、車の運転をしないこともあり、公共の移動手段を円滑にして欲しい。100 円バスはよく利用しますが、運転手さんが親切で路線バスの運転手さんと大違いです。
50 歳代	女	弘前	今は車で通学、通勤が当たり前ですが、中にはバスを使わなければ年配の人はバスがなければとても不便です。交通に便利な街、お年寄りにやさしい街です。
60～74 歳	女	弘前	公共交通が整い、市民が誇りを持って旅行者にも、市民同士もやさしく接する。

◆除排雪

年齢	性別	地区	回答
30 歳代	女	岩木	これからの季節・除雪がきれいな街が、車・人にやさしく良いのではないだろうか。市長(議員の?)家の周囲、付近は除雪が行き届いている。と話がちらほら…。場所によって除雪の管轄があるか、差のない除雪が必要と思う。
40 歳代	女	弘前	予算の関係もあるのですが、冬季の除雪は定期的に排雪することによって歩行者の安全も確保でき交通渋滞も解消されると思うので、もう少し回数を増やして排雪してほしい。特に流雪溝のない浜の町地域等、優先順位を考えていただければ幸いです。
40 歳代	女	弘前	冬季の除排雪を徹底して行うことにより、朝の通勤ラッシュ時のイライラ感が軽減され、個々の人格にも他の対応へもゆとりが生まれ1日の過ごし方が違ってくると思う＝人にやさしい街につながる
50 歳代	女	弘前	雪の対策。雪があっても除排雪が上手であれば苦にならない。
50 歳代	女	弘前	歩道、自転車道、車道が別々にあり、除雪がしっかりしている。

50歳代	女	弘前	除雪車と排雪車を同時に稼働させて、道横に雪山を残さない効率よい雪対策を実行して欲しい。
50歳代	女	弘前	快適で過ごせる街。冬の雪の除排雪を重点にして欲しい。(歩行者が歩きやすく、車は渋滞せず、緊急者がスムーズに通れる・・・)と思います。
50歳代	女	岩木	除雪、排雪をこまめにやってくれる街。冬でも外出しやすいと活性化につながると思うので。

【快適性】

◆自然・緑

年齢	性別	地区	回答
40歳代	男	弘前	緑が多く公共サービスが充実している街
40歳代	男	岩木	自然の豊かで勉強する学生や子供が環境の良い状況であれば良い。
40歳代	女	弘前	騒音や犯罪がなく、四季を感じられる静かで穏やかな日々が過ごせる街が理想です。
50歳代	男	岩木	また、「ひろさき」という所は、海・山・街へ1時間以内で行ける位置にあり、自然と遊ぶにはとてもよい所だと思うので、これがやさしい街だと思う。
50歳代	女	弘前	人と人のつながりがあり、自然がいっぱいずっと住んでいたいと思える街。
60～74歳	男	弘前	自然環境が厳しく、天候に屈しない町づくりが必要と思いました。
60～74歳	男	岩木	不況と震災原発事故で何かと暗い先行きばかりですが、青森県そして弘前はお金がないので先進都市の真似を追い馳せるのではなく、すばらしい自然の財産を何より生かした街づくりを進めて、産業・農業・漁業・観光、そして市民同士が支えあう仕組みをしっかりと創って行くべきだと思います。
60～74歳	女	弘前	緑が多い街。春、手入れの行き届いた桜の花の見事な事に喜びが心からわいてきて、自然に笑顔になれる街。
60～74歳	女	弘前	各団地に樹木を統一。統一すると綺麗。(銀杏、ななかまど、桜)

◆施設要望

年齢	性別	地区	回答
30歳代	男	弘前	子ども達が遊べる施設(遊園地やキャンプ場など)をもう少し増やしてほしい。
30歳代	男	岩木	若者がたのしく集う場所や広場があり、家族連れが楽しく過ごせる施設があれば、青森県(弘前含む)には遊べる場所が少ない。これらは「やさしい街」とは言えないかもしれないが、少子高齢化が進んでいる中、もっと若者が出会い、若い家族が安心して過ごせる場所が沢山あれば・・・。
30歳代	女	弘前	子どもと一緒に遊べる施設がほしい(アスレチックや広場がある所)
40歳代	女	弘前	高齢者・障害者が利用できる設備の整った施設があれば良いと思います。
50歳代	男	弘前	リラックスする場所がある。イベントなど楽しめる場所がある街
60～74歳	男	弘前	子どもも高齢者も冬期間集える屋内施設があればよいと思う。
60～74歳	男	岩木	町会や旧市町村単位毎に公共・民間施設がバランス良く配置されている街。

【協働・参画】

◆人のつながり・交流・コミュニケーション

年齢	性別	地区	回答
16～29歳	男	弘前	お年寄りが多いので、近くのスーパーを設けたり、遊ぶ施設を増やし、近所付き合いが出来る町(もし、一人暮らしのお年寄りがいても、安否を確認できるから)
30歳代	女	弘前	老若男女が暮らすのでバスの本数を増やしたり、色々な人と交流できる場所があればよいと思う。
40歳代	女	弘前	“街”というのは人が住んでこそ街と呼べるものだと思います。外見はともかく、人と人のつながりが大事かと思っています。
50歳代	男	弘前	通勤・通学時に挨拶ができる市民が1人でも多くいる街。
50歳代	男	相馬	●いろんな人とコミュニケーションがとれる人々のいる街 例えば、各団体が個別で実施している教室などを年に数回、まとめて行ったらどうでしょうか。こぎん、ねぶた、津軽塗り、囲碁、将棋、絵画、写真など成果品の展示だけでなく、初心者(子どもから大人)から参加でき指導を受けながら制作等ができる雰囲気のある集会。
50歳代	男	岩木	人間関係、挨拶ができる街
50歳代	女	弘前	人と人のつながりがあり、自然がいっぱいずっと住んでいたいと思える街。

50歳代	女	弘前	気軽に相談を聞いてくれる地域の駐在所の方や市の職員がいる街。(何か事件が起きるまで対応してくれないおまわりさん、なれない事務手続きなどに対応の悪い職員など、やさしくないなあと感じることがありました。)
50歳代	女	弘前	人と人の繋がりがしっかりしている。安心で安全な街。
50歳代	女	岩木	あいさつが出来、隣近所とコミュニケーションのとれる街
60～74歳	男	弘前	お年寄り、子どもに対する声かけ
60～74歳	男	相馬	近所の付き合いなどいざこざがなく笑顔で話し合えることではないかと思えます。
60～74歳	男	岩木	隣人同士の交流が活発な街づくりが災害対策にもなるのですが、班内(町内)でも顔の知らない人が多い(ほとんど知らない)
60～74歳	女	弘前	やさしいひろさきの街は道路が広く交通の便が良い事も考えられますが、私達一人一人が声かけも大切な事と思っています。
60～74歳	女	弘前	近所、声掛け合って仲良く生活する
60～74歳	女	弘前	若者、高齢者、障がい者、ひとり暮らしの方々の話を聞いてくれる場所、人がいたら安心して過ごすことができるのではないのでしょうか。
60～74歳	女	弘前	まずは、近所付き合いが楽しめること。
60～74歳	女	弘前	子ども達やおじいちゃん、おばあちゃん達が楽しく過ごせる事、皆で声を掛け合う、そして助けあう。
60～74歳	女	弘前	昔のように向こう三軒両隣と言えるような話題(会話)ができ、近所のことを知りたい。そして皆が仲良く暮らせる街であって欲しい。
60～74歳	女	弘前	事件や事故がなく安心して生活できることが何よりで、人の触れ合いも親切に思う。
60～74歳	女	岩木	いつでもどこでも声掛けができるようにしたい
	男	岩木	笑顔であいさつ。知人限らず、機会があったら。

◆助け合い

年齢	性別	地区	回答
16～29歳	女	弘前	人と人が支えあふ。
30歳代	男	弘前	住民同士が連携できる街。
30歳代	女	弘前	社会的弱者も肩身せまくなく、みんなと同じ生活ができる街。
30歳代	女	弘前	子どもを見守り、支えあふ意識を持つ人々がいる街
60～74歳	男	弘前	市民の助け合いの精神を行動で具現すること
60～74歳	女	弘前	子ども達やおじいちゃん、おばあちゃん達が楽しく過ごせる事、皆で声を掛け合う、そして助けあふ。
60～74歳	女	岩木	困ったときにいろんな意味で助けてくれる人、物がそばにいる街。

◆市民参画

年齢	性別	地区	回答
30歳代	男	弘前	市民が協力し合う街
40歳代	男	岩木	市民みんながひろさきを愛し、住んでいる人を愛し、人間である喜びを感じられる街。形だけのイベントでなく、皆が楽しめる、皆が参加しやすい全員でつくる街。
50歳代	女	弘前	一人一人が面倒くさいと思わずに行動をすると良い街になると思う。
60～74歳	男	相馬	行政が心配した施策を講じて、市民が積極的に参画できる街づくりができればやさしい街づくりが出来ると考えます。
60～74歳	男	岩木	不況と震災原発事故で何かと暗い先行きばかりですが、青森県そして弘前はお金が無いので先進都市の真似を追い馳せるのではなく、素晴らしい自然の財産を何より生かした街づくりを進めて、産業・農業・漁業・観光、そして市民同士が支えあふ仕組みをしっかりと創って行くべきだと思います。
60～74歳	男	岩木	災害・犯罪等がなく市民の市政に寄与できる意見が受入される行政。
60～74歳	女	弘前	表に出ていなくても、本当の意味で弘前を変えたい良くしたいと思っている人が沢山いるのですから、広く市民の声をひろってほしい。

◆情報

年齢	性別	地区	回答
16～29歳	女	弘前	内職情報が広報で知ることが出来る。

30歳代	男	弘前	市外からの人が気軽に來れて弘前市の見所等(アピールポイント)を紹介してくれる場所、または無料情報誌を宣伝して欲しい。
30歳代	女	弘前	社会的弱者に対する手助けをするボランティアや事業者がもっともっと多くなり、それが情報収集できるよう、つねに公開されていること。
40歳代	女	弘前	誰にでもわかりやすく、情報が公開されていること
40歳代	女	弘前	うわべだけではなく市民が生活していくうえで、いろいろなことに分かりやすく情報が得られてゆく。
50歳代	男	弘前	分からないことなど、どこに相談すればいいかすぐわかる街

【その他】

◆町の印象・感想

年齢	性別	地区	回答
40歳代	女	弘前	いろいろな公共の場で細かい気配りがされていて、大変住みやすい街だと感じております。子ども達のがびのがび生活できるようにこれからの発展に期待しています。
40歳代	女	弘前	東京の大学に進学した娘は帰省すると“空がみえる”と言います。郊外へのドライブも“とても気持ち良い”と言います。身近にある歴史、自然を守りながらゆっくと進んでいくことは、とても良いことだと思います。
40歳代	女	弘前	夜に近所を散歩できるし、治安もいいのでは？と思いますので、とりあえず、自分が住んでいる地域は安心して住める“ひろさき”だと思っています
40歳代	女	岩木	地元弘前が大好きです。満足しています。新しいことはあまり希望しません。今までどおり、文化、自然を大切にずっと守り続けてほしいと思います。それがやさしい街かな～
50歳代	男	弘前	「ひろさき」と言えばお城。公園周辺の駐車場が少ない。岩木川河川敷からは遠い。
50歳代	男	弘前	全体的に良い街だと思います。
50歳代	女	弘前	一年を通して祭りがあり、良い街だなと思います。子ども時代は祭りも楽しかったのですが、大人になった今は、例えば花火の上がる音とか聞いていると、胸がわくわくします。またこれで夏が終わり、秋になり、長い冬が来るんだあって。弘前は四季を通して良い街だなおもいます。
50歳代	女	弘前	貧しい町
50歳代	女	弘前	ひろさきは唯一自慢できるといえば城下町と、桜まつりイベントの多い町、観光の町なので、住みよききれいな町で、進んでいると思います。遊べる町ですが、あえて仕事が難しくなっている現実だと思います。TPPで農家も、これからは大変だと思います。
50歳代	女	弘前	弘前は今でもやさしい街だと思っていますが、全ての人が思えるようになる事が大切なのでしょう。
50歳代	女	弘前	「やさしい街ひろさき」と言われても漠然として思いもまとまりませんが、少なくとも私の周りとはとてもやさしい街です。例えば、公園のごみを毎日拾ってくれるおじさん。公園に花を植えて水をやってくれるおじさん。犬と散歩していると挨拶してくれるおばさんや小学生、中学生、高校生。私の知っているひろさきは、やさしい街です。
50歳代	女	弘前	弘前に来て感動したのが「岩木山」が目の前で自然を感じました。やはり桜も感動で自然があると癒されます。
60～74歳	男	弘前	他県にくらべて大変住みやすい町です。
60～74歳	男	弘前	普通の街。
60～74歳	男	弘前	現在の弘前市長はこの前のマニフェストを実行しているので賞をとっていますが、二十三年元旦から続々とイベントを行い「弘前」を大アピール出来て大変良いことだと思います。
60～74歳	男	弘前	転勤者で全国に住んできましたが、弘前は大変良い町だとは思う。しかし、活気の無いのにはびっくりした。若者の少ないのはなぜか、なぜふるさとを離れるのか、町全体で考えるべき。老後も大事だが、若者の住みつきたくなる要素が少ない。一度、市長さんと若者の意見交換を定期的に行ってみたらどうですか？
60～74歳	男	弘前	ひろさきは充分やさしい街です。みんなその気持ちを持っています。個人ひとりひとりでは、みんなやさしい方です。それをどのように一つの目的にむすびつけるかは、やはり誠心誠意でしょう。それがあれば伝わりますし、動きます。まごころをもって話せば、みんな理解し、協力するのです。

60～74歳	男	弘前	安心・安全、物価が高い、働く場所がない、障害者への配慮が乏しい、カラス対策が効を奏していない、おいしい食べ物屋さんがない、冬の除雪が下手・回数少ない
60～74歳	男	弘前	町全体が内向的で余裕を感じられない。
60～74歳	男	岩木	あまり良くない町
60～74歳	男	岩木	歩行者にとって、歩きやすい道路、公共施設への便利なアクセス等、今は何でも車を利用しなければ行動できない仕組みになっていると思います。
60～74歳	女	弘前	よくウォーキングをするのですが、弘前公園の四季を通じて楽しみながら歩いています。県外の方とたまに話をすることがあり、公園の管理、景色についてはよくほめられて、自慢に思います。公園だけではなく城下町ひろさきとして市長さんはじめ、皆様が観光を通し人が集まってくるひろさきに大いに期待しています。人も街も優しく、特に公園はみな大切に思っていると信じています。「本当に大好き弘前」
60～74歳	女	弘前	ひろさきの街は災害も少なく大変住み良い街だと考えられます。
60～74歳	女	弘前	出身は弘前ではないですが、弘前が大好きだし死ぬまで弘前にいたいと思っています。
60～74歳	女	弘前	やさしい街という言葉には何故か抵抗を感じる。普段、街を歩いてそのように感じる事が無さ過ぎるから、特に眠れる街、眠れるひろさき市と感じたのは、3月の地震津波原発の天災人災の後、築城400年の記念事業の席に鎮魂再生への意思を示されたが、同じ東北の悲劇にこれで良いのかと。
60～74歳	女	弘前	私の近くに用事の時は自転車を利用します。比較的新しい道路でも車道と歩道に段差の大きいところがあったりして怖い思いをしています。
60～74歳	女	弘前	市内には弘前公園、山に行くと岩木山。秋になるとアップルロードではりんご、見る所と食べ物が沢山ある街、弘前だと思います。
60～74歳	女	弘前	春は桜、夏は涼風、秋は紅葉、冬は雪灯籠、弘前公園のもたらす恵みに本当に癒されます。弘前市に生まれ育った自分が年を重ねることに幸せを感じております。いっぱい、いっぱい自慢したい！弘前バンザ〜イ！弘前を守っていらっしゃる方々皆様に感謝！！
60～74歳	女	弘前	今は、昔と違って隣近所への付き合いも少なく、子ども、大人共、挨拶する人もほとんどいなくなったと思います。子どもがやさしい気持ちになれる訳ないと思っています。
60～74歳	女	岩木	(国を挙げての)我も彼も「観光客頼り」が目につついて、私の年代では、生きていくのに落ち着かないです。気忙しい街になりかけているような気がします。服に体を合わせるのではなく、体に服を添わせる感じの街。時流に乗り損ねたふりして斬新！そんな密やかな発展の仕方をする弘前が好きです。
60～74歳	女		学校の近くを歩いていると、生徒さん達が元気に挨拶をしてくれます。とても嬉しい瞬間です。見ず知らずの人に声をかけるのはとても勇気がいるでしょうに。
60～74歳	女		住みやすい街だと思います。友人にも書いてもらいました。仕事以外にほとんど外に出ないので、街のことを殆ど知らないですみません。

◆観光・もてなし

年齢	性別	地区	回答
16～29歳	女	岩木	市民が市について知ること。そして、観光客等に心から笑顔で「ひろさき」について話が出るようになれば、市民にとっても「やさしい」街になるのでは？
30歳代	男	弘前	観光と文化(大学もあるので学問的なアプローチで)が上手く絡み合い観光客が楽しめる笑顔あふれる街
30歳代	女	弘前	観光収入に力を入れるのであれば、一年を通じて観光客がくるように誘致活動をすればよいと思う。その上で、弘前に暮らす人だけではなく観光客にもやさしい弘前になると思う。
40歳代	男	弘前	旅行者に優しくなる
40歳代	男	弘前	観光客や市外の人達に対して笑顔で接することができる街。優しく市民が街の情報を聞かれたら教えることができる街。
40歳代	男	弘前	観光客に対して、多少の弘前の歴史について説明できる市民以外の方に対しても接するやさしい気持ちをもった街

40 歳代	男	岩木	弘前を良く知り、理解し、新しく入ってきた人達にも、観光で来た人達にも自然と弘前の良いところを説明したくなる様な町づくり。コンテンツは色々あるのだから、市民のみんなで弘前を理解し好きになれば、他人にも自分にもやさしい街になれるのではないかな。
40 歳代	女	弘前	観光の場所が豊富
40 歳代	女	弘前	住んでいる人も観光に訪れた人も気持ちよく過ごせる街がやさしい街ではないかと思います。観光を重視するのであれば、秋の藁焼きを止めさせる条例をつくるべきです。どこへ行っても白くにごった風景と喉をさすひどい臭い、どんなおいしい物でも不味くなります。二度と来たくなくなりますよ。(実際、そういう人もいました。)
50 歳代	男	弘前	誰もが観光案内人であり、県外、市外からの来客に温かい対応ができること。
50 歳代	女	弘前	市民それぞれ、観光客に接する時の態度。親切に笑顔で、もてなしの心を忘れずに。
50 歳代	女	弘前	また、ひろさきは観光の町なので、外から訪れた人に、親切なタクシーの運転手さんや、人々ということもやさしい街「ひろさき」かな。
50 歳代	女	弘前	観光に訪れた方々から、接客マナーが行き届いて親切な街だと評価されたいです。“言葉情けがある”という表現に合った市民が多くなることを願いながら、自分もそのようにありたいです。
50 歳代	女	弘前	弘前の観光がもっと全国的になれること。
50 歳代	女	弘前	観光客に対しても弘前の印象が悪いものにならないようやさしく接していきたいです。
50 歳代	女	弘前	そして観光客にも観光しやすいルートをきめ細かく配慮して対応できることです。
50 歳代	女	岩木	りんごの街をもっと宣伝して欲しい。若木山、白神の山などもっと観光面で宣伝して欲しい。イベントをもっと多くして欲しいです。
60～74 歳	男	弘前	弘前市は十分やさしい街と思っています。住みやすい。それよりも、もっと観光客にやさしい街作りを進めて欲しい。観光客が「え！」と思うような細かいところまで。
60～74 歳	女	弘前	観光地
60～74 歳	女	弘前	四季折々のお祭りにも弘前の町には大切な行事で外からのお客様も常に弘前に来やすい町、ゆっくりでも素敵な町そのような町がいいです。
60～74 歳	女	相馬	県外からのお客様だけではなく、県内の人にも気持ちよく接する心を一人一人が持てるようになりたいです。
60～74 歳	女	岩木	一期一会、誰にでも優しく親切をモットーにし、観光弘前をPRし、弘前に来て良かった、楽しかったと思っただけの街づくりにみんなで取り組みたい。
60～74 歳	女	岩木	高齢者や障害者だけでなく外国人に対しても対応できる街であってほしいです。各種案内などが外国語になっていない点が多いと思います。英語だけでなく中国語や韓国語での案内がもっと必要だと思います。特に、韓国からの観光客に対応できる体制をもっと整える必要があると思います。(青森～ソウル線を守る為にも)
	女	弘前	観光客や他都道府県から来ている学生さんに親切にすること。

◆その他まちづくりの方向性

年齢	性別	地区	回答
16～29 歳	女	弘前	・センスがいい街 ・西弘がある街
30 歳代	男	弘前	歩くだけで弘前を実感でき、気分がよくなり、またもっと歩きたくさせる街。都市計画課の皆さんには、まだまだ頑張ってもらいたい。
30 歳代	男	弘前	各種助成金を出してくれる街(ペレットストーブ設置、太陽光発電装置設置など)
30 歳代	男	岩木	住んでいるところなどによって格差のない街。特に不便さを感じることはないように。
30 歳代	女	弘前	「ひろさき」はきれいな町でなければならないと思っています。しかし、公園内にペットを散歩させて、ふん、尿をしている姿を見るとせつかくのいこいの場なのにとっても残念です。看板、広報などで、ペットのマナーについて取り上げてほしいです。自宅の敷地に平気で入り込み、ふん、尿をさせている飼主を見るたびに怒りでいっぱいになります。「犬だから仕方ない」とか、「知らなかった」等のないように立て看板を作成して、市内においてください。

30 歳代	女		何事に対してもオープンな方向性が必要なのではないか。
40 歳代	男		歩道、自転車道等幅も広く整備されていて、観光客(市民)等が自由に散策できる街
40 歳代	女	弘前	一人一人の心のあり方次第
40 歳代	女	弘前	車以外の方法でも移動しやすく、安全で明るい街
50 歳代	男	弘前	弘前市民として自慢できる街
50 歳代	男	弘前	弘前大学を核とした、教育・文化の街
50 歳代	男	弘前	津軽の中核都市 これらをポイントにした人にやさしい街
50 歳代	男	岩木	市内だけではなく地域の事も考えたまちづくりをして欲しいと思います。
60～74 歳	男	弘前	高齢者、子どもを中心に考えますが(もちろん障がい者も・・・)、それを支える人達が健全でなければならないと思います。その人達が安心して暮らすことで上記の方達にもゆとりを持って接したり、その方達の事を考える余裕も生まれるのでは？現役世代がのびのびと(税金、仕事、育児(保育?)などなど・・・)生活できる街がやさしい街だと思います。(そこから全てにつながるとは思いますよ) ※車もですが自転車のマナーが悪く“危険な街”ですね・・・何か対策を！！
60～74 歳	男	弘前	車が無くても暮らすことができる街
60～74 歳	男	弘前	ひろさき市民と胸を張っていえること。何かをする時、人と接する時のマナーの充実。
60～74 歳	女	弘前	施設のサービス・マナーというよりも前に、自分の住む町内がやさしくありたい。
60～74 歳	女	弘前	街並みを散歩して各お店の中をのぞいたり、コーヒーやケーキを食べたり、ランチをしておしゃべりをしてお休みの1日をゆっくり心と身体をリフレッシュしていける街。
60～74 歳	女	弘前	きれいな街(ゴミの落ちていない街)=きれいな心

◆子育て・子ども

年齢	性別	地区	回答
16～29 歳	女	弘前	小さい子どもが屋内でも屋外でものびのび遊べる街になってほしい。
30 歳代	男	弘前	子供たちが安全に遊べる街
30 歳代	女	弘前	小さい子供にやさしい街。子連れでも外出しやすいとうれしい。“子育てしやすいアピール”をしたら“学生の街弘前”を卒業した若者達も定着して住み続けるのでは？特に、これからは働くママが住みやすい街が栄えると思う。共働きの若い夫婦にとっては、妻の住みやすさが一番重要となる。
30 歳代	女	弘前	経済的に恵まれない子ども達も学習に専念できる機会を平等に与えること
30 歳代	女	弘前	母親が仕事と育児を両立できる街(病児保育を増やして欲しい)
30 歳代	女	弘前	少子化の対策の強化、世の中の流れとは違って弘前の事業主の考え方はまだまだ古く“男社会”の考え方を押し付けられています。子ども出来たら辞める・・・産休後は席があると思うなよ・・・みたいな。そんな会社ばかりではこの街で安心して子育て出来ないですね。
30 歳代	女	弘前	未来の「ひろさき」を作るのは今の子ども達なのだから、子どもを育てやすい街、子どもにやさしい街。最近はお年寄りばかりが重視されているような気がする。
30 歳代	女	弘前	子どもと親に住みやすい、子育てしやすいのがやさしい街だと思います
30 歳代	女	相馬	ひとり親への支援をもっと考えてほしい。年収が超えているから、毎年手当てを受けられないが、スキーなどの購入の場合などは受けられるようにしてほしい。
40 歳代	男	弘前	これ以上片親家族の数が増えない街。
40 歳代	男	弘前	安心して子育てができる街
40 歳代	男	弘前	子どもを守ることができる
40 歳代	男	相馬	子どもが安心して遊べる街。
50 歳代	男	弘前	どこにいても、子ども達が活発に活動できるような安心感がある事。
50 歳代	女	弘前	最近、中学生に様々な気にかかる様子がある。小学生、中学生が元気で明るい生活がしていけるように、教育に大人の目を掛けて育てていけることが、やさしい街へと、ゆくゆくはつながっていくように思います。ぜひ、中学1年の33人学級を中学3年生まで行うことができたなら・・・と常々思っています。
60～74 歳	男	弘前	保育所、託児所の充実を図り、安心して子どもを産める環境の街づくり

60～74歳	女	弘前	・これから子どもをつくる若者、それへの支援(出産費等) ・子ども達が安心して生活できる環境にして欲しい
--------	---	----	--

◆医療・福祉

年齢	性別	地区	回答
16～29歳	女	弘前	病児保育室を増やしてほしい。
16～29歳	女	弘前	福祉に関する計画の充実、実行、市のリーダーシップ。児童、高齢者、障害者・・・と分野毎の縦割り、最低限の計画策定ではなく、「地域福祉計画」として、弘前市という地域全体の社会福祉、地域福祉に視点を当てた、社会福祉分野の大きな計画が欲しい。
16～29歳	女	弘前	すべてにおいて無理だとは思いますが、なぜ出来ないのか。返答をしたり、少しずつでも、近づけられたら(理想に)市民も待ってくれるだろうし(期待も裏切られないと思います)、年配者と若年者に配慮(特に医療)して欲しいと思います。
30歳代	女	弘前	子供の医療費は、収入に関係なく無料にして欲しい。この町では子育てしていきたいありません。これ以上、子どもを産もうという気持ちが無くなりました。
30歳代	女	弘前	医療格差(健康格差)のない社会(地域)であって欲しい。
30歳代	女	相馬	子供にやさしい街。幼児の医療費を軽減して欲しい。
40歳代	男	弘前	一人暮らしのお年寄りが不自由なく医療や、福祉施設が利用できるような街
40歳代	女	弘前	福祉の心にあふれる街。郡部と違い、家にこもる人たちが年代にかかわらず多い気がする。町内での活動、医療機関での活動等、人の集まる所で小さな輪ができると変わってくると思います。
40歳代	女	弘前	私の母は高齢者の一人暮らしです。目も不自由ですが、全く見えない訳ではなく、自宅ならば何とか歩いたり、用事を足すことは出来ます(手探りです)。しかし、ほとんど見えないので、掃除は勿論無理ですし、いつも使っているものの場所は分かっているでもそれ以外は無理です。しかし、先日、介護保険の対象外になったとかで、ヘルパーさんを頼むのも高額になったそうです。一人で外へ出ることが無理な母ですが、買い物や病院へはどうやって行けばいいのでしょうか。やさしい街「ひろさき」なのであれば何とかして欲しいものです。
50歳代	男	弘前	特別な支援、介助がごく普通の当たり前ができるような街。(障害者、高齢者、外国人など区別しなくても普通に暮らせること)
50歳代	男	岩木	体が不自由な老人に対し、いろいろと金額がかかりすぎる。
50歳代	女	弘前	保健・予防活動に経済的負担を少なくして欲しい。
50歳代	女	岩木	老後の生活を安心して暮らしていける設備や年金の支給
60～74歳	男	弘前	福祉の充実した街
60～74歳	女	弘前	福祉行政が充実した地域

◆伝統、歴史、城下町

年齢	性別	地区	回答
50歳代	男	弘前	西洋文化と融合した城下町
50歳代	男	弘前	城下町のイメージを活かした静かな街
50歳代	女	弘前	昔ながらの伝統と近代的な面と両方兼ね揃えた街。
50歳代	女	弘前	城下町としての美しさとゆとりを持った街
50歳代	女	岩木	文化的な展示会、催し物など沢山あって気軽に参加できる街
60～74歳	男	弘前	伝統文化を大事にするとともに、改革を行うこと
60～74歳	男	弘前	ケバケバしない落ち着いた街
60～74歳	男	弘前	古いものと新しいものが共存できる街
60～74歳	男	弘前	伝統と文化のある街を、全国に宣伝してほしい。
60～74歳	女	弘前	伝統、歴史を大切にしたい美しい景観。学問、文化を重んじる、格調高い街。
60～74歳	女	弘前	愛してやまない「ひろさき」ですが近代的になるのも望ましいですが、古い人間としましては昔の街並みをとてもなつかしく思い出されます。いつまでも優しさが残る街であってほしいと思います。
60～74歳	女	弘前	どこへ行っても都会化した味付けの無い街でなくて、古都弘前らしい歴史の深い街を残して欲しいです。
60～74歳	女	弘前	今年築城400年という歴史あるこのひろさきに住む一人一人が誇りを持ちながらこのひろさきを豊かにしていこうという思いがあふれている街。

60～74 歳	女	弘前	弘前は城下町だから静かな落ち着いた雰囲気を生かしていきたい。公園を中心に古い建物も町の中に溶け込んでいるのがいい。商店街は気楽に入って品選びをしてみたいが、店に入ると買わなければ悪い気がして入りがたい。高齢者になると一店で全部品物が揃っていることが大変助かる。スーパーがあれば大変助かる。
---------	---	----	--

◆行政

年 齢	性別	地区	回 答
30 歳代	女	弘前	土日でも住民票などをとれるようにしてほしい
30 歳代	女	弘前	市役所の手続きのしやすさの改善
30 歳代	女	弘前	市役所の職員の態度が悪い。まずはそこから直してほしい。
30 歳代	女	弘前	ひろさきの地元の方々はやその県などから転入してくる人が意外と多いのを知らないのか、津軽弁が分からなくて困っている人がたくさんいます。そういう人達はいろんなことがとても不安です。せめて、役所の人達の対応が良かったりすると、その町がすきになって努力しようとしたりするのですが、役所の対応はいつも最悪です。とくに電話対応。公務員の意識をもっと上げてもらえれば、少しはイメージよくなるでしょうか。昔からの頑固な気質がそれを難しくしているような気がします。
30 歳代	女	相馬	公務員の態度が悪い町！！
40 歳代	男	弘前	税金が公平に使われ、無駄の無いこと。必要な場所、人、時期に適切な対応が出来る街。
40 歳代	男	弘前	緑が多く公共サービスが充実している街
50 歳代	男	岩木	市議員が多い割りに活動してない人間が多すぎて無駄である。
50 歳代	女	弘前	土建業者のみ優遇されるのではなく、一般市民の税金を市民のために直接使う行政。
60～74 歳	男	弘前	やさしい街『弘前』とは、住みやすい街『弘前』と読み替えて答えさせていただきます。なお Q6 と Q7 には、以下のようにまとめて答えさせていただきました。 ●税金、保険、水道料などの公共料金の安い街 だいぶ前から、弘前は税金関係、保険関係、水道料などの公共料金が県下一、ものによっては東北一高いと聞いております。今は必ずしもワースト1ではないにしても他市町村より高いのは事実ではないでしょうか。農業と観光が主な街で、歳入源が乏しいことに起因すると思うので理解できますが、歳出が適正化なのか、歳出に無駄がないのか再々度点検・仕分けしてください。また行政的に新起業ができないかも考えてください。
60～74 歳	男	岩木	やさしい行政
60～74 歳	女	弘前	市役所の職員ですが、中には無愛想な人がいるので気をつけてもらいたい
	女	弘前	市民が暮らしやすい街にすること。弱い者だけでなく、一般市民も結構経済的にきつく生活している人が多いです。我が家もそうです。税金あまり取らないで欲しいです。

◆仕事

年 齢	性別	地区	回 答
30 歳代	男	弘前	働き先のある街。
30 歳代	女	弘前	若い人が沢山就職できる街です
50 歳代	男	弘前	やさしい街かどうかはわかりませんが、企業を多くして大学の生徒が弘前に住めるような街。
50 歳代	男	弘前	若年者と高齢者への就労の積極的な斡旋
50 歳代	男	岩木	失業者などない(特に若い人達)しっかりとした就業場所がある街が、やさしい街だと思う。
60～74 歳	男	弘前	準高齢者に働いてもらう街 近年、まだ 60 才前半ぐらいの元気な足取りの方がリュックを背負って散歩したり、山菜採りする姿をよく見かけます。まだまだ働けそうな方々です。この労働資源を提供していただいて、それを有効に生かすことを行政で考えては如何ですか。準高齢者の健康づくりと所得向上につながるばかりでなく、市の活力アップにつながるのではないですか。それでは具体的にどうするのか？これは広く市民の特に準高齢者の方々の意見を聞いたらいかがでしょう。
60～74 歳	男	岩木	若い人に就業の機会を多く斡旋出来る街

60～74歳	女	弘前	若い人やUターンしてきた人達に賃金は安くても働ける場所を提供できる弘前であって欲しい。
60～74歳	女	相馬	天下りをやめ、もっと若者に仕事あるまちにしてほしい。

◆感想

年齢	性別	地区	回答
16～29歳	男	相馬	かじ町からヤクザがいなくなればいいと思う。
40歳代	男	弘前	経済的に豊かになれば心も豊かになると思う。自然、人にも優しくなれると思いますが……。ひろさき全体が豊かになる方法がわかりません！！
50歳代	男	弘前	私事だが、会社倒産後、やさしい等思う心の余裕が無くなってきてしまいました。現在は日雇いで生活が苦しい。
50歳代	女	弘前	高齢化が進んで(その他東北地震の影響もあり)一般に冷えた世の中になっていると思うのですが、ひろさきだけでも元気になりたいですね。主婦として思うのは、日本のもの、県内のもの(田子にんにくなど)、旬のもの、身近なものなど値段が高いのは、つい安いほうへいってしまいます。
50歳代	女	弘前	出歩くことが少ないのでよく分かりません。
50歳代	女	弘前	私は、20年もなるのですが、大型店舗に入ったり、弘前駅の町に入ったり買い物をするのでとても楽しみにしています。でも友達が「何しに大型店に来た」と言うのですが、私は「楽しみに買い物に来た」と言うのですが、私は友達に「そういう答えは質問にならない」と言ったので、そうしたら友達は、何にも言わなくなったので良かったなあと思います。
60～74歳	男	弘前	穏やかで不平不満ばかり探し求めるだけでなく、自分自身が良い方向に前向きに進めることを望む。
60～74歳	女	弘前	安心して自分の家で死ぬことです。
	女	岩木	今まで一生懸命生活をしてきました。親族、兄弟のため、妹たちのため一生懸命でした。皆様との付き合いのため、自分の仕事、生活のためにがんばりました。そして、いつの間にか、老化して、体調が悪くなり休養しています。自分の健康にがんばっております。

◆商店街、商店

年齢	性別	地区	回答
16～29歳	女	弘前	・時計屋など、古くからある店が親切に対応してくれる街 ・土手町、駅前などの店がそれぞれ連携を取り合っている街
40歳代	男	弘前	街角ごとに子どもたちがこづかいで買物に行ける駄菓子屋さんがある街(コンビニには得られない効果が駄菓子屋にはあると思う。)
40歳代	男	弘前	店員や施設職員の対応が良く、不快な思いをしない街
40歳代	女	弘前	この間久しぶりに日曜日の土手町(下土手～中土手まで)に行ったが、人がすごく少なく家族で遊べる感じの所もなく、スーパーもなく、買物をして帰るといふ所もないなあと感じました。平らな駐車場があって、すぐ買えるというような所があってほしいと思いました。
50歳代	女	弘前	桜祭りなどのイベント時、21時過ぎに食事をする場所が少ないと県外からの方に言われます。飲酒するお店ではなく、食事するようなお店があれば良いと思いますが。
50歳代	女	弘前	小さく古いお店や業者を守ることに力を注ぐまち。
60～74歳	男	弘前	商店街のある町
60～74歳	女	弘前	自分がどんどん年取っていく方なので、街中にスーパー、コンビニが不況だということで閉店し、買い物難民です。自転車に乗れるうちはよいが、雪道になるとリックで歩いて行き重くなる。帰り道はバスの便が悪いのでタクシーで帰ります。電気の量販店も郊外にあるので不便です。大きい店はその店まで行っても店の中があまりにも広くてコンパクトにすぐ必要なものが手に入るのが良いです。

◆要望

年齢	性別	地区	回答
50歳代	女	弘前	本題とは関係ないが、土手町・中土手から向こうへ渡るとき、冬は雪が積み上げられ郵便局方向からの車が見えないので、危険信号の具合で年配者は一回渡れない。下土手町に書店みたいのがあれば免許が無い私でも便利かな。

60～74 歳	男	相馬	当団地で自治会では冬季の除雪を当番制(一週間交替)で行っておりますが一人暮らしの高齢者でガン予告されたものには重労働です。70 歳以上免除とかの行政からの指導してもらえないでしょうか。
60～74 歳	女	弘前	・市長さんは歩きの通勤で、市民の声を聞いて欲しい ・どしどし弘前を TV コマーシャルに出してアピールして欲しい
60～74 歳	女	弘前	体調が悪くて買い物に行けない時等、代わりに買い物をしてくれると助かります。そういう時はどこに連絡すればやってくれるのでしょうか？情報が欲しいです。
60～74 歳	女	相馬	ペット等を買っている家等は隣近所の迷惑になることに気を配って欲しいものだと思います。夜中でも時間構わず吠えるのでノイローゼになりそうです。

◆アンケート

年 齢	性別	地区	回 答
40 歳代	女		やさしい街「ひろさき」が抽象的過ぎて、答えづらい。ホテルに勤務していますが、もっと現地に足を運んで行動を起こすべきではないでしょうか。アンケートの意見が分らない費用対効果を考えて市は活動して欲しい。
50 歳代	男	相馬	12 月末に郵送されてきたアンケートを 11 月 28 日(月)までには速達でも間に合いません。おかしいのでは？
50 歳代	女	弘前	やさしい町(ひろさき)という意味が分からない。やさしい町というのが抽象的すぎる。
60～74 歳	女	弘前	こんな難しい質問はもっと頭の良い人にしてください。私は何が何だかわからなくなってしまうます。

◆活気、楽しい

年 齢	性別	地区	回 答
40 歳代	男	岩木	若者が活気ある街。
50 歳代	女	弘前	活気の無い、おとなしい街だけに、活性化ある、弘前街づくりを考え、今現在弘前さくらまつり、花火大会まつり、秋まつり(菊人形)、冬雪まつり、それ以外の市営の施設の活用、一般、企業の公開ツアー、弘前運動公園、(野球場、室内ドーム、テニスコート、グラウンド)、その他の各施設を常にフル活用をしてもらうための企画をと思います。(弘前街づくり活性化へ)住み良き楽しい日々、生きがいのある市民づくりのために企画。
60～74 歳	男	弘前	散歩して楽しい景観に出会える街。(すれ違う人々にも)
60～74 歳	男	相馬	児童、生徒が勉強含め学校、地域について楽しいと見える社会。

◆農業

年 齢	性別	地区	回 答
50 歳代	男	弘前	りんごと米を中心とした農業の街
60～74 歳	男	岩木	旧岩木、相馬などの農村地帯を活性化することにあると思います。

◆健康

年 齢	性別	地区	回 答
50 歳代	男	弘前	これからは、各自が自分の健康づくりを進める必要あり。そのために行政の支援、例えば場や時間等の提供を積極的に進めてほしい。それも各ライフステージに対応できる支援を(高齢者対応が多い、普段働いている人には時間、場所が適当か考えてほしい。
60～74 歳	男	弘前	ヒロサキアップルスマイル体操:幸せな家庭、健康な家庭を作るためには、ラジオ体操であると思います。各家庭で朝 6 時 30 分には体操、そして一日が始まる事がやさしい街づくりの一步であり、そうして小公園を利用し、土日曜日に集まり、更に年に2回市民全員の参加(市民の健康体操がやさしさと触れ合いの街となるとと思います。そして市民、スポーツ大会へつなげたい。)

Q7 やさしい街「ひろさき」づくりについての、お考えやご意見があればご自由にお書きください。

視点	主旨	回答数
安全・安心	まちづくり理念・方向性・考え方(安全・安心)	5
	防犯・防災	5
利便性	道路・駐車場	17
	除排雪	13
	交通マナー	12
	公共交通	4
	まちづくり理念・方向性・考え方(利便性)	3
快適性	施設	12
	景観・美化	11
	自然・公園	6
	まちづくり理念・方向性・考え方(快適性)	3
協働・参画	交流・コミュニケーション	10
	市民参画	8
	情報	4
	まちづくり理念・方向性・考え方(協働・参画)	1
その他	行政	24
	まちづくり理念・方向性・考え方(その他)	18
	観光・もてなし	15
	要望	12
	商店街、商店	10
	仕事	8
	アンケート	8
	町の印象・感想	7
	その他	7
	イベント	5
	教育	5
	福祉・医療	4
		総回答数

【安全・安心】

◆まちづくり理念・方向性・考え方(安全・安心)

年齢	性別	回答
40歳代	女	物質的にはとても豊かでも、狂気じみたこの社会でやさしい街づくりと言ってもなかなか厳しい。因みに、3月11日の東北大地震と原発事故は起こるべきして起きたことです。あの悲惨な映像から学ぶ意味は大きい。
40歳代	女	一人、ひとりが基本的な生活習慣を身につけてさえいれば、とてもやさしい街になっていくと思います。
60～74歳	男	今日の3.11の大震災の教訓を生かしたまちづくりの再来も必要ではないか
60～74歳	男	一人一人が他人を思って協力していかなければ、やさしい街にはならないと思います。
60～74歳	男	やはり若者たちが弘前に住み続けるための働く場と、子育てが安心してできる「ひろさき」になるよう、皆で取り組んでいきたいです。

◆防犯・防災

年齢	性別	回答
50歳代	男	防災訓練することによる安心感の醸成
50歳代	女	関連があるかどうか分かりませんが、別紙の通り災害情報について、市教委主体となつてのメール配信を考えていったらいかがでしょうか。各学校単独では経費等の面で二の足を踏むこととなってしまいます。さらに、災害時の避難場所指定になっていても、物資(食糧、毛布等)の備蓄がなされていないことに…。いざという時のためにも、早急に対策がとられることを祈ります。勿論一度に全てとは行きませんから少しずつでも。
60～74歳	男	災害の無い町にしたいです。※目が不自由なためこれ以上書けません
60～74歳	女	茜橋から一町田にかけて外灯がなく通学時学生たちが危ない、暗すぎます。何かあつてからではだめだと思います。早目に外灯をつけてください。外灯つけあい何かあつたら市の責任にします。
60～74歳	女	幸いにも近くにいらっしゃる方々は優しい方が多く、弘前の街並みにふさわしく、静かで思いやりがあり充実しておりますが、比較的近場の郵便局、コンビニ等の犯罪があるため、心痛み恐ろしく思います。せめて犯罪の少ない弘前をお願いします。心より。

【利便性】

◆道路・駐車場

年齢	性別	回答
30歳代	女	ルネス街の駐車場が無料になったように、駅前も無料にしてほしい。せっかくマルシェがあつても、駐車場が有料だったりすると、損をした気分になる。「やさしい街」とは違うかもしれないが、街の人通りを増やすために思い切った試みは必要。
30歳代	女	道路を車で走っているときに見える岩木山。ねぷた祭り。電線が景観のじゃまをしている気がする。
30歳代	女	子どもを産んで初めて気が付いたのが「弘前はこんなにもベビーカーで歩きにくい所だったのか」ということでした。一人で歩くには段差も道幅も気になりませんが、ベビーカーだと大変です。ということは、お年寄りの方や障がい者の方にとってもそうでないでしょうか。是非、歩きたい街「ひろさき」にしていきたいと思ひます。
30歳代	女	弘前駅の駐車場が少なすぎる。金額も安くない！！
40歳代	男	道路整備をもっと早く進めて、移動しやすくしてほしい
40歳代	男	学生や子供の為にも、自転車道の整備をお願いします。車道を走っていると、車にクラクションをならされています。
40歳代	女	市全体、道が狭く車椅子などが通れるような歩道が少ないので、広い歩道の確保が将来的に出来れば…とと思っています。子供の通学路もせまく危険な所が多いので、広い歩道があれば子どもも高齢者・障がい者の事故がなくなるのでは…
50歳代	男	公園と土手町を結ぶラインの充実。
50歳代	男	今の車社会を考え道路整備等が必要と思ひます。いくら良い設備等があつてもそれにいたる道がなければ良い町、市とはいえないと思ひます。
50歳代	男	やさしい街というより安全な街のため、早速やってほしいこと。 ・自動車道に面した通りで、樹木が敷地からはみ出し、道路を狭くしている。ひどいのは白線からもはみ出し、電線を覆い隠したり、頭上にかぶさる所(果実がなっている所)もある。(冬は特に危ない) ・条例などを設けて、ちょっとは強制的にでも実行してもらいたい。

50歳代	女	弘前駅から公園までのルート桜まつり期間どこも渋滞ルート・駐車場案内を正確に！中央通り駅から公園方向のバス路線を含む4車線がもったいない。
60～74歳	男	自転車利用者のための整備(道路)を進めてほしい
60～74歳	男	祭りの多い弘前には、駐車場、宿泊施設、狭い道路を早く拡大することだと思っております。保健センターから(一直線)弘前公園
60～74歳	女	私の住んでいるのは御幸町です。昔からですが、新しく道路が出来てからでも国立病院がわからなくて聞く人があります。迷い道のような道路なので仕方ないと思いますが、看板があったらと思います。
60～74歳	女	県外からの訪問に祭りに来ても、近くに無料駐車場がなく困った話を聞くので公園の近くに広い駐車場があればいいのにと常に思っております。
60～74歳	女	自転車に乗っていますので車道の端は除雪の鉄板？が滑るし、蓋が開いて雪で分からない所やビニール(米袋)などを挟んでいる所もあって滑ります。
	女	・岩木川にかかる富士見橋、城北大橋(特に)自転車道、歩道狭いです。 ・市の財政が苦しくとも冬場の除雪融雪剤の散布は減らさないでください。女性も子育て、介護、仕事等で結構自動車を運転することが多いので、ドライバーにもやさしい街であってください。

◆除排雪

年齢	性別	回答
30歳代	男	冬の除雪をもっと車が安全に通れるようにきちんとして欲しいです。雑に感じられる事もあります。
40歳代	男	流雪溝の整備を推進してもらいたい。雪の捨場がない。そのため、隔雪機の導入が必要となる。隔雪機の運転によるエネルギーの消費、CO2の発生が伴う。自然の水を利用し、雪を溶かすことで、弘前市全体のCO2発生、各過程の負担軽減につながる。除雪費の低減にもつながる。
40歳代	女	除雪していただきありがたいのですが、車の動きがうるさいのです。朝早く除雪して下さるのですが、早朝の除雪車の煩さで健康を害する人もいると思うのですが、ハイテクでどうにかありませんか。予算も有るでしょうけれども。
40歳代	女	毎年のことですが、除雪だけでなく排雪もきちんと行ってください。業者がきちんと行っているのかを確認してください。通学、通勤で道路を歩く人は危険だと思います。歩道が整備されれば、安全面も確保され、住みよい街になると思います。冬の自転車(雪道)は危険ですので取締りをしてください。事故のもとだと思います。
50歳代	男	除雪を含めた冬場の道路整備についてももっとしっかりと行ってもらいたい。
50歳代	女	私は生まれも育ったのも弘前なので、やはり弘前は大好きです。弘前が子供を大切に育て、心豊かな大人を育むよう願っております。また、人が住みやすい街であるよう、願うばかりです。今、思いつくことは、やはり、冬の除雪が市民にとって苦にならないよう、力を入れていただきたいです。
50歳代	女	冬期間の除排雪がとても粗末だと思う。(事故、デコボコ、道幅が狭くなる事、等々)
50歳代	女	除雪、排雪をこまめにやって欲しい。
60～74歳	男	これから雪と戦いです。除雪車に対する、予算については税金が高くなっても、市民は理解すると思いますので、最重要事項にしてください。今までのやり方では、市民は満足しません。朝、かたい雪がかたまりで入口に山積みになっている状況の改善を望む。隔雪機もまだ成されていない。
60～74歳	男	一番ひろさきづくりで大事だと思うのは、予算を一番に除排雪を徹底してもらいたい。
60～74歳	男	冬の除雪だけでなく、排雪を早めにしてもらって見通しの良い道路を確保して安全な町にしてもらいたい。
60～74歳	女	冬の車道ですが、大通りのバス路線であり歩道がなくて子どもの通学路なのですごく心配です。家では融雪機で道路の雪を溶かしています。近所の方も皆協力的に雪かきをしています。桔梗野郵便局の大通り→青銀方面ではデコボコ道になり、バスもまるで横転しそうな位大変でした(昨冬)。スレ違うのにも片側の車が待ってくれています。(巡回お願いします)
60～74歳	女	雪が積もると歩道が無くなるので歩くのが危ない。なるだけ広めに雪を片付けてほしい。

◆交通マナー

年齢	性別	回答
30歳代	男	自動車の消音器(マフラー)による騒音が酷く、市民生活を脅かす一因になっています。道交法上では合法であっても、住宅街でそのような騒音を出されると付近の住民は皆、不快になり、暴走族による騒音運転と何ら変わりません。特に夜間にマフラーによる騒音を出されると眠れなくなります。できれば、マフラーを装着しての走行は弘前市では「禁止」にしてほしいと思います。法令等で制定していただければ有難いです。警察における苦情でも、市内では最近マフラーによる騒音苦情は管理が多くなっています。対処を願っています。
30歳代	女	子供達が安全安心して通行できる道路環境や高齢になってからも生活に困らないような交通手段の確保を望みます。
30歳代	女	最近、土手町を逆走している車を夜に見ることがあります。交通ルールを守らない人が悪いのですが、表示が見えにくい等は警察へ。ということかもしれないが、他県・地域の人にも運転しやすいよう工夫が必要ではないか。小さな道の逆走も危険だが、交通量の多い場も逆走しているというのは問題ではないだろうか。道路標示が少ないと県外の人々によく言われるので、こまかい道路が多い弘前、こまかく標示が必要と思う。
40歳代	男	・自転車の交通マナーとりしまり強化 ・大成小前の横断歩道の安全を早急に確保してください。いつ事故が起きても不思議じゃないくらい危ない。くれぐれもよろしくお願いします。自転車が走ってもいいという歩道と駄目な歩道の周知徹底。
40歳代	男	土手町の一方通行解除。
40歳代	女	タクシー数が非常に多い。あふれ過ぎです。マナーも悪く、市内をだらだら流して客を探すのはどうかと。態度が悪いし、正直利用したいと思わない。流しをやめて何台かの駐車スポットを作って(広い所に)案内も分かりやすくして、気軽に乗れるように工夫したらいいと思います。(佐賀県の唐津市はそうでした。)燃料も垂れ流しでecoじゃありません。交通マナーをもっと良くしましょう!! マナーの悪さワースト1から脱出しましょう!!
50歳代	女	・バスは信号が赤でも平気で走行している。 ・自転車は横断歩道を全速で走り、右も左もなく通行している。
50歳代	女	道路が狭くて、車の交通量が激しい所は、道路を広くして車道、歩道とそれに自転車道をつくって自転車が車道を走らないように指導してほしい。
50歳代	女	テーマに合っていないかもしれませんが、教育の方から学生の自転車の乗り方について、学校の方へ指導するようなんとかしてほしい。マナーの悪い学生が多く、車の運転が危ないです。
60～74歳	男	車両運転手、自転車、歩行者が一体となれる行政の指導、および警察との連携を密にして、市民全般の呼びかけをよろしくお願いします。
60～74歳	男	交通マナーが悪い。特に赤信号での交差点内通過(女性ドライバーが目立つ)
60～74歳	男	交通安全な街(毎日道路に居り推進する、夜は飲食街の駐車場をめぐる)

◆公共交通

年齢	性別	回答
30歳代	女	子供達が安全安心して通行できる道路環境や高齢になってからも生活に困らないような交通手段の確保を望みます。
50歳代	女	高齢者(老眼)が増えている昨今、バス停の時刻表の文字をもっと見やすくしてほしい。
60～74歳	女	薬師堂にバスが走っていないんです。本当に出かけるのに不便で困っているので、小さいバスでもいいので運行させてほしいです。
60～74歳	女	一番不便に思う事は買物に出ることです。夏は自転車で岩木の中心地まで行きますが、冬は大変です。今は娘がいて車生活が出来ますが、娘がいなくてどうなることでしょうか? せめて、岩木中心まで 100 円バスとかあれば便利だと思います。急便でも…。高齢者の為にも…。

◆まちづくり理念・方向性・考え方(利便性)

年齢	性別	回答
60～74歳	男	1. 歩行が楽しくなる街 2. 人優先、車はその次 3. やさしい街のコンセプトは「人」から始まる
60～74歳	男	・子供やお年寄りが安心して暮らせる町 ・交通事故がなく、子供が安心して道を歩くことが出来る街

60～74 歳	男	最も厳しい条件下(青森県は冬期間)であっても、都市生活を営む上で必要最低限の環境は保持すべきである。[例えば、車道を除雪した氷の固まりを、なぜ沿道住民が片付けなければならないのか。(肉体的に限界である)]基本的な最低限の事を確実に処置した後、初めて「やさしい街づくり」の一步を踏み出せるのではないか。
---------	---	--

【快適性】

◆施設

年 齢	性別	回 答
30 歳代	女	「シルバー人材センター」の拡充を。福井県敦賀の友人は子ども 4 人。「シルバー人材センター」の方々に家事援助(草むしり等)をしてもらい、とても有り難いと言っていました。
50 歳代	男	無料で自由に使える老人用施設の充実
50 歳代	男	弘前にお金が入ってくるような企業、一年中観光客が来るような施設・遊園地・動物園
50 歳代	男	登録制として大学生を募集し、高齢社宅の草むしり、雪投げ等を実施してもらおう。ヤングセンターの設立をしてはどうか?(シルバーセンターのヤング版、基金と使用料の徴収でバイト代も払ってみては?)
50 歳代	男	建物利用について社会保険機構、ハローワーク、県の合同庁舎機能を入れてはと思う。バス等の利用者が非常に使いやすい場所である。
50 歳代	女	若者がもっと街ブラできるような施設がほしい。
50 歳代	女	図書館について、別な場所に移動してもいいかなど。駅近くが理想です。今の観光館をもっと広く、駐車場も市役所と一緒に利用できるようにすればベストなのではないでしょうか。さくら館、りんご館、お城館をもっと観光地としての弘前を楽しめる施設にして工夫が必要かなと思います。例えば、りんごバス、さくらバスとか子どもが書いたぐじゃぐちゃなバスよりよっぽど景観が素敵になると思います。
60～74 歳	男	城西大橋の下の「市民ゴルフ場」は大人がプレイするには小規模なので子供向けに「遊戯場」にしたほうが皆さんに喜んでいただけたと思います。
60～74 歳	男	海のない弘前で釣りの出来る場所が非常に少ない。岩木山は入漁料を払わないと自由に釣りも出来ず、ため池はブラックバスやブルーギル釣りの人たちの為、静かに釣りの出来るところが皆無に近いので、できれば、ヘラ釣りや日本の淡水魚の釣り堀を市営で造ってもらおうと有難いと思います。(有料ですが)
60～74 歳	男	市民にも他県の方々にもやさしい街であるには余計な(公・市)施設はいらないと思います。
60～74 歳	男	城下町弘前は学都の街として知られておりますが、最近では学生人数も減少の方向に見受けられる。学生たちの集合マンションとか住みよい環境をつくれればよいと思う。
60～74 歳	女	Q6 の答えに含まれている?個人的に目下気にしていることは、県の農林水産事業部(元警察署跡地)のところに保健所やその他の部署が入る建物の建設の噂を耳にしています。目下冬場の日照が妨げられているものがエスカレートして年中それが行われるのではないかという事です。弘前公園の近くという事、又上記の日照という点からも高い建物は建てないで頂きたいと切に願っています。

◆景観・美化

年 齢	性別	回 答
16～29 歳	女	カラス多すぎ。市役所の近くに社会保険事務所と法務局があるとよい。
30 歳代	女	犬を飼っている人が多いにもかかわらず、どの公園にも「犬を連れて入るな」と書いてありますが、今はもう、フンの処理をしない人がそんなにいますか? 放置する人は出入り禁止にすれば良いと思いますが、ちゃんと処理する人まで閉め出すなんて市の怠慢ではないでしょうか? 犬より、花見シーズンの人間の方がよほどゴミを放置したり吐いたり、犬よりよほど公園を汚していると思います。
40 歳代	女	カラス! どうにかならないものでしょうか? 公園も大問題ですが、郡部でもごみ収集所にはたくさん集まってきます。
60～74 歳	男	美的に統一感のある街並み作りをする。道路等にしっかりした良い材料を使い時間が経つに従い風格の出る、インフラ整備をお願いする。
60～74 歳	男	タバコの吸殻、ゴミのポイ捨てのない街。そのためには行政処分などの必要もあると思う。
60～74 歳	男	駅から出たら岩木山が見られるように
60～74 歳	男	美化運動(道路等に何一つないゴミ、捨てたら罰則をつくる)
60～74 歳	男	市道、農道又田畑屋敷など人に迷惑している大木などが多くあります。高齢化で伐採出来ない人も多くいます。又伐採できる人もいなく、できれば市の方で伐採して燃料にするようすすめれば明るくきれいな街になると思います。

60～74歳	女	ごみに群がるカラスが多い他県では対策がもっと進んでいる。
60～74歳	女	きれいな街はきれいな心を育てるをモットーに、私はゴミを拾って歩いています。が、もうどこにでもいっぱいです。ゴミ置場も回収車の後掃除していますが、決められた物以外のゴミが多く、辟易しています。でも、誰かがやらないと街はきれいにはなりません。子供たちにきれいな街は、きれいな心、優しい心の表れであることを伝えたいのです。
60～74歳	女	昔はどこからでも見えた岩木山。特に弘前駅が真正面に。道路は広くてまっすぐにありました。城下町特有のまるで迷宮のような裏道や小路。今でも思い出しながら捜して歩いています。あちこちにまだ残っているんですよ。大切にしてください。

◆自然・公園

年齢	性別	回答
30歳代	女	今のままでは、社会的弱者が住みにくい街だと思います。小さな子供は少子化で遊ぶ機会が少ないうえに、公園や外で安心して遊べる体制がなければ、どんどん家の中でゲームをして遊ぶことが多くなります。子供の健やかな成長の為に、ちゃんと体制が整った状態で遊ぶことの出来る機会(企画)を作ってほしいです。
30歳代	女	子どもがまだ小さいのですが、自由に遊ばせる場所が少ないように感じます。未就学児が気軽に使用できる施設(雨や雪でも)があるととても嬉しいです。(できればある程度広さがあり、遊具やおもちゃもある)それとあわせて、公園や遊びスペースの案内マップのようなものがあると、私のような県外から来た人にとっては助かると思います。
50歳代	女	犬を連れて入れる公園ドックランがほしいです！
50歳代	女	孫を連れて禅林街を散歩した時、トイレをもよおした孫を連れて寺まで走りました。それで疲れてしまい、結局散歩は中途半端に終わりました。禅林街は市の誇る観光地です。トイレの設置をお願いします。
60～74歳	男	南の山々をどうにかする人達の勢いが必要に感じられます。
60～74歳	女	夏と秋と二回、さかせる北大通りのラベンダー作りに関して、いつも関係者の皆様には頭が下がります。距離を2キロメートルにも及び、毎年楽しみに見ている者です。ほんとにありがとうございます。ラベンダーの刈り取り作業は危ういので気をつけていただきたいです。それと近年、小公園の木に虫がよく付くようですが、これから伸びる木をいとも簡単に切ってしまったら、剪定していただきたい木が伸び放題とは、これも気になっています。(浜の町東四丁目)

◆まちづくり理念・方向性・考え方(快適性)

年齢	性別	回答
30歳代	男	市の中心部ではなく、それ以外の地区でも整備が悪いと思われる。そこをなんとかしてもらいたい。
50歳代	女	これからのひろさきは、老人社会に突入していくと思います。全て、バリアフリーで、安全な街で、子供たち・大人達の接し方が、将来をともに助け合い上手に譲り合い、平和で豊かな街づくりに繋がると思います。私事ですが、以前に比べて、収入が半減しているのにだんだん税金が上がる、これじゃ困ります。なんとかしなくては？活気ある町を目指して、、、そう思っても現実には厳しい世の中です。
50歳代	女	「やさしい」イメージは、小児・高齢者に対しての「環境にやさしい」という風に思えるので、是非言葉だけでなく1つでも実現して欲しい。

【協働・参画】

◆交流・コミュニケーション

年齢	性別	回答
30歳代	女	自分の住む泉野地区は、新しい住宅街なのでつながりが希薄だと思う。松原や安原のように町内の集会をつくり、老人が集まる場所をつくり、そこでいろいろなセミナーやサークル活動ができればいいと思う。
40歳代	男	イベント的な様々な交流が多くなってきて活気が出てきた感があります。今後は、年に1、2回の形式的交流や小中学生と老人の方々などの極端な世代間交流をすすめるのではなく、日常的な異業種交流(民間+公)や連続した世代間交流をすすめ、このようなアンケートで得られる実態把握以上の「切実な意見」が集約できる仕掛けを市がリードしてください。頑張ってください！
40歳代	女	まずはご近所づきあいから、町会・地域・全体とふれあいと活気のある弘前市になればいいと思っています。
40歳代	女	古い文化をもっと前面に、子ども達と老人との交流、老人の話を、昔の話を聞かせる機会を多く。

60～74歳	男	町内会の交流が乏しくなっていることに対抗する対策
60～74歳	女	人と人との和が必要であると思います。隣近所はだんだんと若い人たちが増えてきていますが、殆ど顔を会わず機会が少ない。全然顔を会わすことさえ、これもまた車の時代になっているためと思われます。昔、電車で病院とか学校へ通ったときは、本当に朝晩の挨拶、本当にあの時が懐かしく思われます。人と人のつながりが無くなっていることが悲しいです。
60～74歳	女	隣近所のお付き合いが上手くいっていると、自然と人や物などに優しくなれると思う。何でも自分にあてはめると良いような気がします。
60～74歳	女	高齢化が進み一人暮らしや老人家庭が増えるので年寄りが気軽に集まれる場所があるといい。参画センター、文化センターは共に有料です。大変難しい問題がたくさんあるので、現実には困難でしょう。まとめ役をする人とか、参加する方も冬は特に出不精になりますし、普段交流の少ない集合住宅はまとまりにくいと思います。何か事があるときは、互いに声を掛け合いたいものです。
60～74歳	女	出来れば土日はマイカーはお休みにして、バスか電車で家族で街に出てお昼を食べたり、公園でお弁当を食べたり、そのために家族で使える家族パス(定期)があったら街中に皆が集まって来れるように。そうすると空店舗を少なくして街の活力が出来るといいですね。
	男	周りの人達に良い意味の関心を持つこと。無関心の都会から移転しましたので特にそう思います。老夫婦なので、できるだけ健康でおだやかに過ごしたい。

◆市民参画

年齢	性別	回答
50歳代	男	MM等で知恵を出し合う機会を作る
50歳代	男	具体的なプランを出して議論した方が良い。例)道路や歩道のプランをCD等で見せる
50歳代	女	やさしい街のコンセプトがよく分からないので、障がい者の方々、身体的・精神的な問題を抱える方々からも直接ご意見を伺い、参考にしてもらえたいことを希望いたします。ごころさまです。
50歳代	女	人々の困っていることに耳を傾けて、問題解決のための話し合いを持つ機会を公共的に公開して進めるとよいと思います。市民は街づくりには関心があると思うので、興味のある人が参加しやすい機会を与えて下さることを希望します。
60～74歳	男	行政の目でなく、一般市民、一般観光客の目線で進めて欲しい。特に、学識経験者の学問意見ではなく、一般の伝統を中心とした身近な意見を取り入れて！
60～74歳	男	行政の見方、考え方だけではなく、更に広く企業や団体を通じて個人の見方、考え方をもっと参考にした町づくりを！
60～74歳	女	地域住民が協力しやすい環境。そのためには、行政のリーダーシップが不可欠。
60～74歳	女	行政だけに求めるのではなく、住民もまた自分にできる範囲内で協力していかなければと思います。

◆情報

年齢	性別	回答
40歳代	女	私を含め、年代によって自分の生活でいっぱい行動がともなわず市政への協力はできていませんが、先立つ方々(市職員)の導きとお力添えで、歴史ある弘前市とりんご、米をもっとアピールしてください。たか丸くんは大好きです。
50歳代	女	アパート生活ですが、目の前に流雪溝があり使用してよいのか、無料か有料か分からなく、見ただけでその辺の説明が欲しいです。業者からの説明もなく、広報誌みたいなものがあると分かるのかなあと思います。
60～74歳	男	市では色々取り組まれている様ですが、こちらの方で積極的に情報を得ていないので、市の活動に無知でした。新聞で見て、後から「こういう事をやっていたのか・・・」と知る事も多いです。広報というより、民間のチラシの様に、イベント等何か活動がある前に興味を引くような広告を配布すればいいのでは？(広報以外にという事です)
60～74歳	女	市や近辺の行事などの情報は広報ひろさきを見て大体は得られます。ただ、詳しくはホームページでというのを見かけます。パソコンはできないのできめ細かく発信してくれることを望みます。

◆まちづくり理念・方向性・考え方(協働・参画)

年齢	性別	回答
60～74歳	女	両親、学校の先生方が、日常生活を送るのに必要な事等、子ども達に教え、小さい事でも困っている事があったら助け合うという気持ちを育ててもらえればなと思います。

【その他】

◆行政

年 齢	性別	回 答
16～29 歳	女	市役所職員の対応の改善、意識改革からだと思います。つくっていかうとしている側の変化、改善がなければ、つくっていけないと思うし、市民の協力もないと思います。
30 歳代	女	最近子ども向けのイベントや支援など、弘前でやってくれているな～と思います。しかし、職場の環境が整っていないと生活していく事はとても不安です。市で職場での少子化の為の対策に介入していただく事って出来ないものではないでしょうか？私は今3歳の子を持つ会社員ですが、働きながら育てることはなかなか難しく、2人目、3人目をあきらめている方も多いと思います。
30 歳代	女	お城と桜と岩木山がメインの城下町。観光客向けだけではなく、市民1人1人への対応にも丁寧であってほしい。
30 歳代	女	このアンケートは、ハード面に関する項目(質問)が多いですが、そこにお金を使うようなら教育、医療にお金をかけて欲しい。弘前市立病院のように、市民の税金を繰り入れしながら大幅に赤字を出しているのは許せません。弘前市立病院勤務の看護師、事務の給与をもっと下げるべき。もっと真剣になって病院の経営を行い医療提供に励んで欲しい。
30 歳代	女	環境はもちろんですが、公共施設などの職員の対応も大切だと思います。気軽に何でも聞けると良いと思います。
40 歳代	男	市役所にエアコンを入れてください。夏は暑くていけない。市民への嫌がらせとしか思えない
40 歳代	男	防犯、老人に対する支援を市として積極的に取り組んで欲しい。
40 歳代	女	私の母が市役所に用事で出かけたときに、窓口で面倒くさそうに対応してくれたそうです。それ以来、用事は自分では行かず、誰かに頼んでいました。市の窓口って弘前にとって、大事じゃないですか？まずは、その対応から始まると思います。
50 歳代	男	何度も書きましたが、健康づくりのために活用できる弘前市運動公園の在り方を一考していただきたい。開園の時間を皆さんは知っていますか。朝 5:00 頃歩いています。運動公園は開いているのに真っ暗です。堰に落ちたり、くさりに引っかかりころんだり防犯にも危険です。朝歩くことでしか健康づくりをすることが出来ない市民の事を考えてください。テニス、野球、ラグビー、サッカーではあんなに照明を使っているのに、外灯(朝少しの時間)をつけられないのはどうしてですか。疑問です。市職員の皆さん、体験してください！
50 歳代	男	市民ひとり一人が差別や偏見をなくし、安心して暮らす為にはどうしたらいいのか？意識の向上が必要と思いますが、そのために、市としてどう対応、情報公開していくのかももっと考えてほしいと思います。若い通勤族の方々は、住みやすいと言ってくれますが高齢者、特に年金生活者には、年々住みにくくなっています。生活保護者の方のほうはまだ優遇されている面が多いと思います。生活保護者への支援は現状でよいのでしょうか？
50 歳代	女	税金の無駄遣い！一例、農道又は開拓した人物の石碑、何の為に名前を残すのか。
50 歳代	女	テーマとは違うと思いますが(公共)市役所の土日の一部時間帯の就業、終了の時間帯(時差出勤とか)を遅くしてほしい。どのような職業の人でも。自由にいける時間帯を設けてほしい。 燃やせるゴミは緑色の半透明のゴミ袋利用になっていますがカラスにつつかれるので、常に新聞紙やチラシでおおっています。中が見えるように、危険なものチェックで半透明なのは分りますが、全然中身が見えない状態で最近は捨てています。もっとも良い改善方法をお願いします。
50 歳代	女	公共施設における職員の対応は改善の余地があるのでは？
50 歳代	女	家族に精神障害者がいます。どの様な支援があるのか、困ったときの相談窓口などの情報がなく、大変な思いをしました。管轄が違っても関連した情報があつたら教えてもらえたら助かります。
50 歳代	女	今、若い夫婦が住居を選ぶ地は公共料金が安く(その他も安くなる)バイパスに出やすいところと聞きます(平川市等)。これでは弘前は悪循環！！また道路を見ても藤崎の町は、本道から1本入った細い道でも雪が積まれていることもなく、通りやすいのに弘前は通行量が多いところでも、うず高く積まれ、崩れて狭く、溶けるとがちゃめき！！一番悪いと言われたこともあります。税金等は高いのにどういことでしょうか。人件費をもっと削減して、住民が安心して生活できるよう、若者が弘前に残れるよう、行政には真剣に取り組んで欲しいです。これからまた恐怖の冬がやってきます。
50 歳代	女	市役所も親切になった。
50 歳代	女	やさしい街「ひろさき」は大変良い事だと思います。しかし、今の市の職員の方の中で、ど

		れ位の方がやさしい街「ひろさき」を考えて仕事をしているのか？きっと担当の方以外、誰も考えていないと市役所へ行って思います。市民参加のまちづくりとは思いますが、今の市役所職員は上から目線に対応していて全然やさしくない。又、頭が良いのに職員になると勉強もせず「市役所職員」という座布団に胡坐をかいている職員ばかり。
50歳代	女	近隣市町村より税金が高く、やさしさをあまり感じない。
60～74歳	男	市は計画策定にあたって、机上での空論ではなく具体的な行動が必要と思う。そのためには市職員は他力本願ではなく、率先した行動が特に必要。
60～74歳	男	上からの目線に行政を終える時代。時代の変化に市役所が気づいていない。
60～74歳	女	市民は自助努力を心がけ、本当に困ったときには援助の手をさしのべてくれるという安心感が欲しい。多くの市民が収入も減り、生活が苦しくなっているのだから公務員の給与は20%位は減らしても良い。それでも多いと思う。
60～74歳	女	市役所女子トイレですが、昼に女性職員が歯磨きをしていてすごく狭く感じました。
60～74歳	女	市職員が机上だけの仕事ではなく、もっと市民と向かい合って欲しい。何かあった時、他の事業者に任せる前に確認に出向いて欲しいです。やさしい街「ひろさき」づくりなのでから仏頂面ではなく、笑顔で市民とコミュニケーションをとるべきです(電話での対応も含む)。
60～74歳	女	弘前市と合併後はますます僻地化して不安を感じます。財源が苦しい割に花火大会とか行われてとても無駄と思います。空に金を撒いているようなことはしないでください。大鰐町の様になっては困ります。

◆まちづくり理念・方向性・考え方(その他)

年齢	性別	回答
30歳代	男	弘前の地域性や、弘前の歴史、文化、風土をもっと感じられるような雰囲気作りがほしい。ただ、それがうるさく感じられるといけない。地域の警察関係はあまり地域活動に積極的では無い。町会や団体との警察は強調する態度が、行政や学校とくらべて極度にない。
30歳代	男	地球環境にやさしい街にしよう
30歳代	女	何事に対してもオープンな方向性が必要なのではないか。
40歳代	男	弘前はリンゴの街、リンゴ農家の潤いなくしてやさしい街づくりはないと思う。
50歳代	男	まず「農」を基本にした、上記で述べた4つの街づくりをすべきと考えよ！
50歳代	女	やさしい街「ひろさき」づくりに必要なものは、市民一人一人が弘前市を良くしようという意識を持つことだと思います。
50歳代	女	おしゃれな街にしたいです。やさしい街かどうかは分かりませんが、弘前のイメージ色を桜の淡いピンク色にして街づくりをするのはどうでしょうか。
60～74歳	男	生活が豊かであれば、人間の心も広くなり、やさしくなると思います。生活にゆとりの出来る弘前にしてください。
60～74歳	男	市民がマニフェストを今回のように市民の部で全国的に注目を浴びる事になったように、この精神でやさしい街づくりに邁進していけばやさしい街「ひろさき」になっていけると確信いたします。
60～74歳	男	中心街だけではなく山間部の人たちのことを考えた街づくり。
60～74歳	男	動物に(猿、カラス)人間生活が取られないように政策をする。
60～74歳	男	もっと良い町作り
60～74歳	男	都市計画の充実と実行。
60～74歳	女	各個人が(1人1人が)人様に迷惑を掛けないとか、心がけで街は良くなっていくと思います。
60～74歳	女	弘前市以外の方がしっとりとした良い街だとよく言われます。観光にしても、見たいところがまとまっているとか言われると弘前人としてうれしいです。新しい事ばかり目を向けず、内容を充実し味の濃い弘前でありたいと思います。まずは、一人一人の意識が大切かなと思います。
60～74歳	女	やさしい街「ひろさき」づくりも大賛成です。でも、今は、元気な街「ひろさき」になって欲しいです。活気のある街「ひろさき」にしたいと思います。
60～74歳	女	ブータンの国王の姿を見て、ある意味で人間の格差の無い社会になってもらいたい

60～74 歳	女	やさしいの前に市民は誇りを持ち語るべき。この地が生んだ素晴らしい人々のこと。この市民の中にも悲しみ苦しみの現地に行った人がいるはず。その人々の生の声をひろさき広報に頁を設け、伝え続けては？ 広報の表紙にも支援の意志表示の言葉が欲しい。又、旅の人にも、所々で立ち止まり、素晴らしい先人(市民にも私の様に知らない人がいる)のことを読んで知る様な立札ごときものが欲しい(出生の地でなくても皆が歩く街中に)。
---------	---	--

◆観光・もてなし

年 齢	性別	回 答
30 歳代	男	函館のような食の活性を目指し、大駐車場を完備した食タウンがあればいいと思う。函館は同じ雪国であるが、弘前とは輝きが格段に上であると思う。
30 歳代	男	今でも十分過ごしやすいと思います。ただ、他の県や市に比べると、観光客の受入に対して我々はもっとオープンになることで、良い街「ひろさき」をアピールすることになると思います。函館市のようにリピーターをつくるのが重要だと思います。住んでいるといい街だと思いますよ、「ひろさき」は。
30 歳代	女	やさしい街の「やさしい」には、市民はもちろんですが、観光客など外からの人にも過ごしやすい街であってほしい。
30 歳代	女	もっと看板や案内板に英語表記があれば、外国の方も観光しやすいと思います。
40 歳代	女	四季毎にお祭りがあり、観光客が多く訪れるすばらしい街だと思います。観光面での意見ではありますが、春、夏だけではなく、市内の観光マップ的なものをもっと公共の店(コンビニやスーパーなど)に置いたら良いと思います。情報をたまたま持っていれば案内も可能ですが、持っていない人もいればそういうものを活用して案内できると思います。他県、他市の方々に喜んでもらえるのでは？
40 歳代	女	観光地ごとに土産品店が少ない。場所ごとにあれば、個性が出るのでは。物産館と違う味が見せられるのでは？
40 歳代	女	ねふた祭りも土手町の電線をなんとかしないと！！目の前で見ていた観光客の人がなかなか進まないねふたを見ながら、「こういう祭りをやってるのだったら最初から電線をなんとかすればよかったのに続けて来ないからあきらむよ」と言っていました。
40 歳代	女	弘前城、さくら、りんご、岩木山等々・・・温泉もアピールの一つだと考えます。弘前の温泉は心も体もリフレッシュでき、これから雪の季節の露天風呂は最高だと思います。他県、都会の方にもNo.1でおすすめ。大学生の方や若い人達にも、もっと温泉に入って欲しいです。
50 歳代	女	観光都市弘前として充実させる。土手町から弘前公園までの間を観光化する。歴史的、趣のある建物などの集結。民芸品を増やす(津軽塗、あけびだけでなく、竹製品:カゴ等、津軽金山焼き、津軽焼き、多種揃え)歩いて一休み出来るカフェなどの設置。
50 歳代	女	アップロード走ること有意義だと思います。
60～74 歳	男	観光(ネプタ、桜まつり、菊と紅葉まつり等)面についてと文化面については大変良いと思う。商工振興の発展が重要。
60～74 歳	男	観光にこられた方々を温かく迎えるスポットを街角に掲示すればよいと思う。
60～74 歳	女	10月20日岩木山へ行ってみました。(料金を払って行きました。)晴天でとても気持ち良かったのですが、上へ行ってみたら店は休日で幕が閉まってて、りんごの弘前でもりんご一つ買えないです。県外ナンバーの人も多く来てました。とてもがっかりしました。リフトに乗らないですぐ帰ってきました。
60～74 歳	女	観光客に親切にしてもらいたい(小樽観光で観光案内人のエリート意識の強さに悲しくなりました)
60～74 歳	女	観光に力を入れてほしい(お寺とか)

◆要望

年 齢	性別	回 答
16～29 歳	女	私の子どもが色弱なので、どうしたらよいか、どんな感じに見えるか等、何からの形で少しでも良いので特集をして欲しいです。小学校で、猿の絵を緑にぬってしまい、同級生に少し言われてしまったので、他の親達にも知ってもらいたいという思いもあります。
30 歳代	女	スーパーに勤めていますが、毎年必ず弘前城さくらまつり期間に公園への行き方を聞かれます。秋田からの人が多いようですが、日本一といっているなら桜まつり期間だけでもアクセス方法の地図など作って各スーパー、コンビニに置いてもらったりしては？うちのスーパーからだ、まず説明がむずかしいです。各スーパーでやればいいのですが、市でも日本一の桜についてもっとアピールすればよいと思う。

40歳代	男	市民の為なのか、観光客向けなのかはっきりしてほしい
50歳代	男	大手企業の誘致
50歳代	女	伝統を守るための出費を惜しまず、継承者を育てるシステムを作って欲しい。神戸では、靴・洋服・家具等の伝統技能を絶やさなため、公立の学校を作り、多くの伝承者が生まれ成功しています。弘前はこぎんと津軽塗りだけでなく、刀物、飴、あけび細工等すばらしい残すべき技があります。
60～74歳	男	高齢のための技術は確立していると思うが、高齢者を精神的、肉体的にどう生かすかの方法の研究を是非必要である。
60～74歳	男	市営団地に住んでいますが、集合住宅の管理人の人格、人間性の調査等なされていないのでは？任期を2、3年サイクルと短くしてほしい。現状のままでは仕方なく行政の指示にしたがっている。住民の絆が生まれてこない。
60～74歳	男	健康(特に高齢者)の為にジョギングやウォーキングをしている人も多くなっていますが、年間を通じてできるようなルートを指定してもらいたい。例：消防署から賀田二丁目十文字までとか、その間は夜でもできるように照明やトイレの設備充実を図る。終点にはステーションを設け、休憩できるようにする。(喫茶店、軽食店)
60～74歳	女	市民農園を利用しているが年間5000円では高いのではないか。2000円～3000円にしたらどうですか。
60～74歳	女	津軽弁は他都道府県は分からないので標準語で接すること
60～74歳	女	転勤族の友人が言っていたのですが、行政や銀行の窓口の人がなまっていたのが衝撃だったそうです。観光客のおもてなし等では風情があっているのですが、転入の説明や子どもの健診時等では内容が分からず戸惑ったそうです。他の土地から来た人には、最低限の配慮は必要だと思います。よろしくお願いします！
60～74歳	女	電話帳で用事のあるところを探した時、〇〇町とあってもその場所が分からないので一戸ずつ全部に配布するのは大変と思いますが、弘前市の町の場所の地図を配布して欲しいです。

◆商店街、商店

年齢	性別	回答
16～29歳	男	建物を解体して、ホテルや駐車場にしたいかがでしょうか。また、別な場所にファッション店などつくり、運営も何か月かおきに店を変える等、変化をもたらせば人は集まると思います。おもちゃ屋がない。大型店舗がない。弘前で遊ぶ所が少ない。デート出来る所もないので、みんな青森市、秋田、八戸、岩手に流れてしまう。(水族館もない)
16～29歳	男	若い人達が活気づけるために、夜遊ぶ所を増やすべき！！風俗法を緩和すべき。
30歳代	女	ショッピングを楽しめる場所が少ない。エルムの街のような幅ひろい年齢層が楽しめる所がありません。
40歳代	男	中心商店街の発展、再生。
40歳代	女	全国チェーンもよいのですが、弘前に根付くような「個性」を持った「お店」を応援していきたいと思います。これが「売りです」といった考えを、もう少し全面に出していてもよいように思います。「ひろさき」自体も「売り」をつくっていけばよいと思います。
60～74歳	女	一般商店の倒産が多い市として対策をして欲しい
60～74歳	女	土手町、本局に行く新しい道路の車の通行量が少ないので、観光客・高齢者の方のために月に一度でも買物ができるように、市民参加型の朝市等をやってほしい。中心部に人が集まるし、土手町近辺に住む人達の買物難民解消にもつながると思います。
60～74歳	女	大型の商店が郊外にあり、買い物ができない人が増えていると思います。土手町や駅前を中心的な役割がない。アーケード街をつくり歩いて買い物を済ませられる場所も必要だと思います。観光客の方にもアーケード街は必要です。
60～74歳	女	シャッターの下がっている店ばかりで、その活用方法、消費者が望む様な方法で商店が出来ると良い。武家屋敷の通りも奈良の方ではそれを利用してそれぞれ乾物、米屋、レストランなど、商売で営業し、無料休憩所や民話などの通りを売りにしている。せっかく公園があるのにその周りに何も無いのはもったいない。公開するだけでは。
60～74歳	女	シャッター通りになっている土手町、淋しい限りです。一過性のイベントも結構ですが、商店街の賑わいも農村部の人々が出かけられるようになること。街の商人だけが市民ではないと思います。(ある作家の言葉になるほどと思いました)

◆仕事

年齢	性別	回答
16～29歳	女	小さい子供がいても働ける環境がもっともっと充実するようになってくれたら嬉しい
30歳代	男	働き先があれば良い
40歳代	女	まともな仕事は歳なのであきらめています、一日でも働くことのできる普段の仕事+アルバイトがあれば良いなあと考えています。とにかく、リーマンショックがあつてから、製造業の人達は給料が半分に減ったままで、お金がありません。地震があつた後で大変なことは十分に承知していますが、アルバイトなど新しい仕事があればと思っています。
50歳代	男	とにかく仕事を増やす、税金を下げる、若い人の仕事がない、年金層が仕事をしている。おかしい!
50歳代	女	小児や高齢者が住みやすく、若者が地元で働ける場所があればもっと活気づく
60～74歳	男	やさしい街とは、自然や人間同士に優しい事をあらゆる面で配慮して実行することだと思います。例えば、ワークシェアリングも良い方法ですが、雇用した全ての社員・職員と臨時のパートタイマー等の自給を出来るだけ、同じ水準に近づける方向にするといった思い切った施策を宣言して実現に向かって行く覚悟も必要かと思う。労働と自給を分け合う。活気ある施策がやがて町会単位の自治会活動にもつながると考えます。弘前で生きていて良かったと思える街づくりの提案です。
60～74歳	女	精神的にゆとりがないと(経済的にも)回りの事とか、他人の事とか考える事がむずかしいと思います。私の息子は、半年以上、失業しております。申し込んでも面接もなく、「残念でした」です。仕事がたくさんある様な市になってほしいです。資格があつても仕事がない状態です。
60～74歳	女	現在何人も定年しても働いている人は、ポラテヤではないでしょうか。お金をかけるなら若者にしてください。

◆アンケート

年齢	性別	回答
16～29歳	男	アンケートに間違いが複数みられる。回答者のやる気をそぐ可能性は否めない。
16～29歳	女	また、アンケート等いくつか答えてきましたが、反映されているのですか?電話対応でトライ回しにされるのはとても不愉快です。
40歳代	男	やさしい街「ひろさき」づくりそのものがわからない。様々な年代により、考え、意見は異なるため、その考え。意見の集約のためのアンケートであると思いますが、住居・生活により、考えも意見も異なると思います。突然、このようなアンケートを送付されて、戸惑いが隠せません。
50歳代	女	このようなアンケートはとても良い事だと思います。市民の声を反映できて良いと思います。市民も市の職員も一丸となって目的意識を持つことが出来れば、「ひろさき」の発展が期待できると考えます。
50歳代	女	集計結果はホームページでと書いてあるがこのアンケートを書いた人が全員パソコンを持っているのでしょうか?全くやさしい街づくりのアンケートとは思われない。
60～74歳	女	アンケートの質問がとてもわかりづらい。
60～74歳	女	この様なアンケートを実施するに当たり、そもそも、私の郵便番号が間違っていました。正しいお仕事をなさる様に切に希望いたします。アルバイトの人がやりました等の理由は通用しません。
60～74歳	女	自分自身ももっと弘前に関心を寄せるべきと再認識させられるアンケートでした。

◆町の印象・感想

年齢	性別	回答
16～29歳	女	やさしい街「ひろさき」づくり、応援しています。ひろさき大好きです!!
50歳代	男	桜とお城、四大祭り、洋館等、観光に力点が置かれ新幹線開業も手伝い、集客力もアップしていると思われる一方、所謂(在)の下水道普及率や市内の流雪溝の整備に遅れに歯がゆさを感じます。四季がはっきりし、自然災害が比較的少ないこともアピールし移住定住者が増えるよう、市民皆で協力しましょう。
50歳代	女	葛西市長になってから、観光に力を入れているようですが、伝わってきて良いと思います。イベント行事もあり楽しい一年を過ごさせて頂きました。がんばれ弘前!!がんばろう弘前!!
50歳代	女	弘前市はやさしい街だと思います。
60～74歳	女	お山が見えることに誇りをもっています。

60～74 歳	男	退職し、地域に出る機会が以前と比べ、極端に少なくなったため、なにがどうなのかもわからずじまい(情報も不足している)。しかし、弘前に住んでみて、住みやすい町・よい町と言われた事は過去に何回もある。更に住みやすい町にしてほしい。
	女	今の私は、公の介護のお世話になり、つくづく公共の介護を受けて感謝しております。最小の経費で、面倒を見て頂ける事に心から社会のやさしい仕組みに生活できる事の中で味わっております。宜しく。私は本当に幸福な社会に、御礼いたします。

◆その他

年 齢	性別	回 答
16～29 歳	男	自分もよりよい町づくりに貢献しますので、弘前市も頑張ってください。
30 歳代	男	みんなガンバレ！！
30 歳代	女	別件ですが「たか丸くんの歌」とてもいいですね。ただ伴奏がちゃっちい(涙)、ちゃんとしたのにして CD 出せば(100 円位で)売れると思います。
40 歳代	女	市長さんへ、いろいろ表彰されたり、弘大生と交流を持ったりとお忙しいでしょうが、是非足元をしっかりと見てください。
40 歳代	女	自分が良ければいいという考え方の人間が増えている様な気がします。小さい頃からの家庭での躾が重要なのではないかと思います。
60～74 歳	男	がんばってほしい！
60～74 歳	男	お会いしてお聞きしたいことがあります。

◆イベント

年 齢	性別	回 答
16～29 歳	女	・古くからある街並みと、現代のアートと音楽が融合したイベント、お祭りや市場、ライブ等 ・これらに市役所が積極的に参加する
50 歳代	女	室内ドームでの活用として、県内、市町村、県外の市町村であれ、まめにふるさと自慢の出来る食品、作品、作物その他いろいろな販売により、活性化、交流をもつことにより、市民の喜びにつながる思いになるのではないかと思います。各県の自慢を毎回、毎月の観覧、テレビ新聞での公開、市内の各施設の活用をそれぞれで企画公開により活性化
50 歳代	女	学生の街、ひろさきと思うのですが、近年、催し物、展示会、コンサートなど興味のあるものが少なくなったように思う。八戸や十和田方面、青森には行きたいと思うことがあるが遠いのでなかなか行けません。もっとひろさきにも良いテーマの催し物をしてほしいです。
60～74 歳	女	公園内にある護国神社を市民にアピールして頂けないですか？遺族のためだけの神社ではありません。行事を催しても、一般市民の参加がごく少数・・・神楽の奉納とか春と秋の例大祭に行うので広報に載せてください。
	女	弘前城築城 400 年記念イベント、いろいろ楽しませていただきありがとうございました。

◆教育

年 齢	性別	回 答
30 歳代	女	たくましく、やさしい子ども達に育て、大事に見守ってほしい。たくさん学習する場、機会をたくさん子ども達に与えてほしいと思います。
40 歳代	男	子供の道徳教育を充実させて、思いやりのある人づくりをしてほしい
40 歳代	男	やさしさを持つには、理解し、好きになることが必要なのでは。本当に弘前を理解し、好きになれば、今の弘前の悪い所もわかってくると思う。小さい頃から弘前をもっと理解してもらい教育をしていけば、弘前 LOVE な市民が増えて、よりやさしい街を目指そうという人たちが増えるのではないのでしょうか。
40 歳代	男	子供たちとお年寄りが共生出来る街にするため、交流学習を増やす。先人から学ぶ。子供たちが弘前を愛し、将来も住みたいと思う街づくりと、社会(就職に有利)に馴染めるように社会向けの体験学習を増やす。
50 歳代	女	例えば、バスに乗った時、少し時間がずれた時には、「お待たせ致しました」と一言添えられれば気持ちが和むと思います。待ち時間が生じやすい場所には、花や音楽があったら癒されると思います。精神的な満足が得られるような環境づくりが必要だと考えます。彩りの豊かな明るい景観が、弘前をやさしい街にすると思います。お寺で最近行われているコンサート等は関心が高い所でもあります。弘前についてよく知ることが大切に考えることにつながっていくと思いますので、教育が大切かもしれません。アンケートを書いてみてあまり考えていない自分を知り反省しました。お疲れ様です。ご苦労に感謝いたします。

◆福祉・医療

年 齢	性 別	回 答
16～29 歳	女	「地域福祉計画」の策定は絶対必要である。弘前市は大きな市なので、策定の為の統計をとったりするのは大変だと思うが、これから先、10 年先、20 年先の弘前の社会福祉を見据えて、計画を立て、実行することは、市民への行政のやる気の表れでもあると考える。縦割りの福祉ではなく、「地域全体の福祉」、そして、「弘前市の保健・医療・社会福祉」の見通しを示して欲しい。
60～74 歳	男	老人へのやさしい福祉として、今まで国の為、市の為、活躍されてきたと思いますので、市内にある温泉を利用して老人の幸せを感じるためにも、市が市内の温泉と契約してどこの温泉でも入れるための無料入場券を配布する。対象者は、70 歳以上とし、月一人 3 枚とする。老人へのやさしい福祉の街となる事を望む。市の福祉予算の計上をお願いするものです。活性化につながると思います。
60～74 歳	男	医療福祉行政の更なる充実を図ること。厚労省所轄の公務負担医療制度を除く市独自で実施する医療福祉制度の充実、特に 20 歳未満の乳児・幼児・児童・少年・少女を対象として
60～74 歳		少しの年金、毎年少なくなり介護保険料は高くなり。年金で生活出来るようにして欲しい。

(2) 事業者アンケート

① 調査概要

調査期間	平成23年11月14日から11月28日まで
調査対象者と抽出方法	不特定多数が利用する業種・無作為抽出
調査方法	郵便による配布・回収
配布・回収状況	配布：100票 回収：41事業者 回収率：41.0%

※グラフ内の「n」は、標本数（サンプル数）を表します。

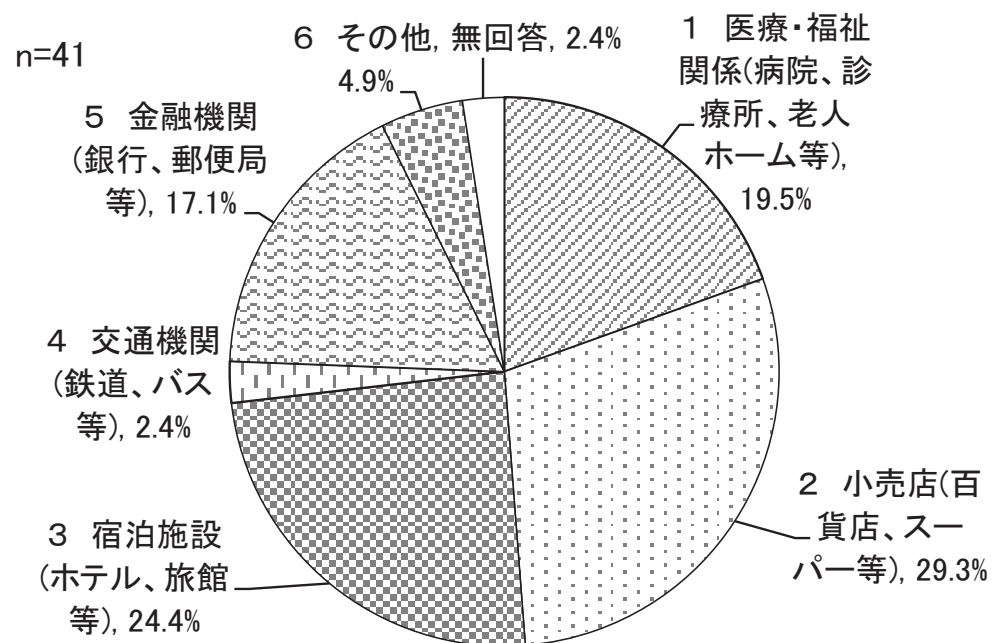
② 調査結果

Q1 貴事業所についてお聞きします

1) 業種

回答事業所の業種の割合は、“小売店”が29.3%と最も高く、次いで“宿泊施設”が24.4%、“医療・福祉関係”が19.5%となっています。

Q1-1 貴事業所の業種をお答えください。(あてはまるもの1つに○)



2) 貴事業所について

事業所の階数は、地上 1、2 階の低層の建物が 4 割近くを占めています。また、地下がある建物は 1 階までとなっています。

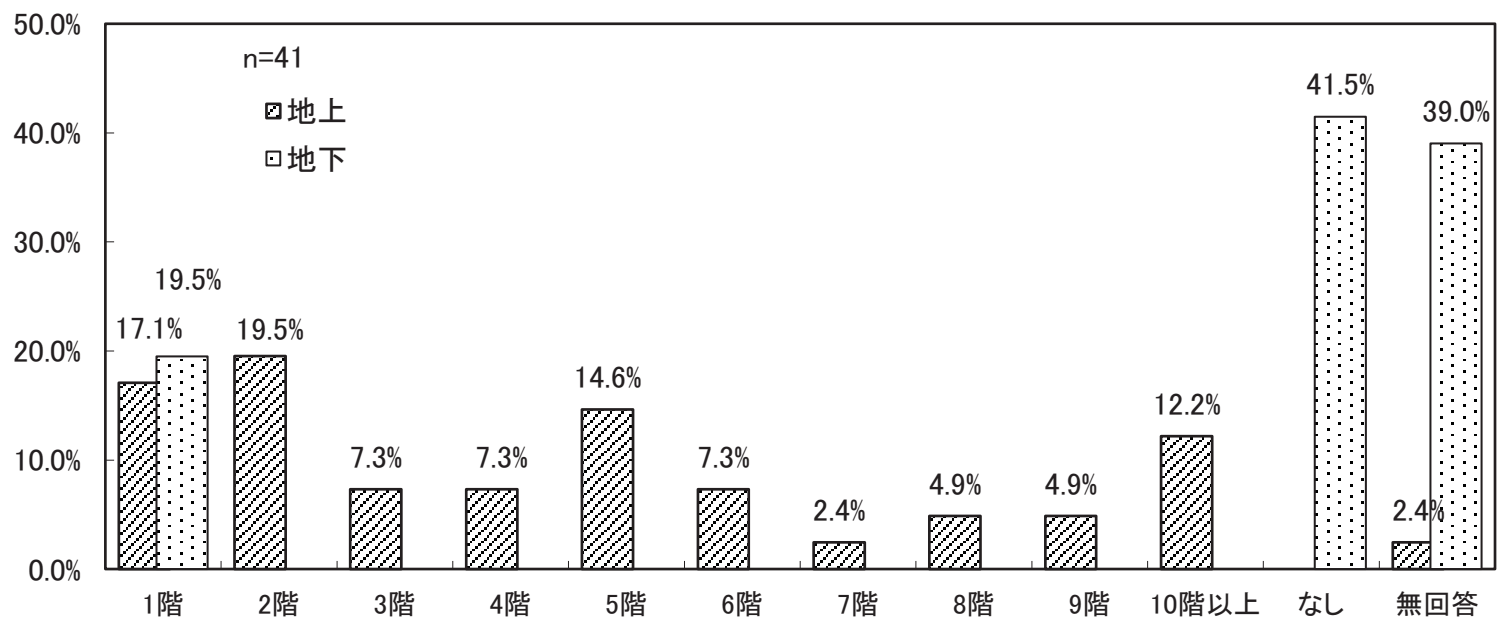
延床面積は、1000 m²未満が 12.2%、1000～5000 m²未満が 26.8%、5000～10000 m²未満 17.1%、10000 m²以上が 19.5%となっています。

事業所の地区は、弘前地区が 87.9%、相馬地区が 2.4%となっています。

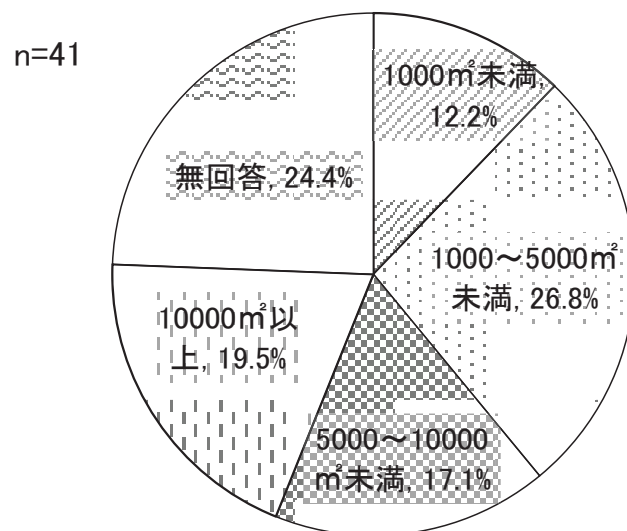
築年数は、9 年以下が 3 割近くを占めています。

Q1-2 貴事業所についてお答えください。(面積は建物の延床面積を記入し、建物が複数ある場合は代表的なものについてお書きください。)

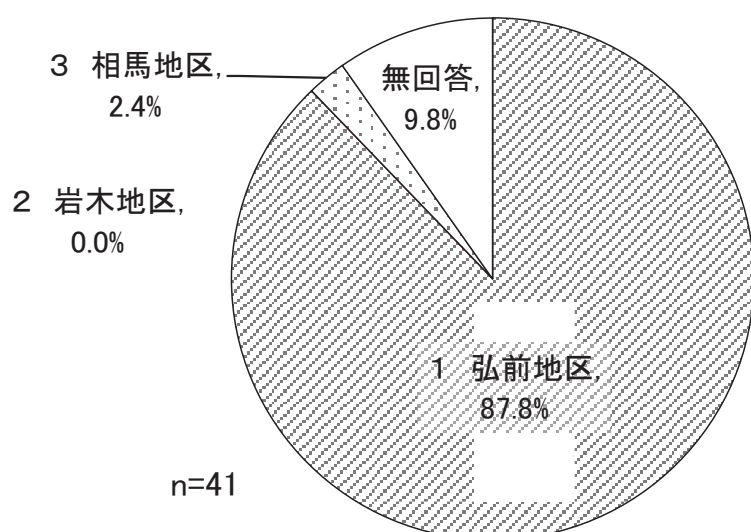
【階数】



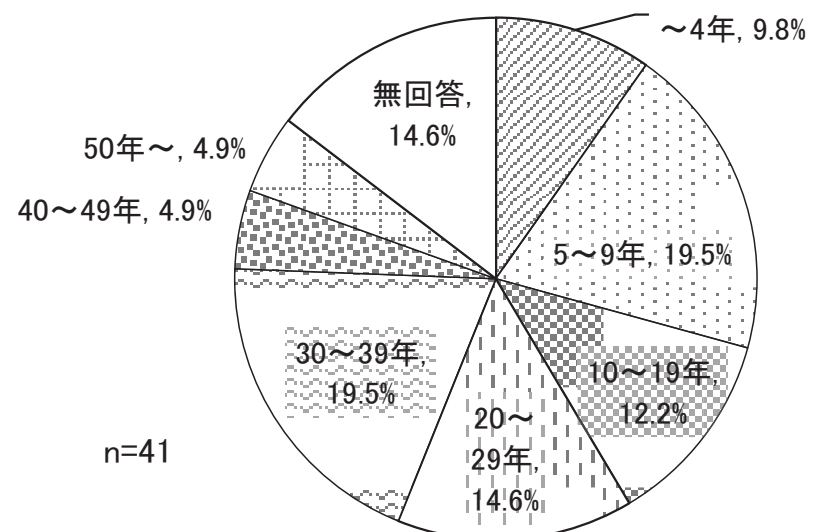
【延床面積】



【地区】



【築年数】

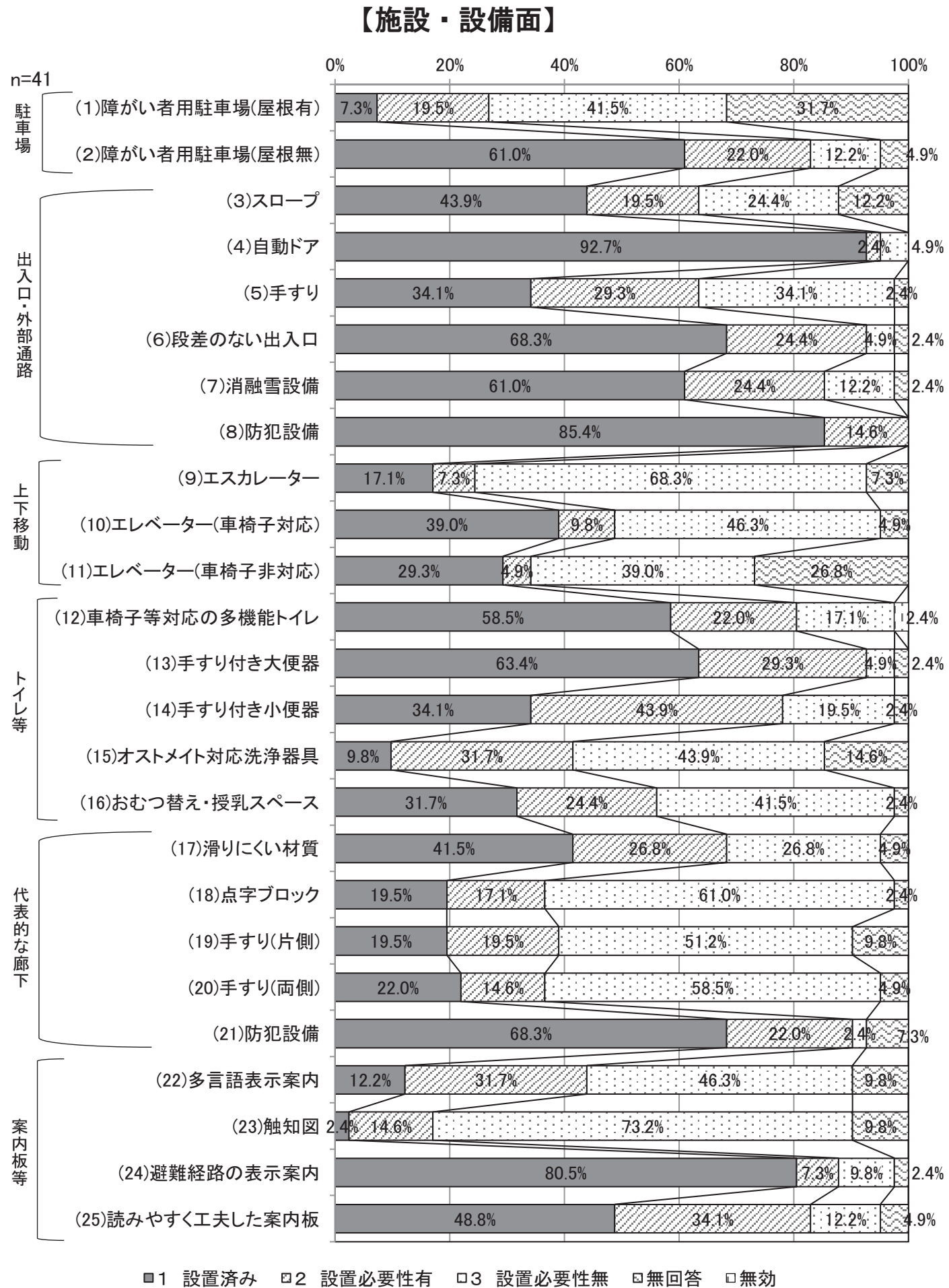


Q2 お客様が利用される建物についてお聞きします

1) 設置の有無

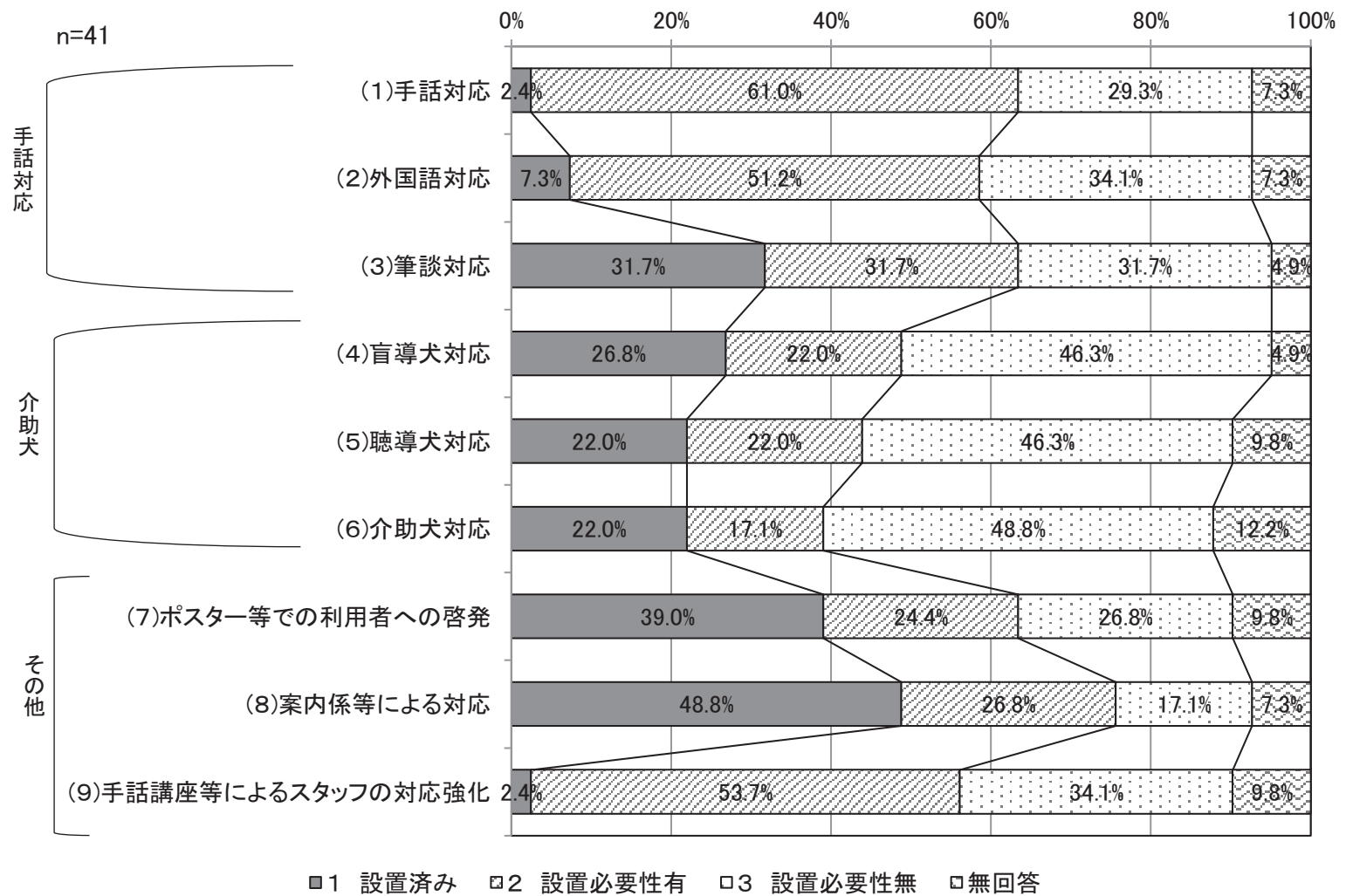
設置済みの施設・設備は、“自動ドア”、“防犯設備”、“避難経路の表示案内”で高い割合になっています。一方、設置の必要性がないとしている施設・設備は、“触知図”“エスカレーター”“点字ブロック”“手すり”等が高い割合になっています。

Q2-1 以下の設備等について、貴事業所の建物での設置の有無をお答えください。設置していない場合は、今後設置する必要があるかどうかもお答えください。(あてはまるものすべてに○)



対応済みのサービス・マナー面は、“案内係等による対応”“ポスター等での利用者への啓発”で高い割合になっています。一方で、介助犬等の福祉犬の対応については、必要としない割合が高い傾向にあります。

【サービス・マナー面】



【その他】障がい者、高齢者、子ども連れ、外国人等に向けた設備や取り組みがあればお書きください。(回答6社)

◆設備面

- ・子ども連れ(エスカレーター逆走等)
- ・車椅子貸し出し
- ・従業員呼び出しマイク(点字表示)を設置、その位置までの通路点字ブロックで誘導
- ・杖ホルダー、補聴用集音器(音声拡声器)、筆談ボードの設置

◆雇用面

- ・障がい者の採用

◆ソフト面

- ・お買物サポート(2)
- ・高齢者への声掛け(安全対策)

※()内数字は回答数

Q3 バリアフリーやユニバーサルデザイン等への対応についてお聞きします

1) 利用者が不便に感じている点

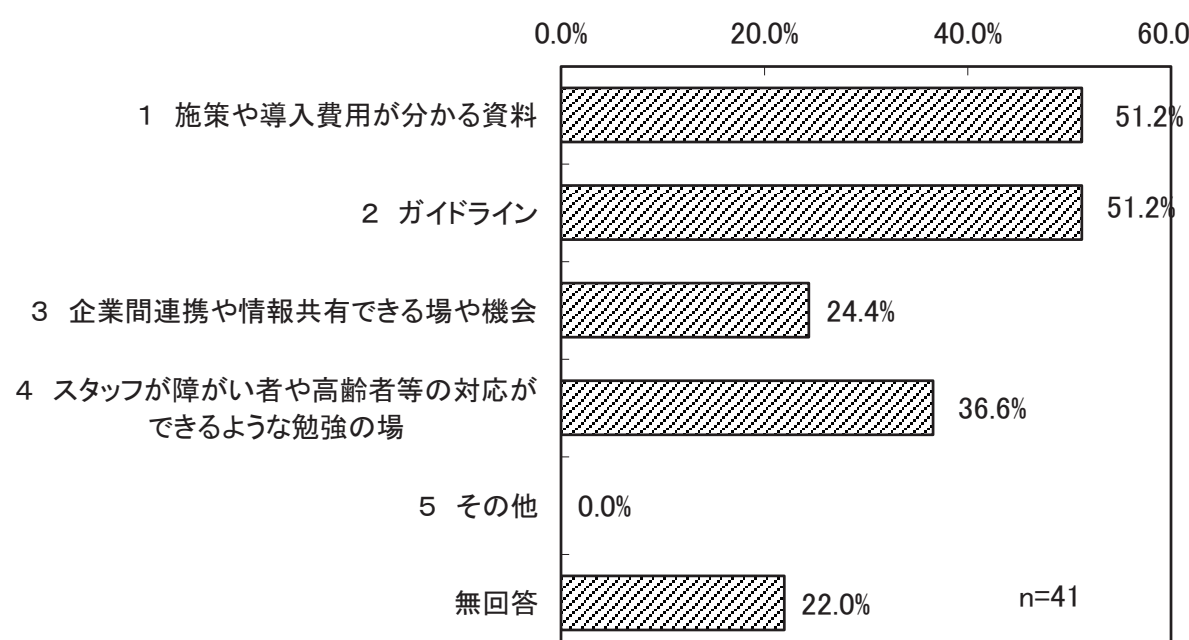
利用者が不便に感じていると思われる点については、10社から次の様な回答がありました。

	不便な内容	対応策
雪	雪の日には靴底に付いた雪で滑る	厚手のマットを入口に増やします(冬季)
	冬になると床が滑りやすくなる	滑り止めの人工芝を敷き対応
	外売場の通路が雪の日に滑りやすい	防滑処理を実施
	店舗前道路が融雪となっていない	融雪対応
	冬場、雪のため車椅子では大変である	屋根をかけるか、地下駐車場を作る
雨	雨の日に床が滑りやすい	
	雨の日に床が滑りやすい	滑りにくい仕上塗材に変更
	雨の日に床が滑りやすい	こまめに水気を取る
風	自動ドアが開くと強い風が中に入ってくる	風除室の設置
段差	出入り口が階段の為、車椅子の方には不便	スタッフが力を貸して持ち上げる

2) やさしい街の実現のために必要なこと

やさしい街の実現のために必要なことは、“施策や導入費用が分かる資料” “ガイドライン” が同率で51.2%と最も高く、次いで“スタッフが障がい者等の対応ができるような勉強の場”が36.6%、“企業間連携や情報共有できる場や機会”が24.4%となっています。

Q3-2 ユニバーサルデザインやバリアフリー等、やさしい街を実現するために何が必要ですか。(あてはまるものすべてに○)



快適性（対象設問：Q2お客様に利用される建物について、Q3バリアフリーやユニバーサルデザイン等への対応について）

＜施設・設備の設置有無＞

- ・ 設置済みの施設・設備は、“自動ドア”、“防犯設備”、“避難経路の表示案内”が、また、設置の必要性がないとしている施設・設備は、“触知図”“エスカレーター”“点字ブロック”“手すり”等が高い割合になっています。

＜サービスマナー面＞

- ・ 対応済みのサービス・マナー面は、“案内係等による対応”“ポスター等での利用者への啓発”が高い割合になっています。介助犬等の福祉犬の対応については、必要としていない割合が高い傾向にあります。

＜バリアフリー等への対応＞

- ・ 雪や雨の悪天候の際には、床が滑る等の危険な状況になるため融雪対応やマットの設置等、何らかの対策が取られているようです。
- ・ やさしい街の実現のために必要なことは、“施策や導入費用が分かる資料”“ガイドライン”が高い割合です。

Q4 あなたが思う「やさしい街ひろさき」とはどんな街ですか。ご自由にお書きください。

事業所業種	「やさしい街ひろさき」とはどんな街
医療・福祉関係	設備等の充実も必要だが、お互いに「思いやりの気持ち」を熟成する政策が必要と考える。
小売店	1.交通網の整備と交通手段の改善 2.雇用、生活補助体制が整っている
小売店	障がい者や高齢者の方が安全に通行できたり、買物などができる街。
小売店	高齢者や子供達が安心して暮らせる街。それをささえる現役世代の働く場の拡大。人に対してやさしく出来るのは自分の生活の充実あってこそ。
小売店	今、故障している街灯の整備又数を増して夜間の安全、安心を図る。
宿泊施設	障がいのある方も健常者と同様に楽しめる街でありたい。
金融機関	障がい者、高齢者が安全に暮らせる街
金融機関	高齢者、子ども達に対してやさしい街づくり
金融機関	観光都市なので観光客にやさしい街。弘前城等での記念写真撮影や道案内のボランティア。案内所はあるがボランティア自体の絶対数が少ない。募れば集まると思う。
その他	ユニバーサルデザイン
	自転車と車椅子での移動が共存できる環境。冬場の歩道の確保。除雪が必要。

Q5 「やさしい街ひろさき」づくりについての、お考えやご意見があればご自由にお書きください。

事業所業種	やさしい街「ひろさき」づくりについてのお考えやご意見
小売店	代表的なのは、車椅子だと考えますが、全ての人が実際に車椅子で歩いてみることで考えます。押してみるだけでも良いので。ちょっとした段差が結構な障害に感じられます。
小売店	心がやさしくない人が多くなってきているような感じがします。
小売店	危険な所(破損しているポールなど)すぐに直して欲しい。ケガの危険性がある。雪の季節の人が歩く道を広くして欲しい。
宿泊施設	非常に良い取組みと思います。私共も出来る限り協力していきたいと思います。
宿泊施設	雪が多いので良い対策を考えて欲しい。
金融機関	自転車の歩道走行の規制。
金融機関	スクランブル交差点をより多く導入して歩行者が一度で横断できるようにする。右左折渋滞や事故の減少にもつながるはず。特に弘前城廻りのT字信号で痛感する。

(3) グループヒアリング

市内で子育てや留学生、障がい者等を支援している団体からの意見を計画に反映させるために、代表する5団体を対象にグループヒアリングを実施しました。

①調査概要

調査対象 調査実施日	<p>○弘前市障害者生活支援センター 日時：平成23年12月13日 9:30～10:30 ヒアリング参加者：障がい者4名(肢体不自由3名、聴覚障がい1名)と介助者1名、支援センタースタッフ2名、事務局スタッフ2名</p> <p>○弘前保育所 子育て支援センター 日時：平成23年12月13日 11:00～12:00 ヒアリング参加者：センター利用者(0～4歳の子ども母親)11名、事務局スタッフ2名</p> <p>○青森県留学生交流推進協議会 日時：平成23年12月13日 14:30～15:30 ヒアリング参加者：外国人留学生4名(中国人3名、フランス人1名)とサポート学生2名(日本人)、事務局スタッフ2名</p> <p>○(財)弘前市社会福祉協議会 日時：平成24年1月19日 13:30～15:00 ヒアリング参加者：高齢者6名、事務局スタッフ1名</p> <p>○NPO 法人弘前こどもコミュニティ・ぴーぷる 日時：平成24年1月27日 10:30～11:30 ヒアリング参加者：施設利用者(0～4歳の子ども母親)5名、サポートスタッフ2名、事務局スタッフ2名</p>
---------------	---

②項目別の評価

ヒアリングの結果をとりまとめると、項目別の評価は下表のように整理されます。

項目	評価
母親・子連れ	
公共交通の使い勝手	<ul style="list-style-type: none"> ● バスの本数やルートが限られている、弘南鉄道やバスの最終便の時間が早い等使いづらいところがあるため、バスの本数や経路、鉄道やバスの終発時刻等の見直しによる公共交通機関の利便性向上が求められる
広報・広聴	<ul style="list-style-type: none"> ● 市政だよりが入らない等、市の重要な情報が届かない世帯があるため、行政と地域が連携し、<u>広報の配布方法や情報発信の方法の見直し等による対策が必要である。</u>
生活環境(鳥獣)	<ul style="list-style-type: none"> ● カラスが多く、鳴き声や糞などが問題となっている場所があるため、餌となる生活ゴミの管理の充実等、<u>地域が連携して対策を講じる必要がある。</u>
学生・留学生	
防犯問題	<ul style="list-style-type: none"> ● 不審者が出没する場所があるため、<u>死角の解消や防犯設備の充実等、安心して生活が送れるように不審者対策を行う必要がある。</u>
公共施設の利用	<ul style="list-style-type: none"> ● 利用人数に制限がある等不便な公共施設があるため、<u>予約システムの見直し、利用制限の緩和等利便性を向上することが求められる。</u>
市政やボランティアへの参加	<ul style="list-style-type: none"> ● 市政への参加やボランティアなどの情報が少ないため、誰でも市政や市民活動等に参加できるように<u>情報提供方法の見直し、充実を図る必要がある。</u>

障がい者	
公共施設	<ul style="list-style-type: none"> ● 歩道が整備されていない、道路に傾斜や段差がある、側溝に蓋がない等歩きにくい場所があるため、<u>バリアフリー化の対応</u>が求められる。 ● ハイブリッド車や電気自動車は、自動車が接近しても気づかないことがあり危険であるため、<u>自動車でも接近がわかるような取り組み</u>が求められる。 ● 車イス利用者やオストメイト対応、おむつ替えスペースがあるなど誰でも利用できるトイレが街なかに少ないため、<u>設備の充実</u>が必要である。
高齢者	
冬期間の対応	<ul style="list-style-type: none"> ● 家周りの除雪が困難であるため、<u>除雪をサポートする仕組み</u>が必要である。 ● 道路の隅が雪置き場になったり、凍結してしまうため、<u>冬期でも歩行者が安全に外出できる対策</u>が求められる。 ● 雪が降ると白い街灯では見えにくいいため、<u>視認性の高いオレンジ色の蛍光灯の導入</u>が求められる。

(4) やさしい街研究ワークショップ

市民の皆さんが弘前のまちなかを実際に歩きながら、気に入った点や気になる点を検証し、情報や意見を共有するためのワークショップを開催しました。

①調査概要

実施日	平成 23 年 11 月 13 日 (日) 平成 23 年 11 月 20 日 (日)
タイム スケジュール	10:45~12:00 街歩きによる検証(2コースずつ) 13:00~14:30 ワークショップ開始・意見交換 街あるきをして気に入った点、気になった点を挙げる 14:30~14:50 各班代表者による発表(1班10分ずつ) 14:50~15:00 感想カード記入・閉会
コース・参加者	<p><u>11月13日(日)</u></p> <p>○弘前駅前・上土手町エリア 一般参加者10名(学生1名、高齢者1名、車イス1名、車イス介助者1名、視覚障害者1名、視覚障害者介助者1名、子供連れ2名、外国人2名)、事務局スタッフ2名</p> <p>○中土手町・下土手町エリア 一般参加者10名(学生1名、高齢者1名、車イス1名、車イス介助者1名、視覚障害者1名、視覚障害者介助者1名、子供連れ2名、外国人2名)、事務局スタッフ2名</p> <p><u>11月20日(日)</u></p> <p>○伝建地区・元寺町エリア 一般参加者9名(学生1名、高齢者1名、車イス1名、車イス介助者1名、視覚障害者1名、視覚障害者介助者1名、子供連れ1名、外国人2名)、事務局スタッフ2名</p> <p>○市役所・禅林街エリア 一般参加者10名(学生1名、高齢者1名、車イス1名、車イス介助者1名、視覚障害者1名、視覚障害者介助者1名、子供連れ2名、外国人2名)、事務局スタッフ2名</p>

②各コースごとの意見等概要

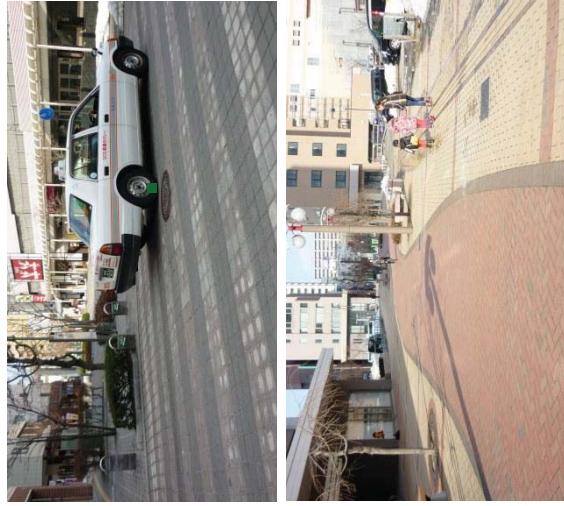
エリア毎にワークショップで出された意見を整理すると、下表のように整理されます。

<p>○弘前駅前・上土手町エリア</p> <ul style="list-style-type: none"> ・弘前駅城東口から弘前駅を抜け、遊歩道を通って、市立病院、旧ジョッパルを通り弘前駅前に戻るルート 	
項目	主な意見
弘前駅城東口	<ul style="list-style-type: none"> ● トイレ設備や音声案内を充実して欲しい ● わかりやすい案内表示が欲しい
弘前駅	<ul style="list-style-type: none"> ● コインロッカーやトイレ等での案内表示を充実して欲しい
中央口	<ul style="list-style-type: none"> ● バスや観光施設等の案内を充実して欲しい ● 循環バスや観光無料自転車等が便利
地下道	<ul style="list-style-type: none"> ● 点字ブロックの色が分かりにくい
遊歩道	<ul style="list-style-type: none"> ● 車道との交差点が危険 ● 公衆トイレやおむつ替えの場等が欲しい ● 案内板を見やすくして欲しい ● 舗装はアスファルトでなくて良い雰囲気であるが、車いすは通行しにくいところがある ● 歩きやすく子どもが遊べる
全体	<ul style="list-style-type: none"> ● 歩道の電柱で歩きにくい ● 公衆電話での国際電話のかけ方をわかりやすくして欲しい

弘前駅前・上土町エリアでの主な意見

遊歩道

- 車道との交差点が危険
- 公衆トイレやおむつ替えの場等が欲しい
- 案内板を見やすくして欲しい
- 舗装はアスファルトでなくて良い雰囲気であるが、車いすは通行しにくいところがある
- 歩きやすく子どもが遊べる



弘前駅城東口

- トイレ設備や音声案内を充実して欲しい
- わかりやすい案内表示が欲しい



弘前駅

- コインロッカーやトイレ等での案内表示を充実して欲しい

地下道

- 点字ブロックの色が分かりにくい



全体

- 歩道の電柱で歩きにくい
- 公衆電話での国際電話のかけ方をわかりやすくして欲しい

中央口

- バスや観光施設等の案内を充実して欲しい
- 循環バスや観光無料自転車等が便利

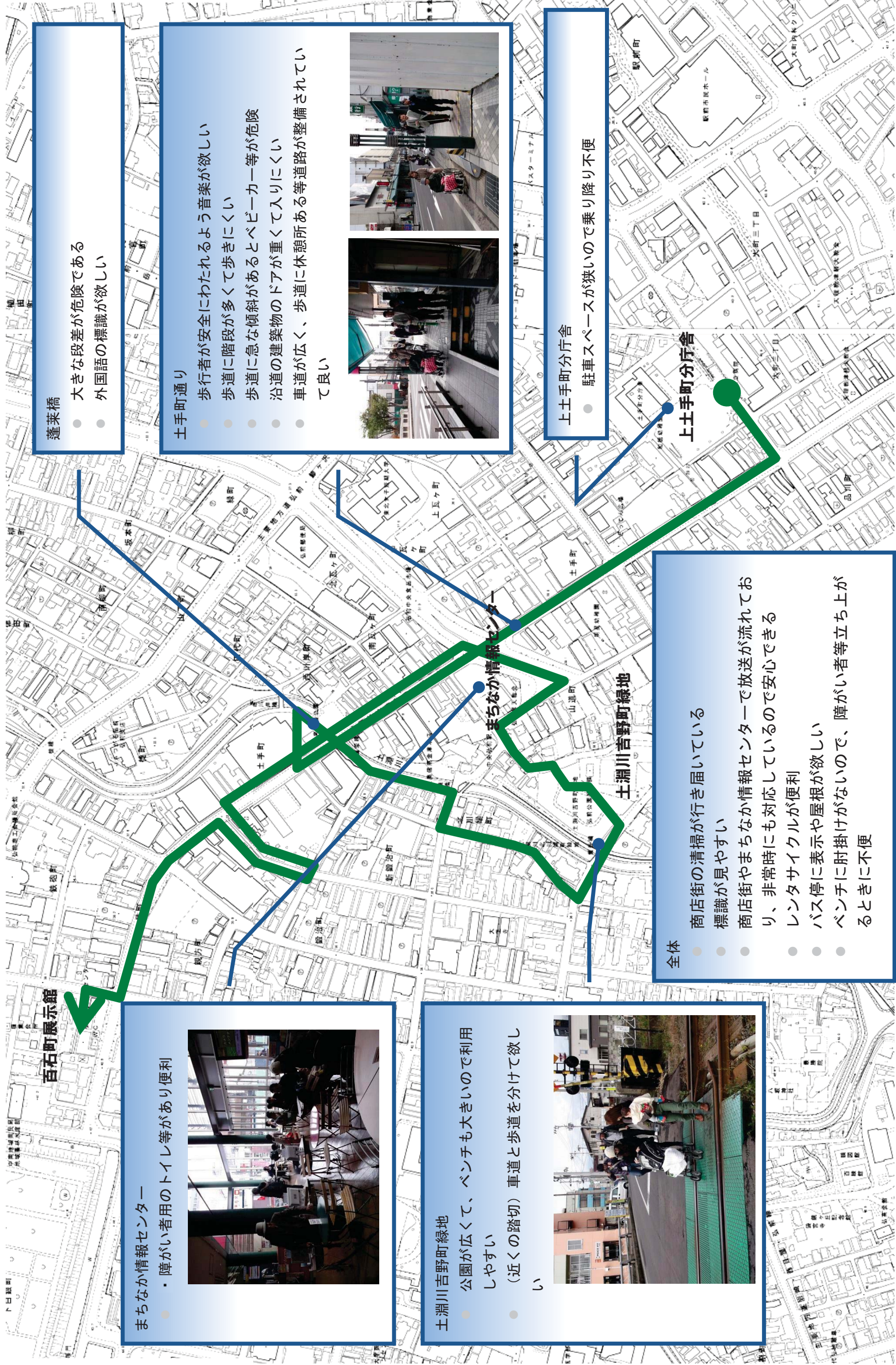
○中土手町・下土手町エリア

- ・市役所土手町分庁舎から土手町通りを抜け、土淵川沿い、中央弘前駅付近を歩き、百石町展示館より100円バスで市役所に戻るルート



項目	主な意見
上土手町分庁舎	<ul style="list-style-type: none"> ● 駐車スペースが狭いので乗り降り不便
土手町通り	<ul style="list-style-type: none"> ● 歩行者が安全にわたれるよう音楽が欲しい ● 歩道に階段が多くて歩きにくい ● 歩道に急な傾斜があるとベビーカー等が危険 ● 沿道の建築物のドアが重くて入りにくい ● 車道が広く、歩道に休憩所ある等道路が整備されていて良い
蓬萊橋	<ul style="list-style-type: none"> ● 大きな段差が危険である ● 外国語の標識が欲しい
土淵川吉野町緑地	<ul style="list-style-type: none"> ● 公園が広くて、ベンチも大きいので利用しやすい ● (近くの踏切) 車道と歩道を分けて欲しい
まちなか情報センター	<ul style="list-style-type: none"> ● 障がい者用のトイレ等があり便利
土手町全体	<ul style="list-style-type: none"> ● 商店街の清掃が行き届いている ● 標識が見やすい ● 商店街やまちなか情報センターで放送が流れており、非常時にも対応しているので安心できる ● レンタサイクルが便利 ● バス停に表示や屋根が欲しい ● ベンチに肘掛けがないので、障がい者等立ち上がるときに不便

中土手町・下土手町エリアでの主な意見



蓬萊橋

- 大きな段差が危険である
- 外国語の標識が欲しい

土手町通り

- 歩行者が安全にわたれるよう音楽が欲しい
- 歩道に階段が多くて歩きにくい
- 歩道に急な傾斜があるとベビーカー等が危険
- 沿道の建築物のドアが重くて入りにくい
- 車道が広く、歩道に休憩所ある等道路が整備されていて良い



上土手町分庁舎

- 駐車スペースが狭いので乗り降り不便

上土手町分庁舎

全体

- 商店街の清掃が行き届いている
- 標識が見やすい
- 商店街やまちなか情報センターで放送が流れており、非常時にも対応しているので安心できる
- レンタサイクルが便利
- バス停に表示や屋根が欲しい
- ベンチに肘掛けがないので、障がい者等立ち上がるときに不便

まちなか情報センター

- 障がい者用のトイレ等があり便利



土淵川吉野町緑地

- 公園が広くて、ベンチも大きいので利用しやすい
- (近くの踏切) 車道と歩道を分けて欲しい



○伝建地区・元寺町エリア

- ・旧伊東家住宅から伝建地区を抜け、文化センター、元寺町、観光館を訪問し市役所に戻るルート



項目	主な意見
旧伊藤家住宅	<ul style="list-style-type: none"> ● 駐車場の案内板が多すぎて景観が悪い ● 段差が多く、敷石が雨の日に滑りやすく危険 ● 案内人の説明が良いし建物もきれい
伝建地区	<ul style="list-style-type: none"> ● 道路が狭いので車が通ると危険 ● 水路に蓋をして欲しい ● 街並みに風情があって良い
弘前城周囲	<ul style="list-style-type: none"> ● 堀の水質が悪く、危険なので困いが欲しい ● 歩道に車が乗り入れてくるので危険 ● 上り坂なので雪の日に危険 ● ベンチや案内板が欲しい
ねぷた村	<ul style="list-style-type: none"> ● リンゴの木が弘前を象徴していて良い
文化センター	<ul style="list-style-type: none"> ● 歩道と車道の段差が大きい ● 英語表記等の案内を充実して欲しい ● 駐車場が狭い ● エレベーターが利用しにくい ● スロープが多く、ギャラリーマップが便利
元寺町	<ul style="list-style-type: none"> ● 歩道と車道の境に傾斜があり危険 ● 電柱・電線が景観を損ねている
観光館	<ul style="list-style-type: none"> ● スロープやトイレが利用しにくい ● 多言語の標記が欲しい ● 歩きやすく景色がよい ● 車いすが用意してあり便利
市役所	<ul style="list-style-type: none"> ● 身障者スロープ看板が見えにくい ● 案内看板なく分かりにくい

伝建地区・元寺町エリアでの主な意見

旧伊藤家住宅

- 駐車場の案内板が多すぎて景観が悪い
- 段差が多く、敷石が雨の日に滑りやすく危険
- 案内人の説明が良いし建物もきれい



伝建地区

- 道路が狭いので車が通ると危険
- 水路に蓋をして欲しい
- 街並みに風情があって良い



ねぶた村

- リンゴの木が弘前を象徴している良い



弘前城周囲

- 堀の水質が悪く、危険なので囲いが欲しい
- 歩道に車が乗り入れられてくるので危険
- 上り坂なので雪の日に危険
- ベンチや案内板が欲しい



文化センター

- 歩道と車道の段差が大きい
- 英語表記等の案内を充実して欲しい
- 駐車場が狭い
- エレベーターが利用しにくい
- スロープが多く、ギャラリーマップが便利

元寺町

- 歩道と車道の境に傾斜があり危険
- 電柱・電線が景観を損ねている



観光館

- スロープやトイレが利用しにくい
- 多言語の標記が欲しい
- 歩きやすく景色がよい
- 車いすが用意してあり便利



市役所

- 身障者スロープ看板が見えにくい
- 案内看板なく分かりにくい



○市役所・禅林街エリア

- ・禅林街広場から禅林街を抜け、茂森町の都市計画道路を歩き、弘前公園内の市民会館を見学して市役所に戻るルート



項目	主な意見
禅林街広場	<ul style="list-style-type: none"> ● 清掃が行き届いていない箇所がある ● トイレが利用しやすい ● 竹の柵等雰囲気が良い
禅林街	<ul style="list-style-type: none"> ● 大きな駐車場がなく、歩道に乗り上げて駐車している車が多い ● 歩道が狭く、街灯や点字ブロックを充実して欲しい ● 観光でお寺に入っているのか分からない ● 道がきれいで、沿道の景観も良いので歩きやすい ● カーブする部分に歩道がないので危険
茂森町広場	<ul style="list-style-type: none"> ● 道路が目の前なので落ち着けない、子どもを遊ばせることができない ● 案内板に外国語表記が欲しい ● ベンチがあり、道路も整備されたので便利
茂森町	<ul style="list-style-type: none"> ● 歩道にロードヒーティングが欲しい ● 道路が広くなったので良い ● 沿道にお店が多く庭園があるので散策が楽しい
市民会館	<ul style="list-style-type: none"> ● 薄暗く、天井が低いので圧迫感がある ● 駐車場が狭く、入り口がカーブしており出入りが見にくい ● アクセス道路が狭く、入り口の歩道に段差がある ● トイレに手すりや荷物置き場がなく不便 ● エレベーターやエスカレーターがないので不便 ● 窓が大きく見晴らしがよい
市役所	<ul style="list-style-type: none"> ● 案内板が日本語表記のみ ● スロープやエレベーターが利用しやすい

市役所・禅林街エリアでの主な意見

市民会館

- 薄暗く、天井が低いので圧迫感がある
- 駐車場が狭く、入り口がカーブしており出入りが見にくい
- アクセス道路が狭く、入り口の歩道に段差がある
- トイレに手すりや荷物置き場がなく不便
- エレベーターやエスカレーターがないので不便
- 窓が大きく見晴らしがよい



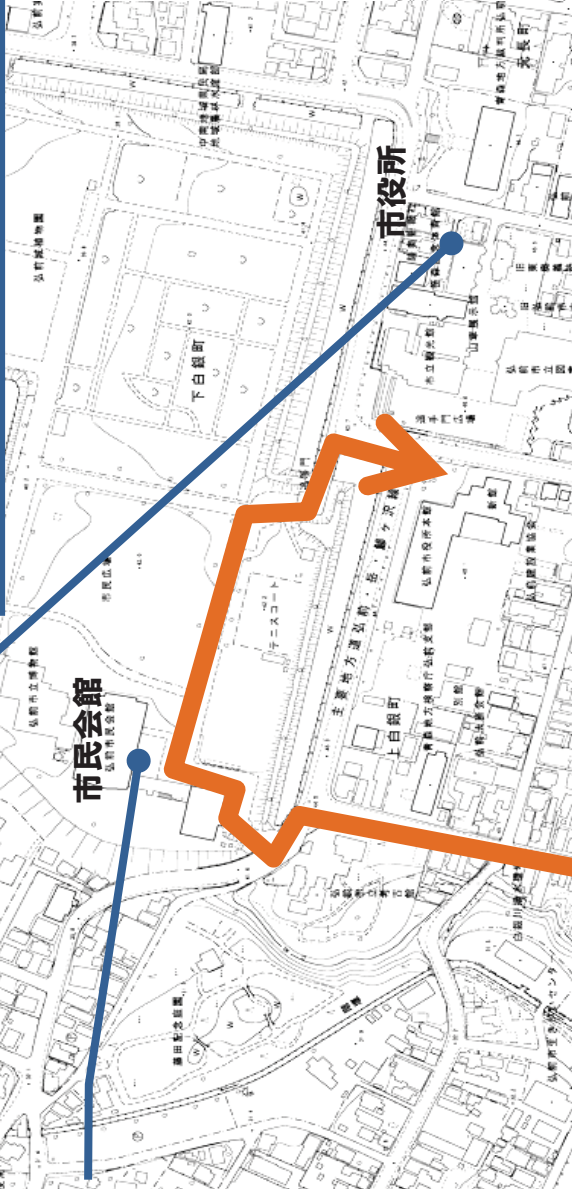
禅林街

- 大きな駐車場がなく、歩道に乗り上げて駐車している車が多い
- 歩道が狭いところもあり、街灯や点字ブロックを充実して欲しい
- 観光でお寺に入っているのか分からない
- 道がきれいで、沿道の景観も良いので歩きやすい
- カーブする部分に歩道がないので危険



市役所

- 案内板が日本語表記のみ
- スロープやエレベーターが利用しやすい



茂森町

- 歩道にロードヒーティングが欲しい
- 道路が広くなったので良い
- 沿道にお店が多く庭園があるので散策が楽しい



茂森町広場

茂森町広場

- 道路が目前なので落ち着けない、子どもを遊ばせることができない
- 案内板に外国語表記が欲しい
- ベンチがあり、道路も整備されたので便利



禅林街広場

禅林街広場

- 清掃が行き届いていない箇所がある
- トイレが利用しやすい
- 竹の柵等雰囲気が良い



(5) パブリックコメント

① 募集概要

募集期間	平成26年1月14日(火)から1月28日(火)まで
閲覧方法	○市のホームページ ○都市政策課、岩木総合支所総務課、相馬総合支所民生課、市民課駅前分室、市民課城東分室、各出張所
対象	<ul style="list-style-type: none"> ・市内に住所を有する人 ・市内に事務所等を有する人または団体など ・市内に勤務する人 ・市内の学校に在学する人 ・本市に対して納税義務を有する人、または寄付を行う人 ・本計画に利害関係を有する人または団体など
提出方法	①郵送、②直接持参、③ファクス、④Eメール、⑤アイデアポスト

② 募集結果(応募件数:5件)

応募方法	募集要件	意見等
アイデアポスト	市内に住所を有する人	子供連れ、障がいのある方に対して、そこまで冷たい社会とは思いませんし、わざわざその分野に予算を回さずともよいと思います。それに外国人に必要以上に気を使うことは甘やかすことになると思うので、ローマ字表記だけで十分オーストラリア人の友人も言ってましたよ。とにかく、反日の人とは関わりたくないのでやめて下さい。
アイデアポスト	市内に住所を有する人	多文化共生を推奨することは、一見良いことのように見えますが、その前に障害者や妊婦、子供連れ、お年寄りの方など、社会的に立場の弱い自分の国の人たちに優しい街づくりをまず目指すべきだと思います。同じ外国の人でも、反日行動をおこす人たちのために税金を使われたくないです。基本、英語か、他国語の前に子供たちのためにローマ字表記や漢字へのフリガナをつけるのが先じゃないでしょうか。どうかよろしくお願いします。
アイデアポスト	市内に住所を有する人	最近気が付いたのですが、弘前公園の周りを取りかこむ看板に特定(特に韓国語)の言語表記が多いのがとても気にさわります。なぜなら日本語にフリガナなし、ローマ字はありますが老人がローマ字を皆、読めるとはかぎらないし、なぜ韓国語、中国語メインなのかは理解できません。日本語、フリガナ、ローマ字で充分である。ここは日本なのだから。外国人観光客の為と言うなら英語、フランス、ドイツ、イタリア、スペイン語等を全部表記すべ

		<p>きと思います。看板を見るたびにむかつくのである。映画？撮影したという看板は必要ない。それらの経費は、除雪、子供の教育、道路の整備にまわしてほしいと思います。</p>
アイデア ポスト	市内に住所 を有する人	<ul style="list-style-type: none"> ・改めて、そういう計画はしなくて良い。 ・基本は市民の生活が第一です。 ・弘前市民は優しいので、観光客にも親切です。 ・税金はもっと市民に還元するべきです。 ・看板表記に至っては、特定の言語だけでなく、表記するなら全言語、しないなら日本語、ローマ字（ふりがな）が良い。 ・多文化共生は不可能であり、一つの文化は一つの地域に根づくものである。
アイデア ポスト	市内に住所 を有する人	<p>最近弘前でも、外国語表記の看板、宣伝が目立ってきていますね。特に日本国内なのだから、日本語、多くても英語まででいいと思いますが。</p> <p>他県では、日本人なのに生活保護すら受けられず命を落としており、外国人を優遇しているといううわさを耳にしています。弘前もこうなると思うとこわいでうすね。</p> <p>ここは日本なので、外国人や通名を用いる人を優遇するのではなく、弘前に住む日本人の人達に対して、「やさしい ひろさき」にしてほしいと特に思います。</p>

③回答概要(上記5件共通)

回 答
<p>街には、道路や公園などの公共施設のほか、店舗や病院、郵便局、銀行や、地域住民や観光客などの移動手段となる公共交通機関など、日常生活に必要な多くの施設があり、高齢者や障がい者はもちろん、子供連れや観光客、外国人など不特定多数の人が利用しています。</p> <p>やさしい街を実現するためには、可能な限りすべてのひとが安心して生活し、気軽に出かけられ、訪れることができるよう、特定の人だけの対策ではなく、できるだけ多くの人を対象とした対策を行い、地域の人々がともに支え合い、行動することが必要であると考えます。</p> <p>このことから、本計画では高齢者、障がいのある人、子どもや子ども連れの人、観光客や外国人など、誰もが快適で安全・安心に暮らせる街の実現のために、市民・事業者・行政（市）がそれぞれ取り組むべき「進め方」を指針として示しており、市民・事業者・行政が一体となって、やさしい街の実現を目指すこととしております。</p> <p>また、案内表示についても、誰もが容易に把握できるよう、外国語だけでなく、文字の大きさや色、ピクトグラムなど、表示内容の工夫を指針として示すことで、誰もが移動しやすい、わかりやすい移動環境づくりを目指すこととしております。</p>

3. 市の主な取り組み（施策・事業一覧）

基本方針 1：安全・安心に生活できる街づくり

（1）災害対策の充実

事務事業名	実施内容（◎：アクションプラン掲載事業）	担当課
自主防災組織育成支援事業	◎ 地域防災の中心となる自主防災組織の結成支援、活動支援を行うとともに、市民、町会等への防災意識、地域コミュニティ（自主防災組織等）の重要性・必要性の普及啓発のための研修会等を開催する。	防災安全課
防災まちづくり推進事業	◎ 市民防災力向上を推進する「地域リーダー」を育成するための講座を弘前大学等と連携して開設するとともに、未来の防災を担う人材を育成するための「防災教育」を展開する。	防災安全課
防災・減災対策推進事業	◎ 防災アセスメントにより得られた市の災害危険箇所、地震、風水害、土砂災害などの災害による被害想定等を活用し、地域事情に沿った実効性の高い防災・減災対策を講じて行くために、地域防災計画等の修正などを行う。	防災安全課
備蓄体制整備事業	◎ 災害時において、避難者等に円滑に食料等の供給などを実施することができるような備蓄体制を整備する。また、広域的な備蓄体制についても整備を進めて行く。	防災安全課
災害協定締結推進事業	◎ 災害時において、応急対策等に必要となる資機材の確保、被災者への物資や食料等の供給のために、市が行う現物備蓄のほかに、民間企業等との災害時における物資や資機材確保・供給などについての協定締結を進める。	防災安全課
総合防災訓練防災研修	◎ 災害に備えて、市、関係機関、自主防災組織、市民等が連携した実戦的な訓練を実施する。訓練は、広域的な対応も想定し、定住自立圏域市町村とも連携する。また、職員に対して災害対応力向上のための研修等を実施する。	防災安全課
防災行政無線整備事業	旧弘前市、旧岩木町、旧相馬村においてそれぞれ整備された防災行政無線の周波数統合とデジタル化の整備に伴い、災害時等におけるより効果的な市民への情報伝達体制の強化を図る。	防災安全課

（2）防犯対策の充実

安心遊び場マップ作成事業	◎ 小中学校区等を単位とし、地域の健全育成に係る任意団体と協働して、安心遊び場マップを作成する。作成したマップを学校に掲示し、危険な場所の見分け方について共有するとともに、児童の危険回避能力を向上を図る。	子育て支援課
子どもを犯罪から守るための広報・啓発活動	子どもが被害者となる犯罪に関する情報や相談窓口について、広報ひろさきによる広報や啓発活動を行う。	子育て支援課
弘前地区保護司会運営費補助 （社会を明るくする運動）	弘前地区保護司会に対し、運営費や社会を明るくする運動活動費のほか、研修費、保護観察費、広報費の一部を助成し、犯罪や非行の防止と罪を犯した者の更生について市民が理解を深め、犯罪や非行のない明るい社会を築く運動を推進する。	福祉政策課

安全・安心地域づくり推進事業	◎	安全・安心のまちづくりを推進するために、次の取り組みを行う。 (1)防犯関係①防犯協会・暴力追放市民会議・町会連合会との連携強化による効果的な防犯活動を通じ、地域の自主防犯意識高揚を図る。・合同街頭キャンペーン・リーダー育成研修会 など②モデル地区を選定し、自主防犯活動支援策の展開を図る。・自主防犯啓発決起大会開催・防犯啓発用プレート等の作成と配布・自主パトロール隊組織及び活動・シルバー世帯訪問啓発活動・地域安全マップ作成 など③青色回転灯防犯車による「見せる防犯」を実施する。・公用車に青色回転灯を装着し児童・生徒の下校時に防犯パトロールを実施	市民協働政策課
----------------	---	--	---------

(3) 生活道路の安全確保

交通安全施設整備事業		安全な生活道路の確保を目指し、カーブミラーやガードレール及び道路照明灯などの交通安全施設の整備を進める。	建設政策課ほか
通学路の安全確保		通学の安全を確保するため、各学期のはじめにPTA等による通学の見守りや、冬期は町会やPTA等に除雪機を貸し出し、通学路の除雪を行うスクラム除雪の実施など、地域と連携して児童の安全確保に取り組みます。	学務健康課
街灯交付金事務（街灯LED化事業）	◎	通学路等の安全確保のため、町会等からの設置要望箇所を検討したうえで、必要な街灯を設置します。街灯の維持管理を行っている町会等に対し電気料及び維持管理経費の一部を助成します。ただし、省エネルギーを目的とした街灯LED化事業の実施に併せ、街灯は市が所有し、維持管理していくこととします。	市民協働政策課

(4) 交通ルールの順守と交通マナーの向上

高齢者交通安全実践促進事業		高齢者の交通事故防止のため、夜間における視認性や斜め横断などを実際に体験する交通安全教室を行います	交通政策推進室
幼児交通安全教室		前期は城北公園交通広場で、信号の見方、横断の仕方などの交通ルールを学びます。後期は各施設を訪問し、前期教室で学んだ交通ルールの復習を行います（隔年で全施設実施）。	交通政策推進室
小中学校での交通安全教室		子どもの交通安全教育推進のため、各学校が企画する交通安全教室に対し協力します。	交通政策推進室
交通整理員設置		小学生の登下校時の安全を確保するため、危険な交差点に交通整理員を配置します。	交通政策推進室

(5) 除雪支援体制の充実

間口除雪支援事業（道路維持作業地域支援事業）	◎	町会から申し出のあった高齢や障がいなどで自ら除雪を行うことが困難な世帯を対象に、地域住民等による間口除雪を実施する町会等に対して経費の一部を助成し、冬期間の安全で安心な生活の確保を図る。 (生活道路・通学路・小路等の除雪及び除雪困難者の間口処理など、住民参加型の取り組みを支援する。)	道路維持課
弘前市社会福祉協議会除雪支援事業費補助（福祉除雪）		弘前市社会福祉協議会に対し、高齢や障がいなどで自ら除雪を行うことが困難な世帯を対象に地区社会福祉協議会と連携して実施する除雪支援事業に係る経費の一部を助成し、冬期間の安全で安心した生活の確保を図る。	福祉政策課

(6) 地域での支え合いづくりの推進

弘前市町会連合会運営費補助金事務		町会連合会が行う事業を促進し、もって市民の生活向上に寄与するために経費の一部を助成します。	市民協働政策課
町会集会所設置事業等補助金事務		町会運営の健全な育成のため、地域住民の「コミュニケーション」の場としての、町会集会所設置、又は修繕に対し経費の一部を助成します。	市民協働政策課
子ども会活動支援事業	◎	<ul style="list-style-type: none"> ・モデル事例紹介等の情報を提供します。 ・弘前市少年教育指導員を派遣します。 ・地域の子ども会活動の推進及びコミュニティの活性化のために 行う自主的な活動に対して経費の一部を助成します。 	生涯学習課 中央公民館 市民協働政策課

基本方針 2 : 円滑に移動できる街づくり

(1) 道路のバリアフリー化の推進

事務事業名	実施内容 (◎: アクションプラン掲載事業)	担当課
住吉山道町線道路整備事業	まちなかの円滑な交通処理と歩行者の安全確保のため、都市計画道路3・3・3号山道町撫牛子線の山道町交差点と県道石川土手町線を結ぶ道路整備を行う。	都市政策課
都市計画道路3・4・6号山道町樋の口町線街路整備事業	弘南鉄道大鰐線中央弘前駅の交通結節機能の強化を図るため駅前広場を整備するとともに、本町、鍛冶町方面及び3・3・2号山道町撫牛子線方面の安全な歩行者空間の確保のために街路を整備する。これにより、中心市街地における円滑な移動と回遊性及び利便性の向上により、地域活性化（商業施設等の利用促進）が図られる。	都市政策課
電線地中化事業	四季を通して、まつりやイベントと中心商店街の活動を連動させ、市民や観光客が買い物やまち歩き等、快適に移動できるように電線の地中化と併せて歩道融雪を行う。	都市政策課
道路補修事業	◎ 道路の路面、側溝及び交通安全施設の長寿命化を図り、年次計画を策定し、計画的に補修する。	道路維持課
交通安全施設整備事業	安心できる道路空間を確保するため、歩道の拡幅・段差解消等によるバリアフリー化を推進する。 通学路における緊急合同点検による対策必要箇所については、対策後の事業効果の検証を行いながら事業を進めていく。	建設政策課
歩道改修事業	◎ 除雪作業に支障となっている幅の狭い歩道の突き出た縁石を低いタイプに切り下げし、利用しやすい歩道に改修する。 通学路における緊急合同点検による対策必要箇所については、対策後の事業効果の検証を行いながら事業を進めていく。	建設政策課

(2) 冬期交通の確保

間口除雪支援事業 (道路維持作業地域支援事業)	◎ 町会から申し出のあった高齢や障がいなどで自ら除雪を行うことが困難な世帯を対象に、地域住民等による間口除雪を実施する町会等に対して経費の一部を助成し、冬期間の安全で安心な生活の確保を図る。(生活道路・通学路・小路等の除雪及び除雪困難者の間口処理など、住民参加型の取り組みを支援する。)	道路維持課
消流雪溝第二次面的整備Ⅲ期計画事業	◎ 沿線住民の協力を得ながら冬期間の道路幅員を確保するため、消流雪溝の整備を推進する。	道路維持課
電線地中化事業	四季を通して、まつりやイベントと中心商店街の活動を連動させ、市民や観光客が買い物やまち歩き等、快適に移動できるように電線の地中化と併せて歩道融雪を行う。	都市政策課
通学路の安全確保	通学の安全を確保するため、各学期のはじめにPTA等による通学の見守りや、冬期は町会やPTA等に除雪機を貸し出し、通学路の除雪を行うスクラム除雪の実施など、地域と連携して児童の安全確保に取り組みます。	学務健康課

(3) 円滑な交通ネットワークの形成

都市計画道路3・4・6号山道町樋の口町線街路整備事業		弘南鉄道大鰐線中央弘前駅の交通結節機能の強化を図るため駅前広場を整備するとともに、本町、鍛冶町方面及び3・3・2号山道町撫牛子線方面の安全な歩行者空間の確保のために街路を整備する。これにより、中心市街地における円滑な移動と回遊性及び利便性の向上により、地域活性化（商業施設等の利用促進）が図られる。	都市政策課
駅前広場（JR弘前駅中央口）利活用計画の策定		JR弘前駅の結節機能の充実を図り、自由通路と、えきどてプロムナード等との連絡性を改善し、観光客を含めたJR及び自由通路利用者の利便性や回遊性を高め、駅周辺施設の利用率の向上やまち歩きの促進につなげるための計画を策定する。	都市政策課
広域環状道路整備事業	◎	弘前市及び周辺市町村をネットワークする広域環状道路として、独狐地内から高屋地内を経由しアップルロードに接続するルートを整備する。	建設政策課

(4) 公共交通の利用環境の充実

駅前広場（JR弘前駅中央口）利活用計画の策定		JR弘前駅の結節機能の充実を図り、自由通路と、えきどてプロムナード等との連絡性を改善し、観光客を含めたJR及び自由通路利用者の利便性や回遊性を高め、駅周辺施設の利用率の向上やまち歩きの促進につなげるための計画を策定する。	都市政策課
------------------------	--	--	-------

(5) コンパクトなまちづくりへの転換

都市計画マスタープランの策定		都市計画法第18条の2に規定される「市町村の都市計画に関する基本的な方針」として定めるものであり、弘前市が目指すべき都市の将来像と、その実現に向けた取り組みの方向性を示すもので、今後の新しい都市づくりの指針となるもの。	都市政策課
----------------	--	---	-------

(6) 歩行者・自転車空間の充実

都市計画道路3・4・6号山道町樋の口町線街路整備事業		弘南鉄道大鰐線中央弘前駅の交通結節機能の強化を図るため駅前広場を整備するとともに、本町、鍛冶町方面及び3・3・2号山道町撫牛子線方面の安全な歩行者空間の確保のために街路を整備する。これにより、中心市街地における円滑な移動と回遊性及び利便性の向上により、地域活性化（商業施設等の利用促進）が図られる。	都市政策課
駅前広場（JR弘前駅中央口）利活用計画の策定		JR弘前駅の結節機能の充実を図り、自由通路と、えきどてプロムナード等との連絡性を改善し、観光客を含めたJR及び自由通路利用者の利便性や回遊性を高め、駅周辺施設の利用率の向上やまち歩きの促進につなげるための計画を策定する。	都市政策課

(7) 街なかの案内・誘導の充実

サインナビゲーション整備事業	◎	弘前市及び周辺市町村における主要な公共施設及び観光施設への案内誘導を行うため、国道、県道、市幹線道路等に適切な施設誘導サインを整備し、来訪者の利便向上を図る。 (合併戦略プロジェクト→(1)一体感のあるまちづくりプロジェクト→サインナビゲーション整備事業→オーバーハング式サイン設置) H22年度で終了。	建設政策課
----------------	---	---	-------

(8) 外出や移動の支援体制の充実

在宅心身障がい者タクシー等移動支援事業	重度の身体障がい者等に対し、タクシーのチケットを交付し社会参加及び、通院等の交通費の一部を助成する。	福祉政策課
生活支援事業	介護保険適用外で生活支援が必要な在宅の一人暮らし高齢者等に対し、ホームヘルパーを派遣し、生活必需品の買い物など家事援助サービスを提供する。	介護福祉課
歩行安全杖支給事業	歩行に杖が必要な65歳以上の高齢者に杖を支給し、歩行時の交通安全を図る。	介護福祉課
福祉有償運送運営協議会の開催	障がいのある人や要介護者などの移動困難者に対し、道路運送法に基づき登録しているNPO法人等の非営利法人が、営利とは認められない範囲の対価で個別輸送を行っているが、これを福祉有償運送という。 市町村が主宰する運営協議会で協議し必要性を認めた時に登録申請できる。	介護福祉課

基本方針 3：快適に利用できる街づくり

(1) 利用しやすい施設づくりの推進

事務事業名	実施内容（◎：アクションプラン掲載事業）	担当課
外国人観光客受入環境整備事業費補助金	◎ 観光関連事業者が行う外国人観光客の受入環境整備事業（施設の案内表示、誘導表示その他の案内表示に係る多言語標記の整備等）に必要な経費を補助するもので、外国人観光客の受入環境整備水準の向上を図る事業。	国際広域観光課
小中学校施設整備推進事業	小・中学校の耐震化を進めるとともに、経年による老朽化の見られる学校施設の整備を推進する。	学校企画課
市庁舎改修等事業	市役所本庁舎について建築総合調査を行った結果、耐震判定基準を下回っていると判定されるとともに、設備関係の劣化を指摘されたことから、本庁舎の耐震補強及び設備の改修工事を行うとともに、東日本大震災を教訓に、自家発電設備を強化し、防災機能を集約し、耐震化工事により手狭になるスペース確保のために増築棟を新築する。	財産管理課

(2) 施設案内・介助等の受入体制の充実

窓口改革事業	窓口サービスの充実を図るために、次の取り組みを行う。(1)接客態度改善の取り組み促進・接客態度改善のための取り組みの提案・研修の実施及び研修機関への派遣（接客研修、クレーム対応研修など）・窓口診断の実施・弘前市職員マナーブックの活用(2)ハード面での窓口改革①経費が少なく、比較的早期に実施可能な設備の導入②関係する課等の配置換えやシステム改修等、大規模な設備の導入（届出手続きのシステム化、総合窓口化）	人材育成課
--------	--	-------

(3) 公園・緑地の保全・整備

公園施設更新	今後進展する公園施設の老朽化に関する安全対策強化のため、公園施設の長寿命化計画を策定し、適正な施設点検・維持補修等の予防保全的管理の下、コスト軽減を図りながら計画的な改築・更新を行う。	公園緑地課
--------	--	-------

(4) 生活環境の保全

街なかカラス対策事業	カラス被害の少ない住みやすいまちづくりのために、カラス対策連絡協議会を設置し、行政・住民・企業が協働して、カラスの糞害対策やLED懐中電灯による追い払い、黄色防鳥ネットやごみ集積ボックス等の設置によるカラスの食い散らかし対策を実施する。また、カラスの個体数調査を行うとともに、個体数調整のため箱わなによる捕獲を実施する。	環境管理課
------------	--	-------

(5) 良好な景観づくりの推進

景観計画の運用	◎ 良好な景観づくりの方針や、行為の制限に関する事項を定めた「弘前市景観計画」を適切に運用し、弘前ならではの良好な景観形成を図る。	都市政策課
---------	---	-------

屋外広告物の規制・誘導	◎	屋外広告物条例に基づく規制により、公衆に対する危害防止のほか弘前ならではの景観づくりへの誘導を行う。	都市政策課
景観計画ガイドライン等作成事業	◎	景観計画に定める景観形成基準をわかりやすく解説したガイドラインを作成するほか、景観条例や屋外広告物条例に基づく届出の流れについて詳しく説明したパンフレットをそれぞれ作成し、円滑な届出事務による良好な景観形成への誘導を図る。	都市政策課
景観フォーラム	◎	市民とともに景観について考える場として景観フォーラムを開催し、弘前ならではの景観づくりの推進を図る。	都市政策課
景観重要建造物改修等助成事業	◎	良好な景観を形成している建造物を景観法の規定に基づく「景観重要建造物」に指定し、法に基づく規制や改修費の一部助成制度等により保全を図る。	都市政策課

(6) 公共施設の有効活用の推進

橋梁維持作業	◎	橋の長寿命化修繕計画を策定し、これまでの事後保全的な対応から計画的かつ予防的な対応に転換し、橋の延命とコスト縮減を図る。	建設政策課
ファシリティマネジメント推進事業	◎	市有施設を有効活用するために、「施設総量の適正化・適正配置」、「施設の長寿命化」、「維持管理費の縮減」を進め、「量」、「質」、「コスト」の最適化を図る。	財産管理課

基本方針 4：自由に参画できる街づくり

(1) 情報共有と市民参画の推進

事務事業名	実施内容（◎：アクションプラン掲載事業）	担当課
市長車座ミーティング事業	◎ 市民との対話により情報を共有し、共に考えて、施策へ反映させていくために、少人数の市民グループを対象として、市長と直接話し合う機会を作る。	広聴広報課
市政懇談会	◎ 地域を主体に、市民との意見交換を施策へ反映させていくために、市政懇談会の運営について、市町会連合会と協議し、意見交換の内容がより充実するよう工夫する。	広聴広報課
ホームページ充実 メールマガジン配信事業 ツイッター配信事業 フェイスブック配信事業	◎ 市民との情報共有を促進するために、ホームページなどインターネットを活用した次の取り組みを行う。 (1)ホームページの充実を図る。(携帯サイトも構築済み) (2)市政情報のメールマガジンを定期的(毎週月曜日)に配信する。 (3)災害情報を中心に不定期にツイッターで情報発信する。 (4)市政情報のフェイスブックを定期的(月～金曜日)に配信する。	広聴広報課
市民参加型まちづくり1%システム事業	◎ 市民主権による市政運営の徹底と市民参画の促進のために、環境美化活動、安全・防犯活動など様々な分野での自主的な活動に対して支援します。	市民協働政策課
弘前市自治基本条例制定事業	◎ 市民が主体の協働によるまちづくりを促進するため、市民・議会・行政が情報を共有し、共にまちづくりに取り組んでいくためのルールや仕組みを定めた自治基本条例を制定します。	市民協働政策課
市民参画担当チーム設置	市民が主体の市政運営を実現するために、市民参画やボランティア活動などを支援する専任チームを設置するとともに、エリア担当制度も活用し、市民との協働事業の推進を図る。	市民協働政策課 人材育成課
各種審議会等関係事務	市政への市民参画を促進し、協働による行政運営を推進するために、公募枠の新設が可能な審議会等を特定し、個別の改選時期にあわせて、女性や若者の枠についても配慮しながら、公募枠の拡大を図る。	行政経営課

(4) 協働によるまちづくりの推進

弘前市障がい者計画の策定	「ノーマライゼーション」、「リハビリテーション」、「バリアフリー社会」の三つの理念を基に、保健・医療・福祉サービス、教育など7分野における施策の展開を図る。	福祉政策課
--------------	--	-------